

# 小樽市 デジタル技術活用 オーバーツーリズム実態調査 分析結果 (2025年1-9月総括版)

2026.1.23



Pacific  
Consultants

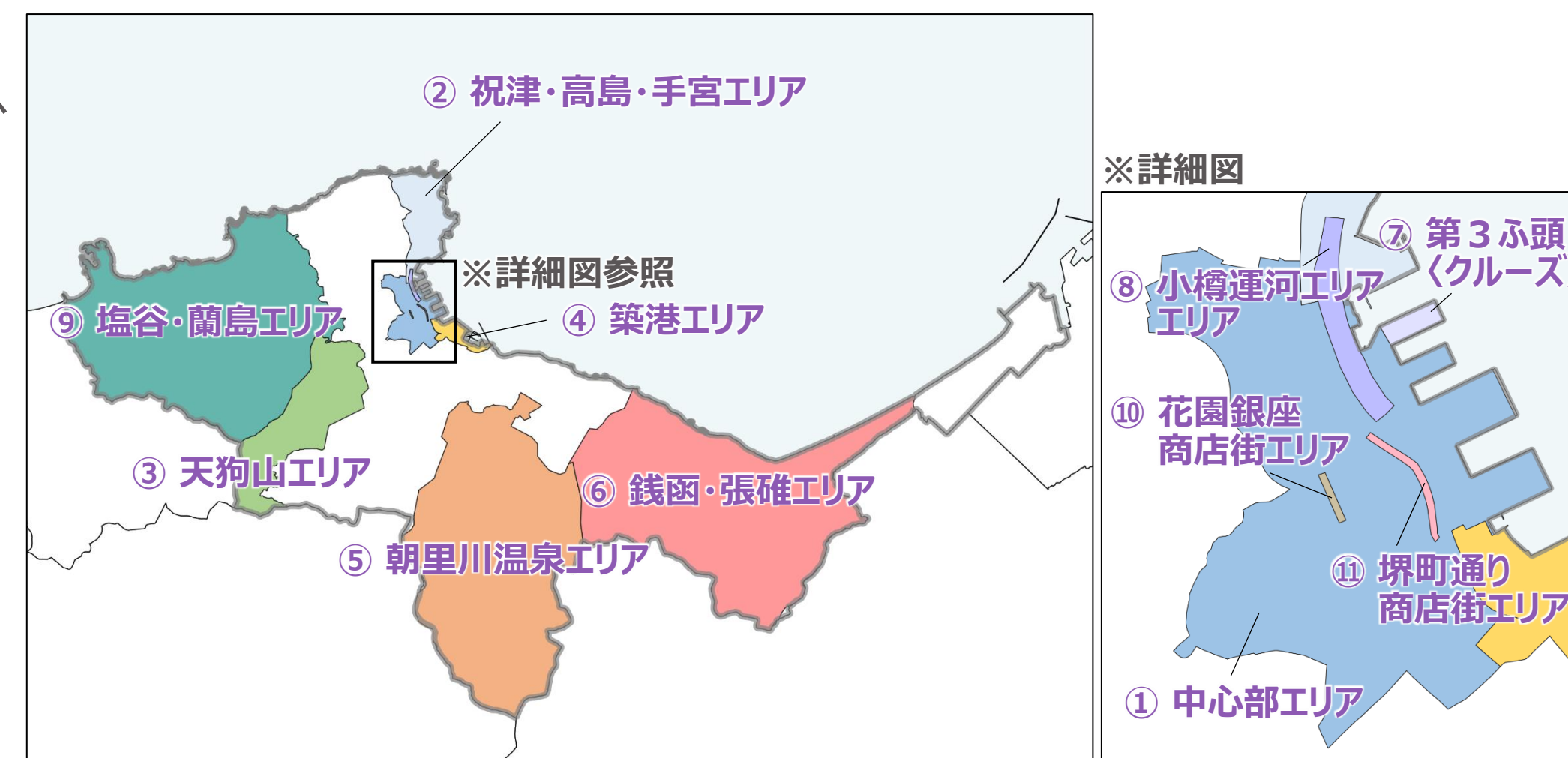
## デジタル技術活用オーバーツーリズム実態調査（令和7年度）

### 【業務目的】

- 昨今、小樽市においては外国人観光客の増加などによりオーバーツーリズムが深刻化しており、データ分析に基づく「打ち手」を検討する必要があることから、本業務においては、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準（令和5年改訂版）」の調査要領に準じて実施する観光入込客調査結果を基礎として、GPS人流データを活用し多サンプルに基づく来訪者（国内・外国人）の動態調査を網羅的かつ解像度の高い形で行い、オーバーツーリズムの実態を把握することを目的とする。
- また、小樽市がこれまで実施してきた観光入込客数調査をGPS人流データを使用した調査に切り替える場合の両者の結果の違いの傾向を把握するとともに、GPS人流データを用いる際の観光入込客の定義や、観光入込客の移動元・移動先分布に係るデータ取得のあり方、観光消費額算定上の観光入込客数（実人数）把握のあり方についての検討も併せて行うことを目的とする。

### 【調査対象地】 小樽市全域のほか、以下の市内11エリア

- ① **中心部エリア** : 稲穂、花園、色内1・2丁目、港町（第3ふ頭除く）、堺町、東雲町、山田町、相生町、入船1・2丁目、住ノ江、住吉町、若松
- ② **祝津・高島・手宮エリア** : 色内3丁目、手宮、高島、祝津
- ③ **天狗山エリア** : 天狗山、最上2丁目
- ④ **築港エリア** : 有幌町、信香町、築港（勝納ふ頭含む）
- ⑤ **朝里川温泉エリア** : 新光5丁目、朝里川温泉
- ⑥ **銭函・張碓エリア** : 張碓町、春香町、桂岡町、銭函1～3丁目、見晴町、星野町
- ⑦ **第3ふ頭〈クルーズ〉** : 港町（第3ふ頭のみ）
- ⑧ **小樽運河エリア** : 小樽運河沿い
- ⑨ **塩谷・蘭島エリア** : 塩谷、蘭島
- ⑩ **花園銀座商店街エリア** : 花園銀座商店街
- ⑪ **堺町通り商店街エリア** : 堺町通り商店街

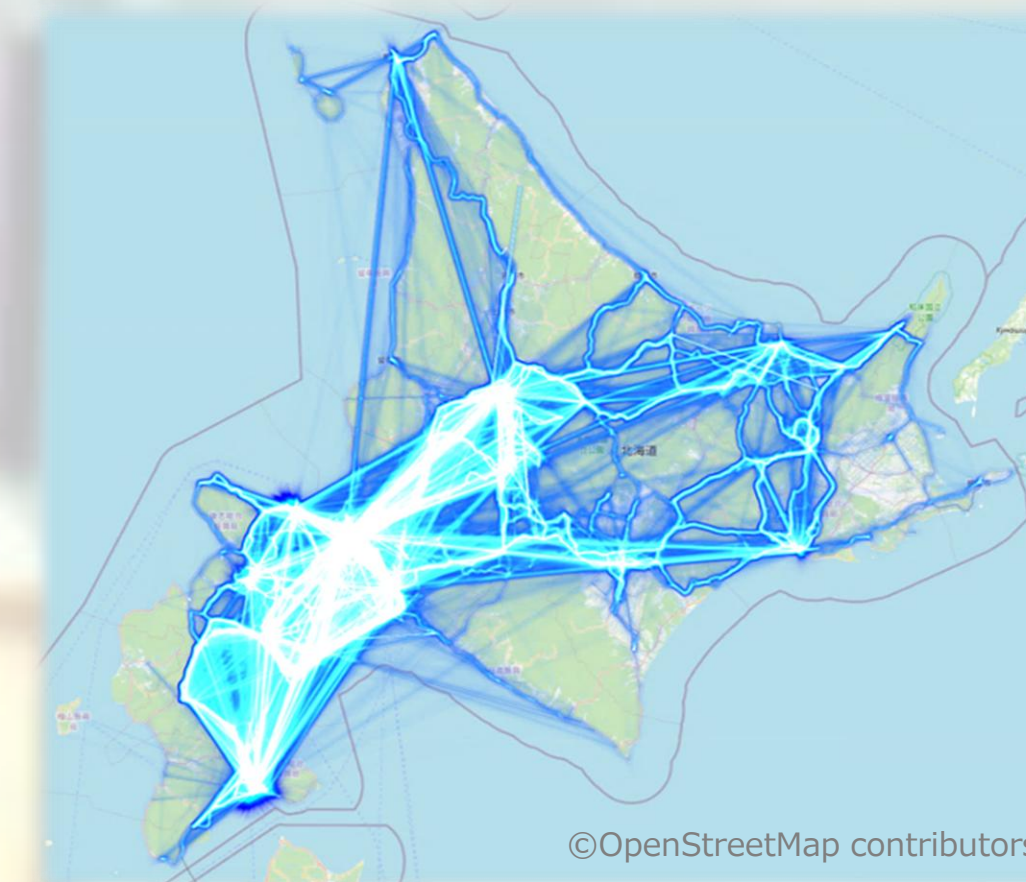


## 全国インバウンド統計

【網羅性】 24時間365日、全国数千万人のインバウンドの移動を高精度に把握

【機能性】 独自のロジック (特許技術) から、来訪・周遊動向を居住国別や交通手段別に分析

【有用性】 ご要望に応じ可視化・解釈や施策検討まで伴走、真に役立つアウトプットを提供



### できること

インバウンド携帯端末のGPS位置情報 Powered by **Azira**

#### メニュー

施設来訪分析 

エリア来訪分析 

広域周遊分析 

#### 分析項目

※選択内容によりお見積りいたします。

来訪人数 / 宿泊客数

滞在時間 / 宿泊日数

居住国・自治体

移動経路 / 交通手段

+ オプション ・性/年代 ・拡大推計(居住国別) ・広告/アンケート配信 ・集客施策案の検討

### ユースケース

#### 観光

- 各観光地等への来訪状況の把握
- in-out空港や周遊ルートの把握
- 重点ターゲット・ペルソナの検討
- プロモーション検討、効果検証 等



#### 交通

- 二次交通検討・周遊ルート造成
- 多言語対応コンテンツによる誘客
- 道路整備効果検討の多角化
- 交通安全対策検討の強化

#### 商業・不動産

- 商品仕入・テナント誘致の最適化
- ライバル施設等への来客分析
- 出店候補地への来訪客層把握
- 開発・不動産投資の重点検討

項目	内容
「(日本人)観光客」の定義について	日本人全体から、小樽市民のほか、小樽市に月6回以上来訪している人※および小樽市内が通勤/通学先と判定されている人を除いたもの。 ※「観光入込客統計に関する共通基準(令和5年改訂版)」(以下「共通基準」という)の定義に基づく。
拡大推計について	主に、国別のサンプル率(日本人・インバウンド)、人口統計(日本人)、出入国管理統計(インバウンド)により、国別の拡大推計を実施している(いずれも詳細は非公開)。 なお、拡大推計も含め本頁記載の各種ロジックは、同一業務内で変更されるものではなく、安定性を確保している。
滞在判定について	エリア内に一定の時間以上滞在することにより、入込客としてカウントしている。 滞在判定の閾値は原則として「15分」としているが、エリアの面積や性質をふまえ、⑧小樽運河エリアは「0分」、⑩花園銀座商店街エリアは「5分」、⑤朝里川温泉エリア/⑥銭函・張碓エリア/⑨塩谷・蘭島エリアは「30分」に設定している。
宿泊地/居住地判定について	午前2-3時台に最も多く滞在していた地点を宿泊地、数か月間に最も多く滞在していた宿泊地を居住地と判定している。 ※共通基準では「午前4時に滞在していた地点を宿泊地とみなす」としているが、午前4時ちょうどに位置情報を捕捉できるとは限らないため。
インバウンドの捕捉について	国家体制上、中国人の位置情報は捕捉することができないため、以下の方法で人数の補完を行っている。 ①人流データ「モバイル空間統計」(株式会社ドコモ・インサイトマーケティング)から、「中国人」と「台湾人+香港人+韓国人」の比率を算出。 ②全国インバウンド統計における「台湾人+香港人+韓国人」の合算値に上記比率を掛け合わせ、「中国人」を補完。
交通手段判定について	位置情報の「移動ルート」と「移動速度」により判定を行っており、JR/自動車/徒歩 とクルーズの4つに分類される。 なお、自転車については走行速度に幅があることから、10km/hを閾値として自動車または徒歩に振り分けている。
個人情報保護について	位置情報から個人が特定されないよう、緯度経度がずらされて記録されることがある。 また、同様の観点から一定の閾値を下回ったデータは秘匿されるが、その可能性は分析項目により異なる。 インバウンドの一例として、「居住地」は国のみで細分化されており秘匿可能性が比較的低いが、「来訪時間帯×周遊先分布」は、国・時間帯・周遊先の掛け合わせとなるため秘匿可能性が高くなる。

※「全国インバウンド統計」は、パシフィックコンサルタンツ株式会社の登録商標です。「モバイル空間統計」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

入込客数等

# 小樽市の観光入込客数等（2025年）

## ● 居住地別の入込客数・宿泊客数・延べ宿泊客数

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	観光入込客数	771,130	749,921	646,921	464,003	549,499	711,018	815,562	854,835	668,224				6,231,113
小樽市全域	うち道内	460,565	429,219	387,569	301,483	385,536	519,590	566,819	594,390	453,752				4,098,923
小樽市全域	うち道外(外国人含む)	310,565	320,702	259,352	162,520	163,963	191,428	248,743	260,445	214,472				2,132,190
小樽市全域	うち外国人	132,256	135,774	93,250	45,123	46,227	40,726	52,262	61,344	35,675				642,636

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	宿泊客数	93,094	89,716	73,320	55,906	70,940	80,729	98,800	116,689	90,699				769,893
小樽市全域	うち道内	33,253	32,026	36,668	28,880	39,677	44,831	34,628	46,375	32,693				329,030
小樽市全域	うち道外	13,961	14,629	17,534	12,462	14,282	18,297	42,178	50,464	45,225				229,033
小樽市全域	うち外国人	45,879	43,061	19,118	14,565	16,981	17,601	21,994	19,850	12,781				211,830

エリア	項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
小樽市全域	延べ宿泊客数	105,767	99,613	79,847	61,151	79,633	90,231	114,970	136,469	104,767				872,449
小樽市全域	うち道内	36,964	34,055	38,874	31,029	42,949	48,735	37,747	51,115	35,236				356,704
小樽市全域	うち道外	16,188	15,912	19,207	13,606	16,685	21,347	49,235	59,572	53,035				264,787
小樽市全域	うち外国人	52,615	49,646	21,767	16,515	19,999	20,149	27,989	25,782	16,496				250,957

# 小樽市の観光入込客数等（2025年）

## ● エリア別の入込客数

人流データによる入込客数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
来訪判定エリア：小樽市全域	771,130	749,921	646,921	464,003	549,499	711,018	815,562	854,835	668,224				6,231,113
来訪判定エリア：中心部	292,312	280,456	241,305	165,633	199,097	222,553	271,057	303,083	248,891				2,224,386
来訪判定エリア：小樽運河	251,897	251,752	212,341	142,735	162,479	207,818	266,315	295,439	228,325				2,019,100
来訪判定エリア：祝津・高島・手宮	39,078	33,412	32,418	26,796	40,533	57,331	76,025	81,433	50,306				437,333
来訪判定エリア：天狗山	42,014	22,505	17,905	9,331	14,562	14,848	22,520	28,854	17,475				190,014
来訪判定エリア：築港	61,242	52,081	55,115	42,595	67,672	93,734	110,289	116,317	86,105				685,151
来訪判定エリア：朝里川温泉	23,894	22,392	19,829	13,261	15,552	20,671	23,738	30,162	20,904				190,403
来訪判定エリア：銭函・張碓	78,461	71,665	70,809	58,287	57,934	69,758	78,818	71,088	48,888				605,708
来訪判定エリア：塩谷・蘭島	11,160	9,659	10,442	8,782	10,888	21,006	28,184	19,490	10,205				129,816
来訪判定エリア：花園銀座商店街	1,415	1,356	1,216	762	1,526	2,492	3,312	3,794	3,900				19,772
来訪判定エリア：堺町通り商店街	72,443	70,828	52,508	28,875	55,069	71,507	86,744	105,473	78,749				622,197

# 小樽市の観光入込客数等（2025年）

## ● 入込客数 道内客上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
<b>道内（小樽市除く）</b>	<b>460,565</b>	<b>429,219</b>	<b>387,569</b>	<b>301,483</b>	<b>385,536</b>	<b>519,590</b>	<b>566,819</b>	<b>594,390</b>	<b>453,752</b>				<b>4,098,923</b>
札幌市	328,450	302,752	271,585	213,176	261,056	363,662	383,712	392,625	294,293				2,811,312
江別市	11,345	10,357	9,201	6,968	10,346	15,517	18,559	17,193	12,848				112,333
石狩市	13,165	11,159	9,891	8,033	10,164	11,527	13,920	15,830	12,011				105,699
旭川市	9,137	8,786	7,573	5,580	7,255	10,450	11,554	15,087	10,004				85,426
苫小牧市	8,055	8,204	8,254	5,425	7,239	9,753	9,371	10,843	8,164				75,308
倶知安町	6,157	5,436	5,060	4,339	7,371	9,088	10,462	11,059	10,271				69,246
千歳市	6,999	6,897	5,733	4,297	6,313	8,677	11,615	11,183	6,993				68,707
余市町	7,377	6,139	4,981	4,865	9,040	5,510	7,066	9,232	10,706				64,916
函館市	7,549	7,040	6,936	5,047	6,082	6,492	7,430	9,263	8,431				64,269
北広島市	6,175	5,865	5,034	3,904	5,272	6,587	8,249	7,404	6,056				54,545
恵庭市	4,844	4,536	4,149	2,916	4,578	6,492	6,884	7,125	5,286				46,810
岩見沢市	3,968	3,690	3,707	3,133	3,140	5,795	7,127	6,908	4,283				41,750
帯広市	3,959	4,283	3,645	2,580	2,694	4,465	5,762	5,204	3,848				36,440
岩内町	2,954	2,328	2,477	1,794	3,124	3,895	5,368	5,235	4,651				31,826
釧路市	2,465	2,570	2,468	1,935	2,016	1,773	3,366	3,686	2,543				22,823
室蘭市	2,216	2,197	2,061	1,388	2,148	2,502	2,669	2,571	2,242				19,993
共和町	1,486	1,922	1,495	1,409	2,264	2,090	3,609	2,974	2,710				19,959
北見市	1,752	1,867	1,876	1,136	1,636	2,027	2,396	2,788	1,874				17,350
当別町	1,735	1,384	1,274	1,030	1,173	2,058	2,123	2,138	1,740				14,655
登別市	1,572	1,483	1,592	981	1,686	1,805	1,122	2,014	1,271				13,526

# 小樽市の観光入込客数等（2025年）

## ● 入込客数 道外客上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
<b>道外（外国人除く）</b>	<b>178,309</b>	<b>184,928</b>	<b>166,102</b>	<b>117,397</b>	<b>117,737</b>	<b>150,703</b>	<b>196,481</b>	<b>199,101</b>	<b>178,797</b>				<b>1,489,554</b>
東京都	41,110	43,777	38,405	27,807	26,344	29,672	40,940	43,711	35,632				327,398
神奈川県	20,688	21,658	18,959	12,764	13,188	16,087	23,533	23,792	20,777				171,447
大阪府	18,438	16,562	15,863	10,648	9,503	13,205	19,772	17,906	15,089				136,986
埼玉県	13,818	14,706	12,501	9,112	9,139	9,437	13,707	15,830	12,848				111,098
千葉県	13,698	13,893	12,970	8,825	8,065	10,608	13,556	13,290	12,011				106,916
愛知県	10,752	10,181	9,015	6,750	6,528	8,677	13,070	13,693	12,145				90,811
兵庫県	9,464	9,401	8,697	5,888	4,578	7,505	8,370	10,657	9,502				74,061
福岡県	3,641	3,910	3,247	2,509	2,743	3,072	5,216	5,545	4,751				34,635
宮城県	3,968	4,184	3,893	2,615	3,124	3,452	4,306	3,841	3,245				32,628
京都府	2,997	3,064	2,990	1,893	2,165	3,325	5,186	3,934	3,379				28,933
茨城県	3,049	3,185	2,725	2,201	2,512	3,388	3,275	3,470	4,684				28,489
静岡県	2,782	3,042	2,504	1,942	1,868	3,040	4,276	4,182	3,848				27,483
新潟県	2,405	2,449	2,530	1,696	1,901	3,167	2,669	1,859	3,145				21,820
栃木県	2,198	2,021	1,982	1,178	1,603	3,167	2,335	2,292	2,175				18,951
長野県	1,889	1,900	1,681	1,143	1,504	2,375	2,669	2,385	2,710				18,256
青森県	2,095	2,537	1,831	1,556	1,471	1,552	1,759	2,571	2,610				17,982
福島県	2,284	2,394	1,946	1,367	1,917	2,343	2,274	1,270	1,138				16,934
広島県	1,975	1,977	1,884	1,549	1,669	1,932	1,304	2,230	2,141				16,662
岐阜県	1,228	1,527	1,637	1,002	1,107	1,678	1,880	3,160	2,677				15,896
群馬県	1,348	1,461	1,433	1,276	1,322	2,850	2,790	1,487	1,840				15,807

# 小樽市の観光入込客数等（2025年）

## ● 入込客数 外国人上位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
外国人	132,256	135,774	93,250	45,123	46,227	40,726	52,262	61,344	35,675				642,636
台湾	37,951	48,353	50,655	28,075	11,199	10,977	15,337	20,007	13,353				235,907
韓国	24,225	25,401	15,842	6,876	18,556	20,409	20,522	26,711	16,250				174,794
中国	58,637	49,090	17,757	4,948	4,813	3,674	7,524	9,474	3,537				159,453
香港	4,540	4,505	2,594	1,442	7,302	2,505	3,397	3,229	780				30,293
タイ	3,237	4,206	2,912	1,689	2,346	1,694	1,543	480	595				18,702
インドネシア	598	605	1,039	195	380	161	133	182	49				3,342
マレーシア	591	403	244	504	144	65	109	195	165				2,421
シンガポール	389	485	456	482	39	75	116	109	147				2,299
ベトナム	176	332	412	204	132	100	595	*	70				2,020
フィリピン	331	547	273	117	147	44	154	172	188				1,973
オーストラリア	192	540	308	207	71	110	33	127	61				1,648
アメリカ	117	129	81	126	202	495	190	76	45				1,462
インド	210	188	*	90	97	100	*	40	35				760
カナダ	32	26	111	54	36	*	23	*	11				293
ニュージーランド	45	91	133	16	*	*	*	*	*				285

# 小樽市の観光入込客数等 (2025年)

## ● 宿泊客数・延べ宿泊客数 外国人上位

	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数
<b>外国人</b>	<b>45,879</b>	<b>52,615</b>	<b>43,061</b>	<b>49,646</b>	<b>19,118</b>	<b>21,767</b>	<b>14,565</b>	<b>16,515</b>	<b>16,981</b>	<b>19,999</b>	<b>17,601</b>	<b>20,149</b>
台湾	11,363	12,862	13,448	15,955	9,139	10,463	8,766	9,677	2,668	2,752	5,169	5,935
中国	19,574	22,199	17,876	20,619	4,357	4,950	1,970	2,227	2,174	2,596	2,240	2,485
韓国	8,625	9,814	7,579	8,259	3,218	3,375	1,822	2,174	6,070	6,913	7,630	8,129
香港	3,423	3,873	2,078	2,437	719	1,018	601	801	4,402	6,024	1,823	2,155
タイ	1,231	1,692	1,122	1,262	884	1,085	604	690	1,254	1,254	497	1,160
マレーシア	301	473	126	126	90	90	204	204	33	33	16	16
インドネシア	264	294	141	176	153	153	79	79	157	157	40	40
シンガポール	101	121	102	179	115	129	302	412	11	11	14	14
フィリピン	118	118	115	115	121	121	*	*	67	67	*	*
オーストラリア	75	75	116	145	44	44	66	66	37	55	62	62

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計	
	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数	宿泊客数	延べ宿泊客数
<b>外国人</b>	<b>21,994</b>	<b>27,989</b>	<b>19,850</b>	<b>25,782</b>	<b>12,781</b>	<b>16,496</b>							<b>211,830</b>	<b>250,957</b>
台湾	7,703	10,123	5,548	7,566	4,874	6,374							68,679	81,707
中国	3,797	4,871	3,625	4,730	1,954	2,519							57,567	67,195
韓国	7,117	9,317	7,680	9,683	5,045	5,910							54,784	63,573
香港	2,496	2,774	2,623	3,430	187	747							18,352	23,259
タイ	304	304	*	*	427	570							6,324	8,019
マレーシア	86	86	98	98	75	75							1,028	1,199
インドネシア	*	*	*	*	*	*							835	969
シンガポール	28	28	52	52	23	23							748	899
フィリピン	*	*	129	129	96	96							646	708
オーストラリア	*	*	95	95	*	*							578	646

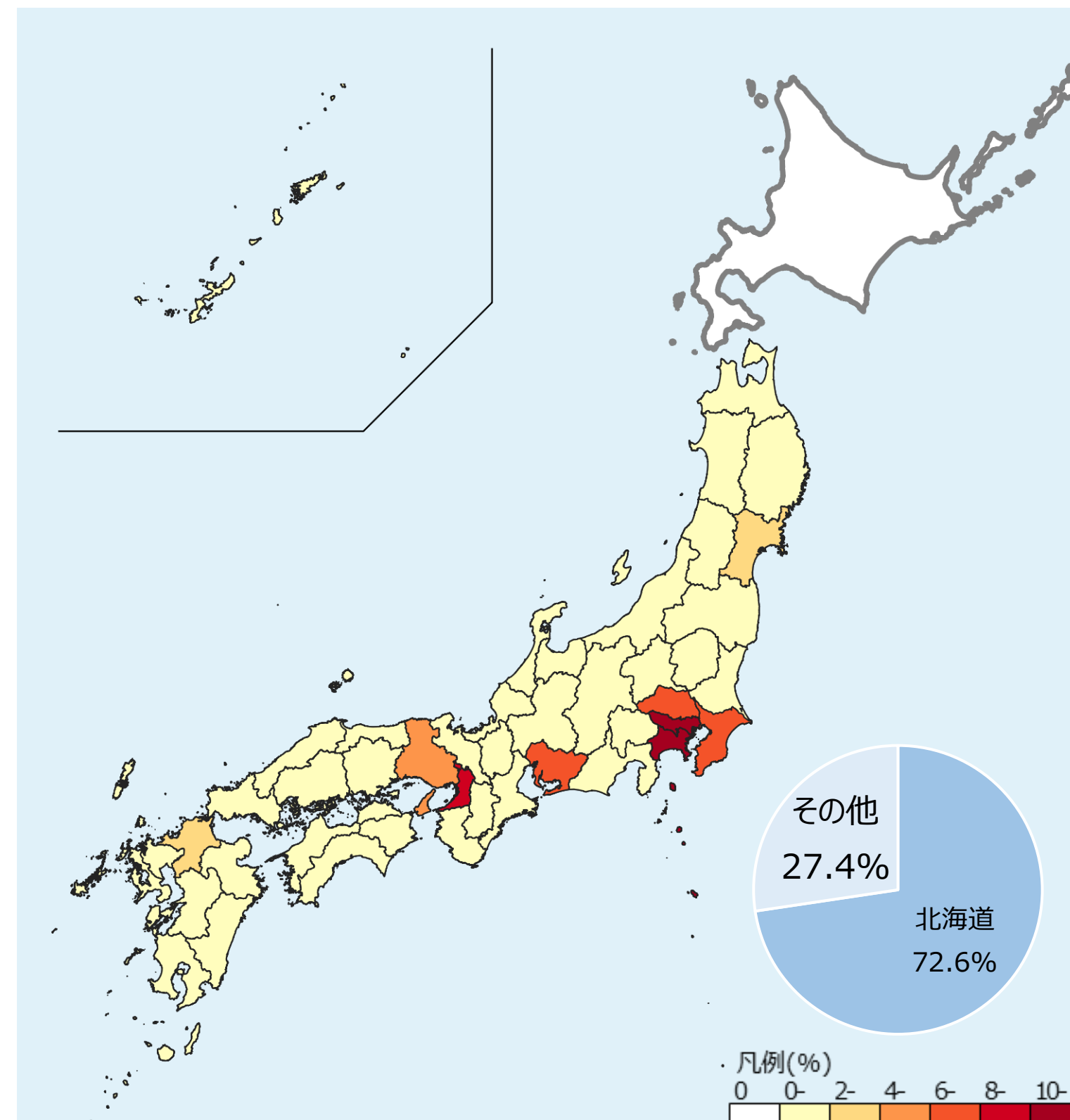
居住地

# 小樽市全域来訪者の居住地（2025年1-9月）

- ▶ 道外客は東京・神奈川・大阪からの来訪が特に多い。道内客は札幌のほか函館・旭川・苫小牧・江別・千歳・石狩・倶知安・余市が多い。
- ▶ インバウンドは台湾が最も多くおよそ4割を占め、次いで韓国・中国が多い。

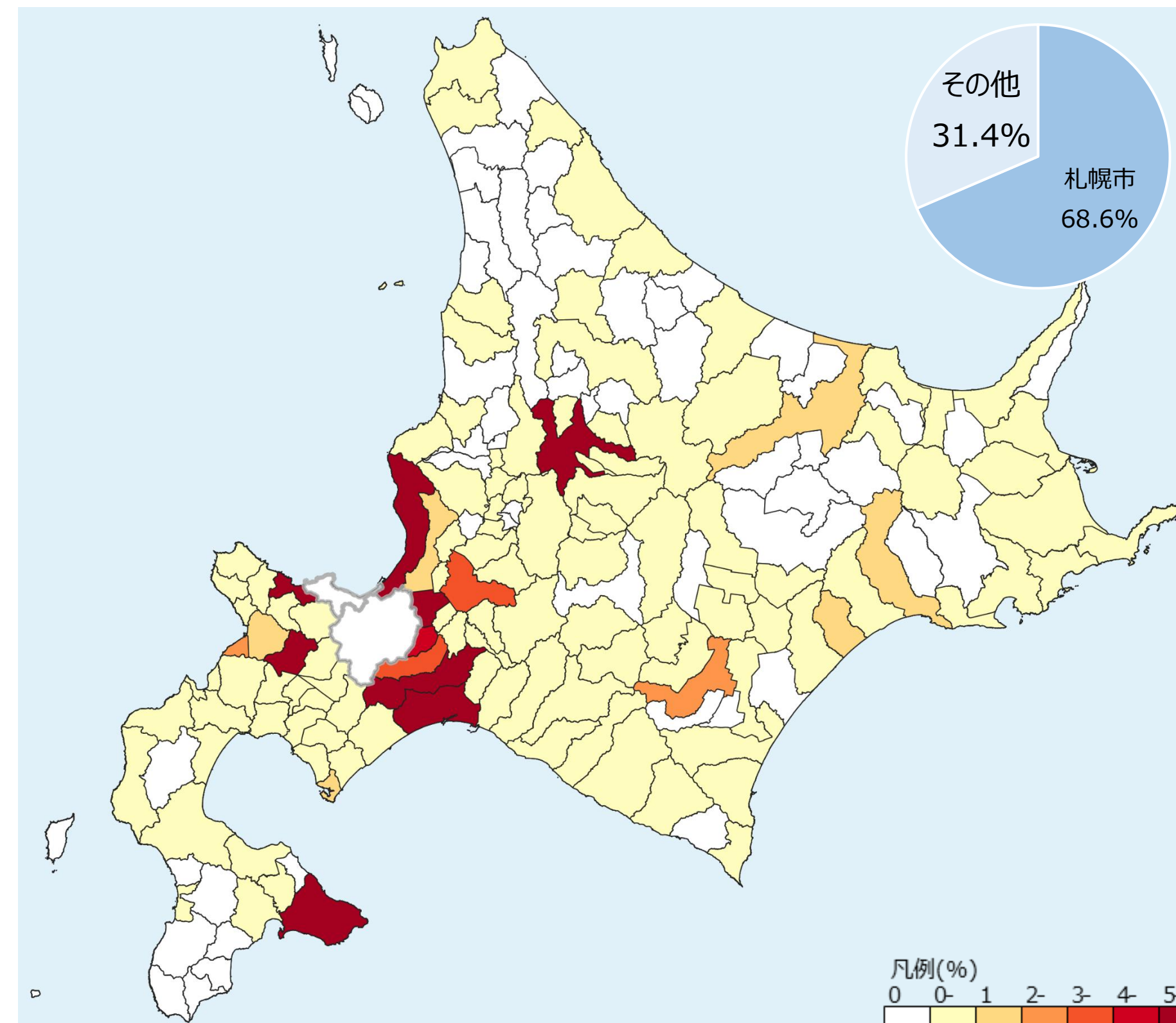
## ● 居住地（日本人観光客-全国）

道外客5,456.2人、道内客15,014.4人（一日当たり）



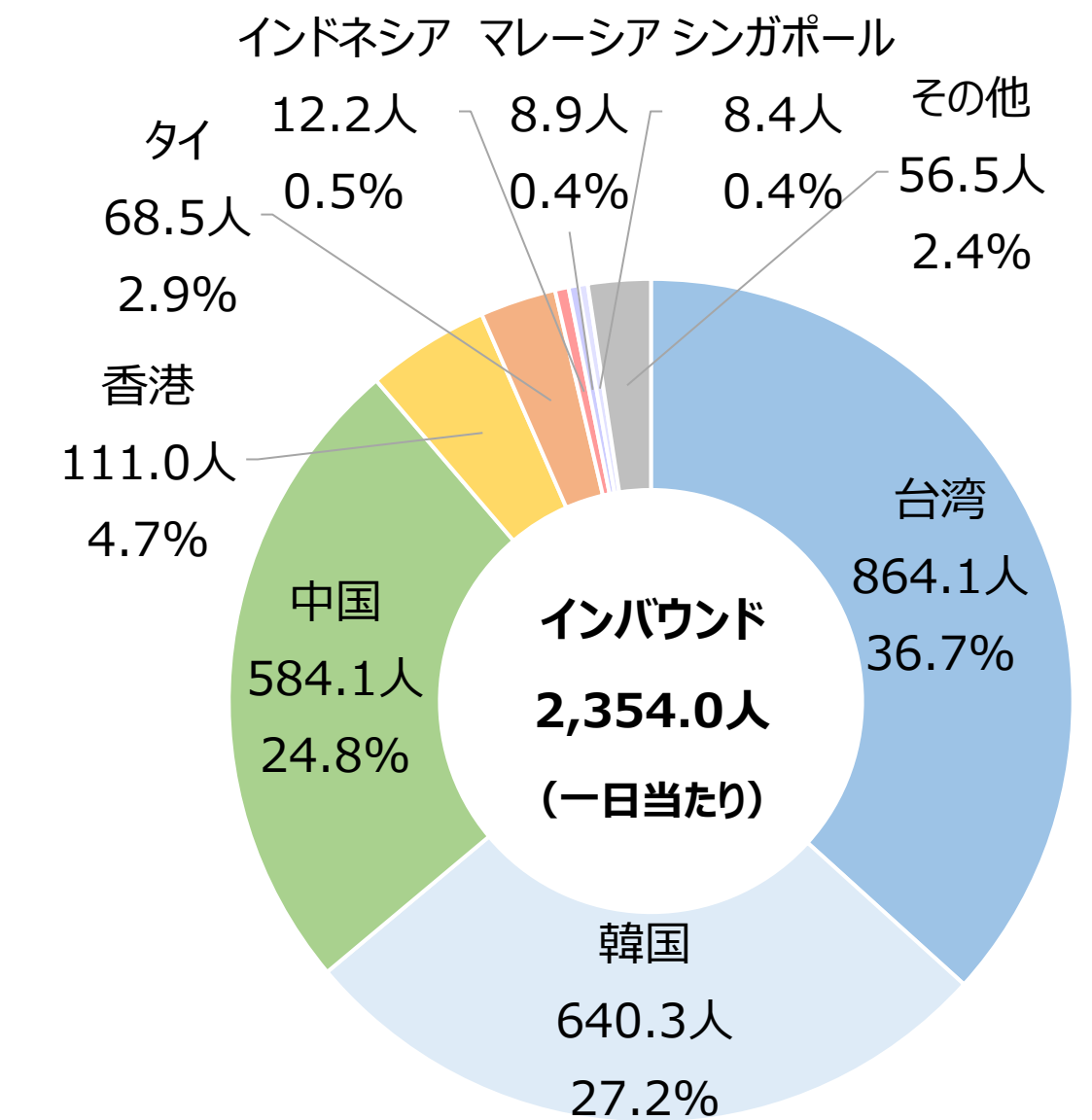
※ヒートマップは、北海道民を除いた全国の合計値を100%としている。

## ● 居住地（日本人観光客-全道）



※ヒートマップは、小樽市民と札幌市民を除いた全道の合計値を100%としている。

## ● 居住地（インバウンド）



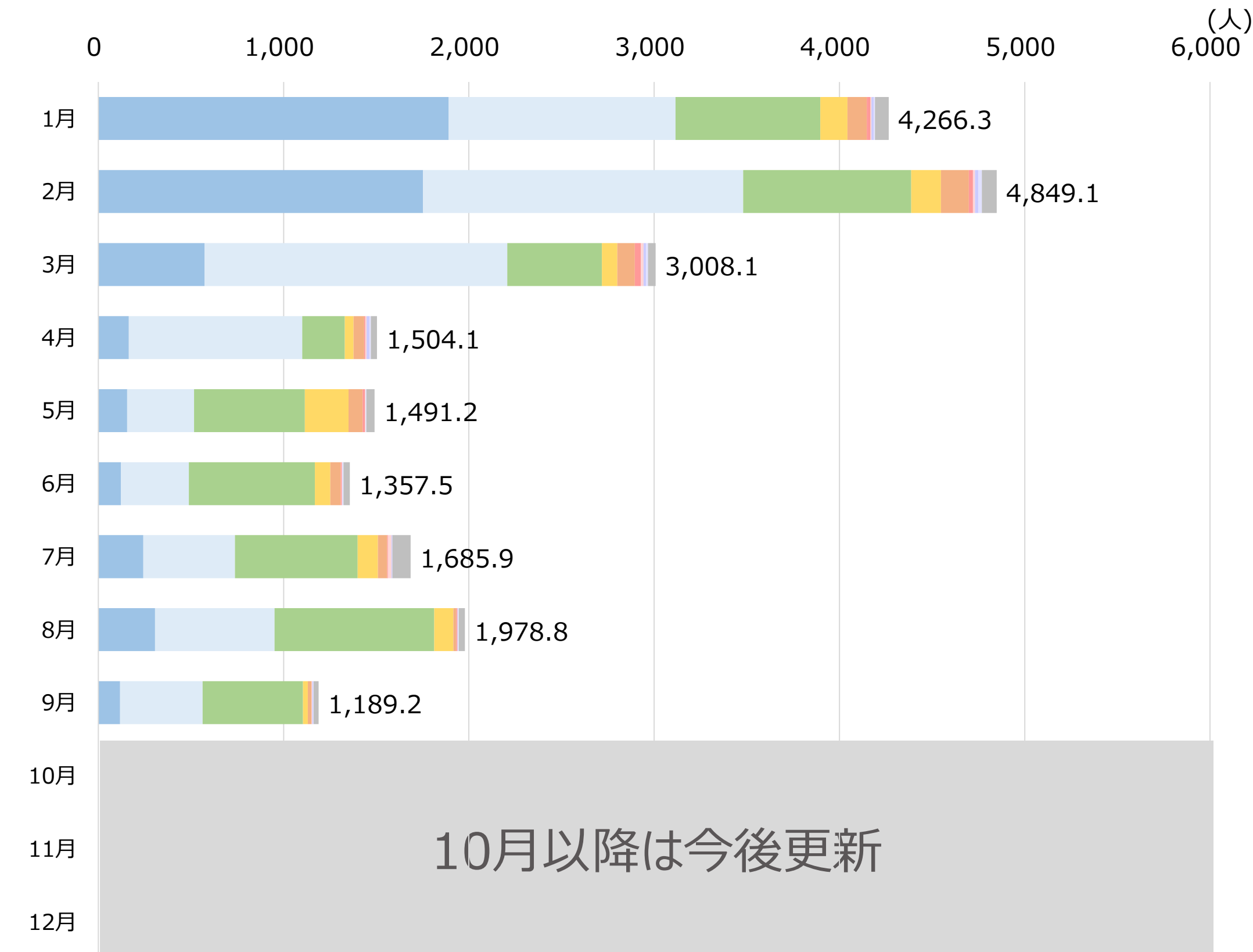
※インバウンドの合計値を100%としている。  
 なお、中国については位置情報を取得できないため、別途推計を行っている（詳細はp.4を参照）。

# 小樽市全域来訪者の居住国（インバウンド）

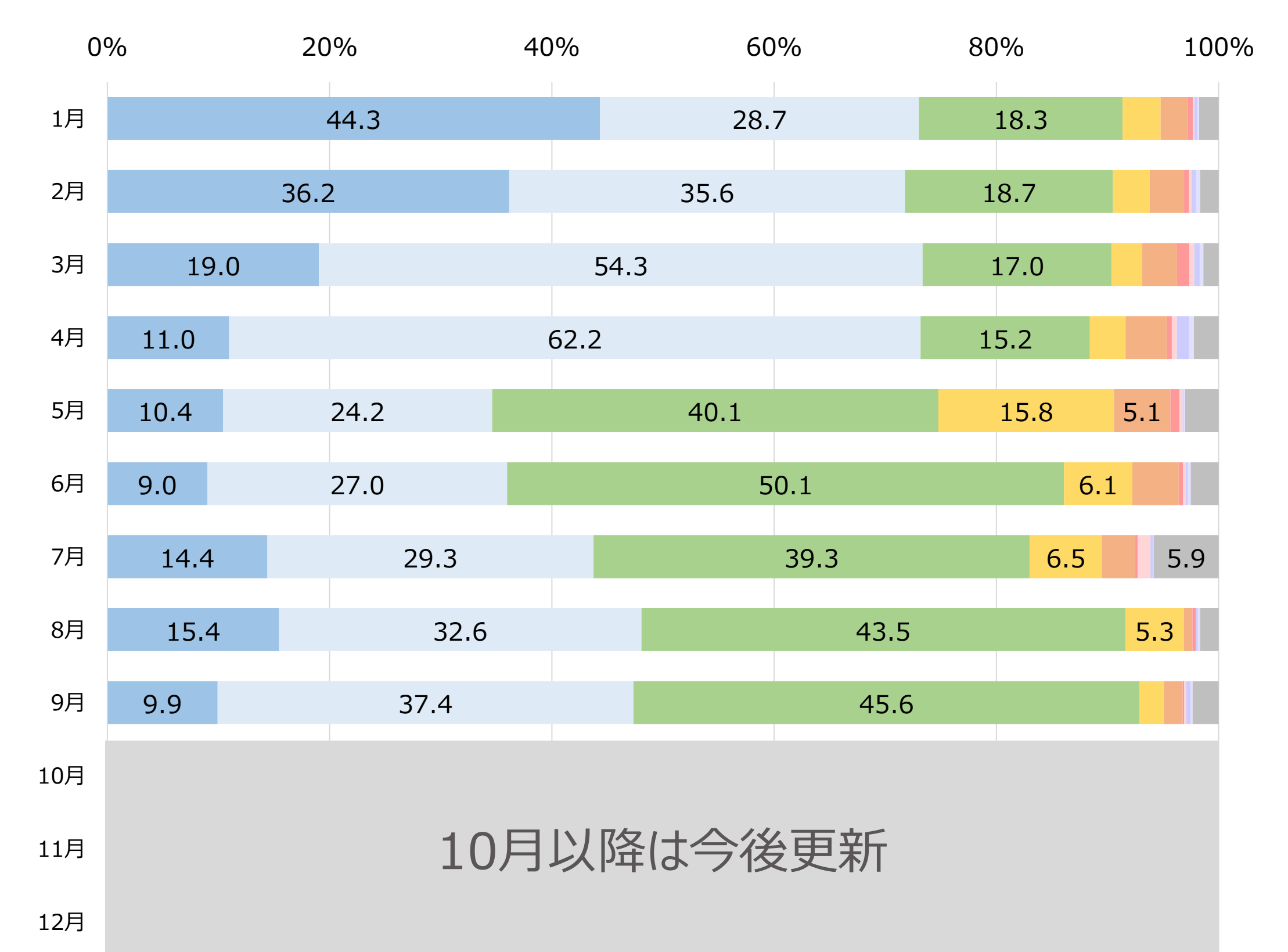
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉 ※一日あたり（次頁以降も同じ）



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

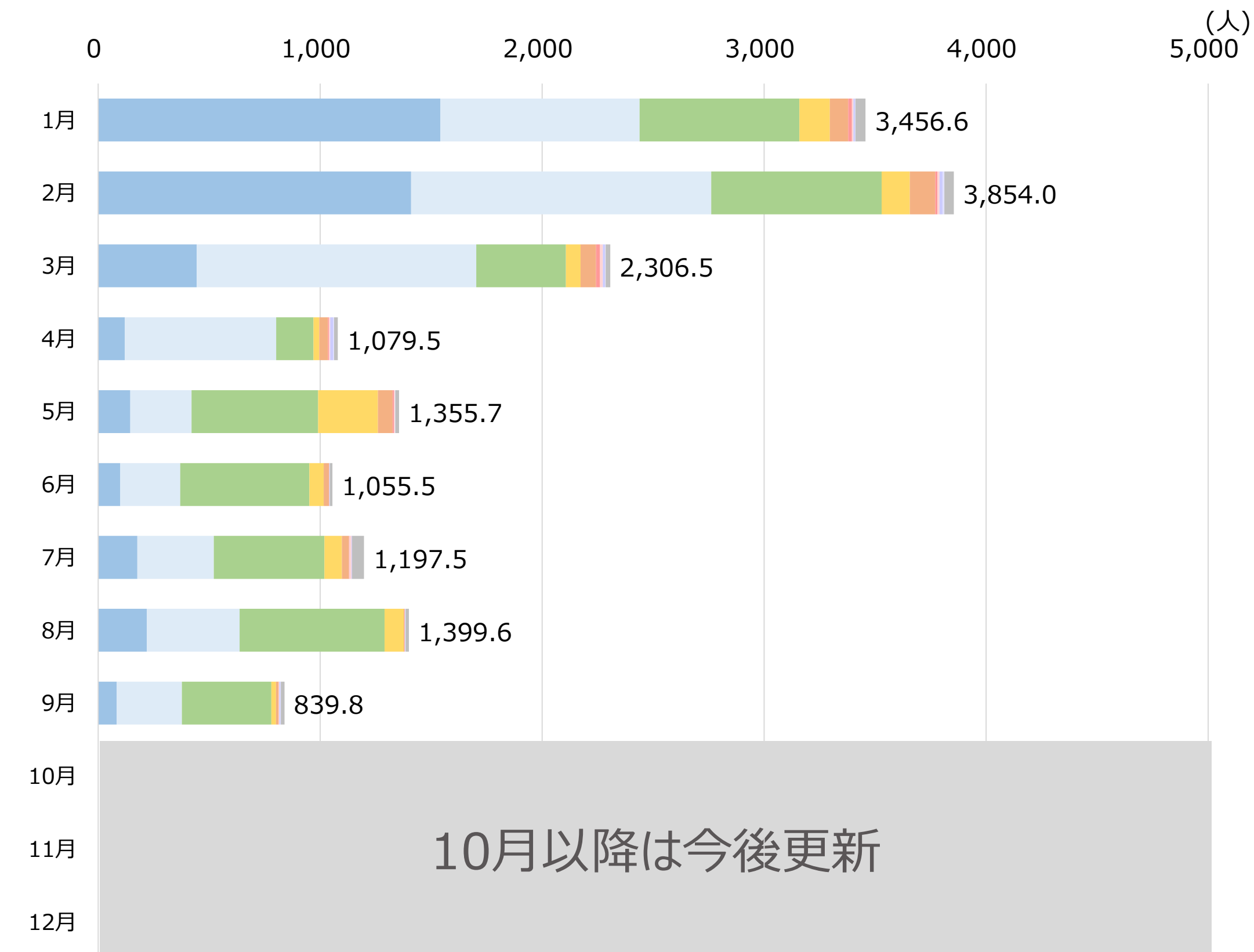
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 中心部エリア来訪者の居住国（インバウンド）

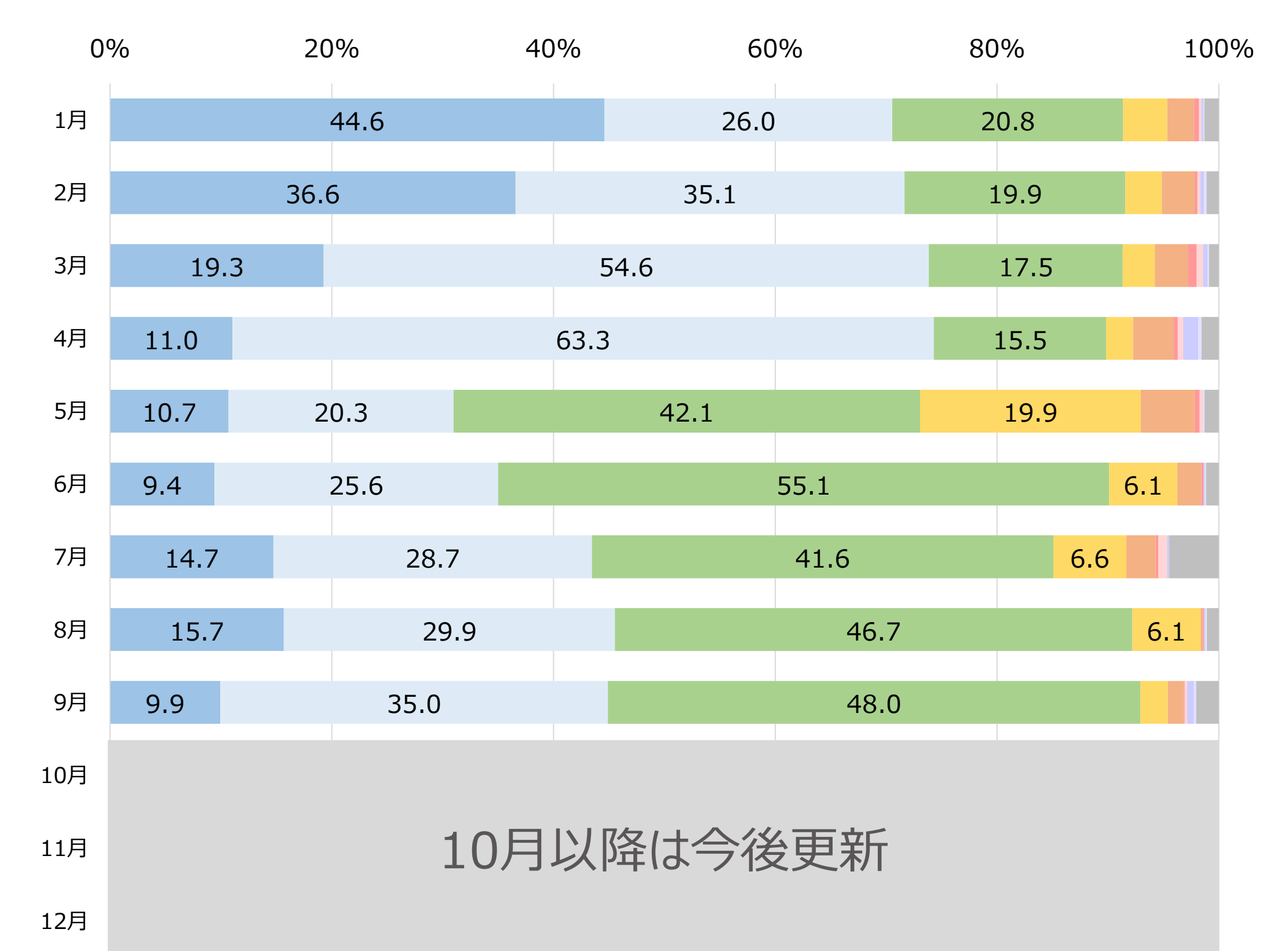
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

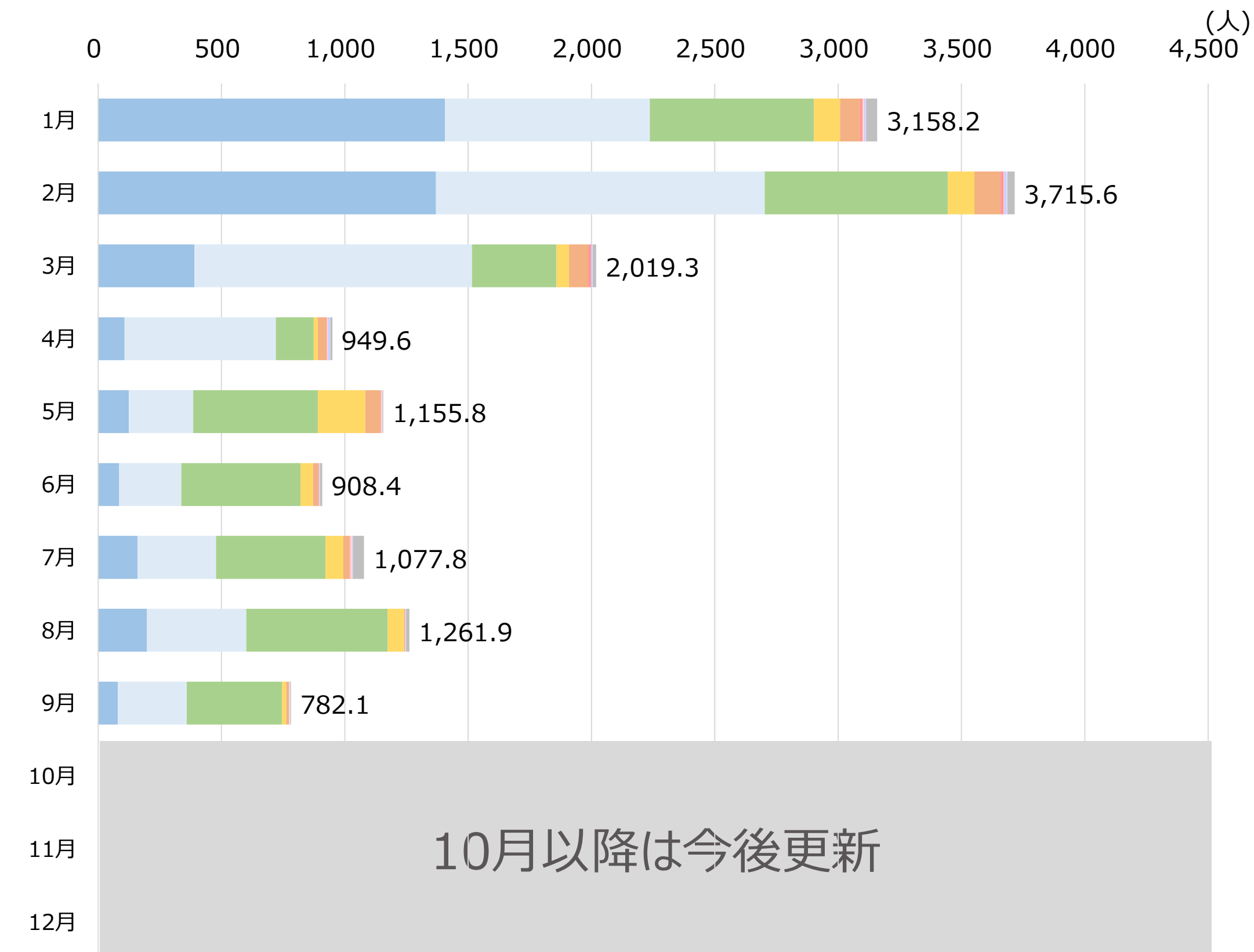
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽運河エリア来訪者の居住国（インバウンド）

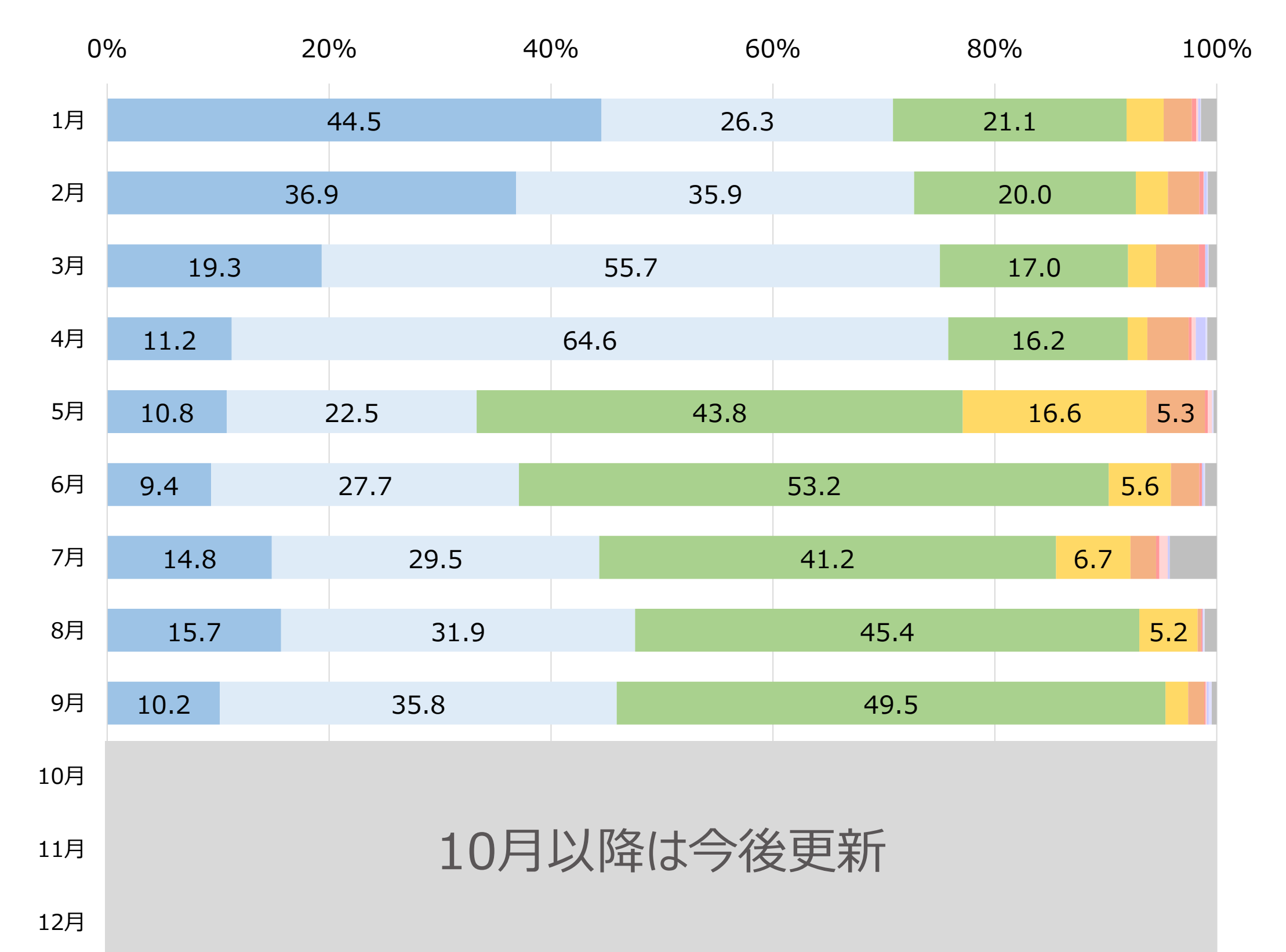
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

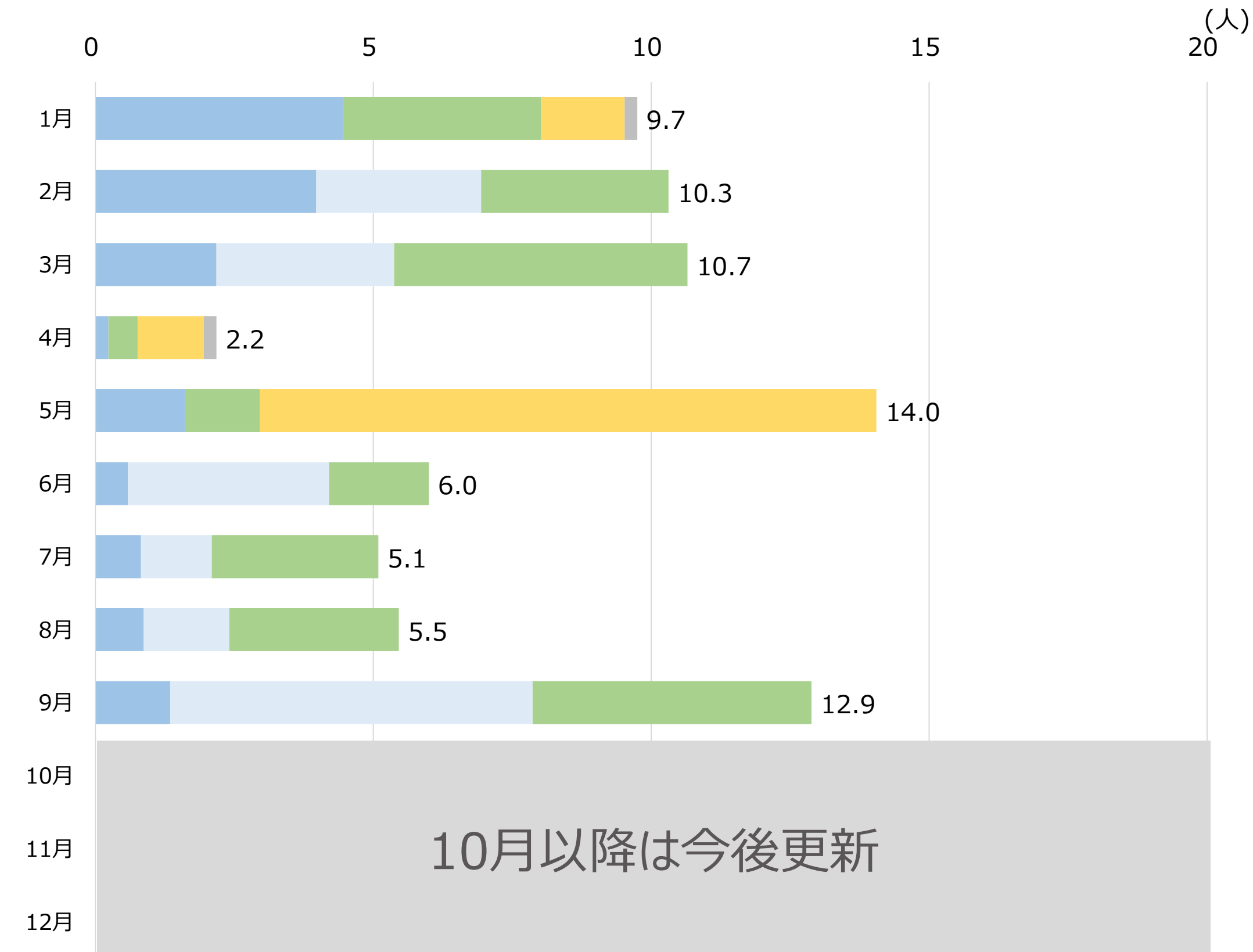
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 花園銀座商店街エリア来訪者の居住国（インバウンド）

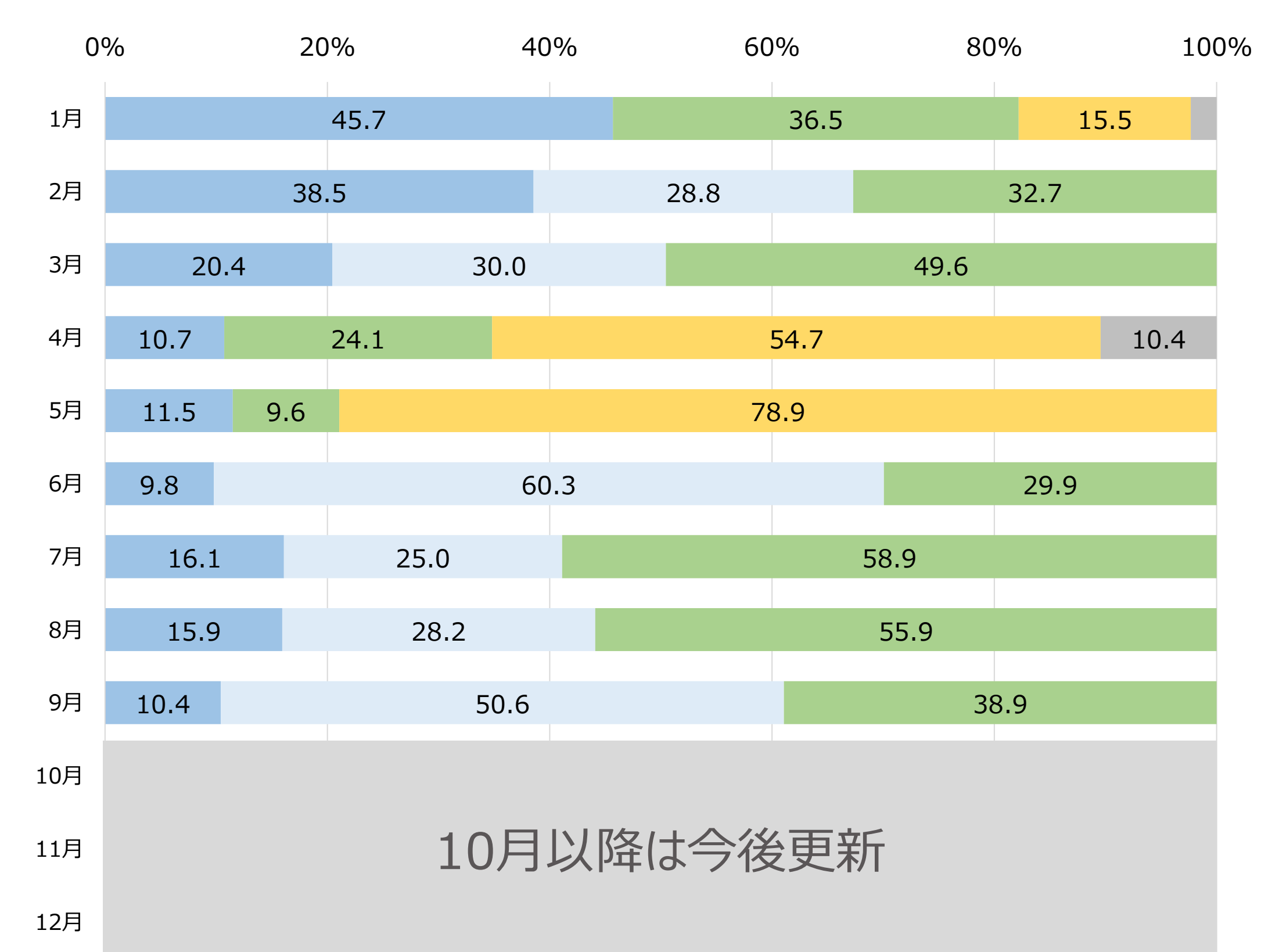
- 実数では、5月・9月の来訪が多く、4月・7月は来訪が落ち込む。
- 割合では、香港からの来訪が最も多く5月がピークとなる。次いで台湾が多く6月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

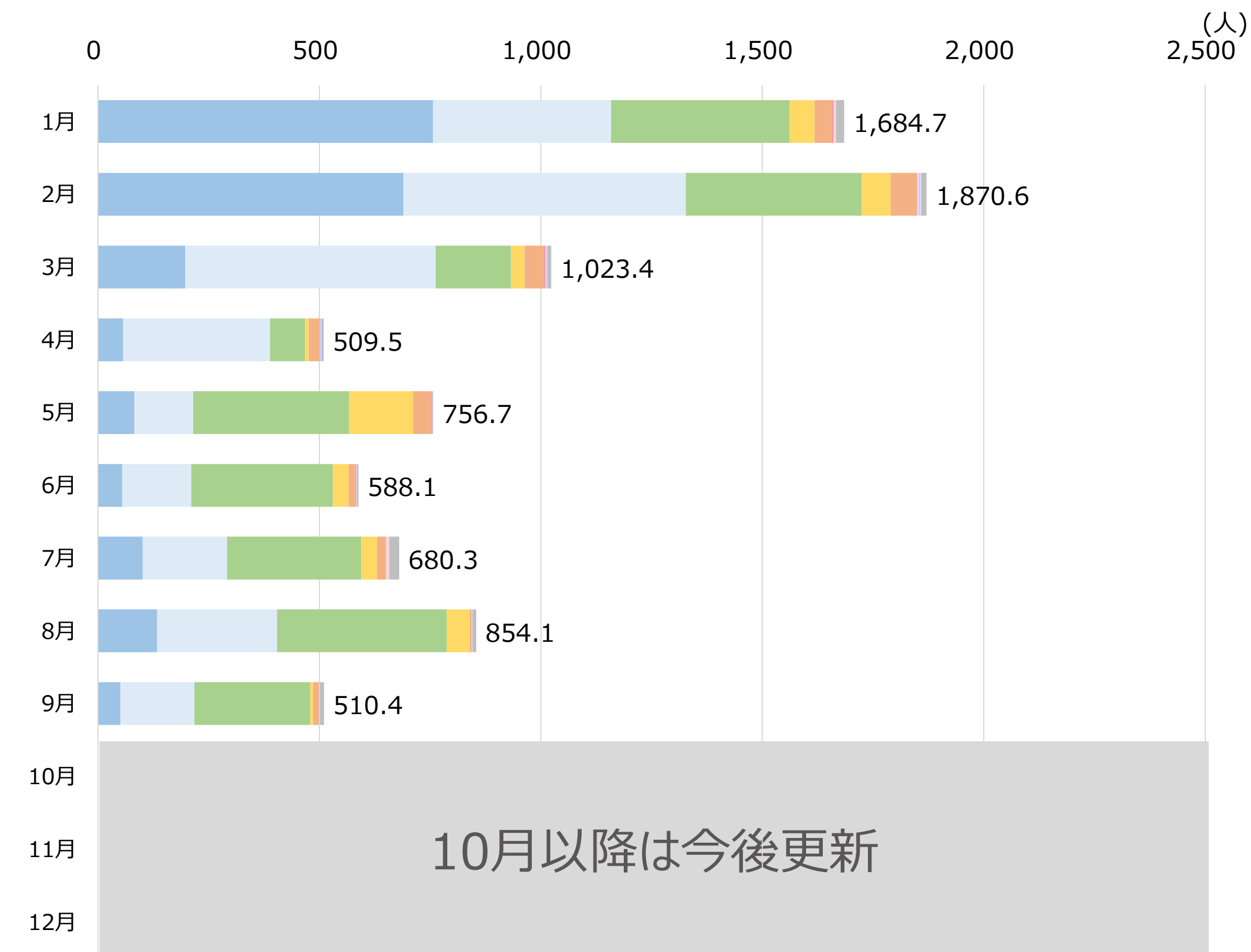
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 堺町通り商店街エリア来訪者の居住国（インバウンド）

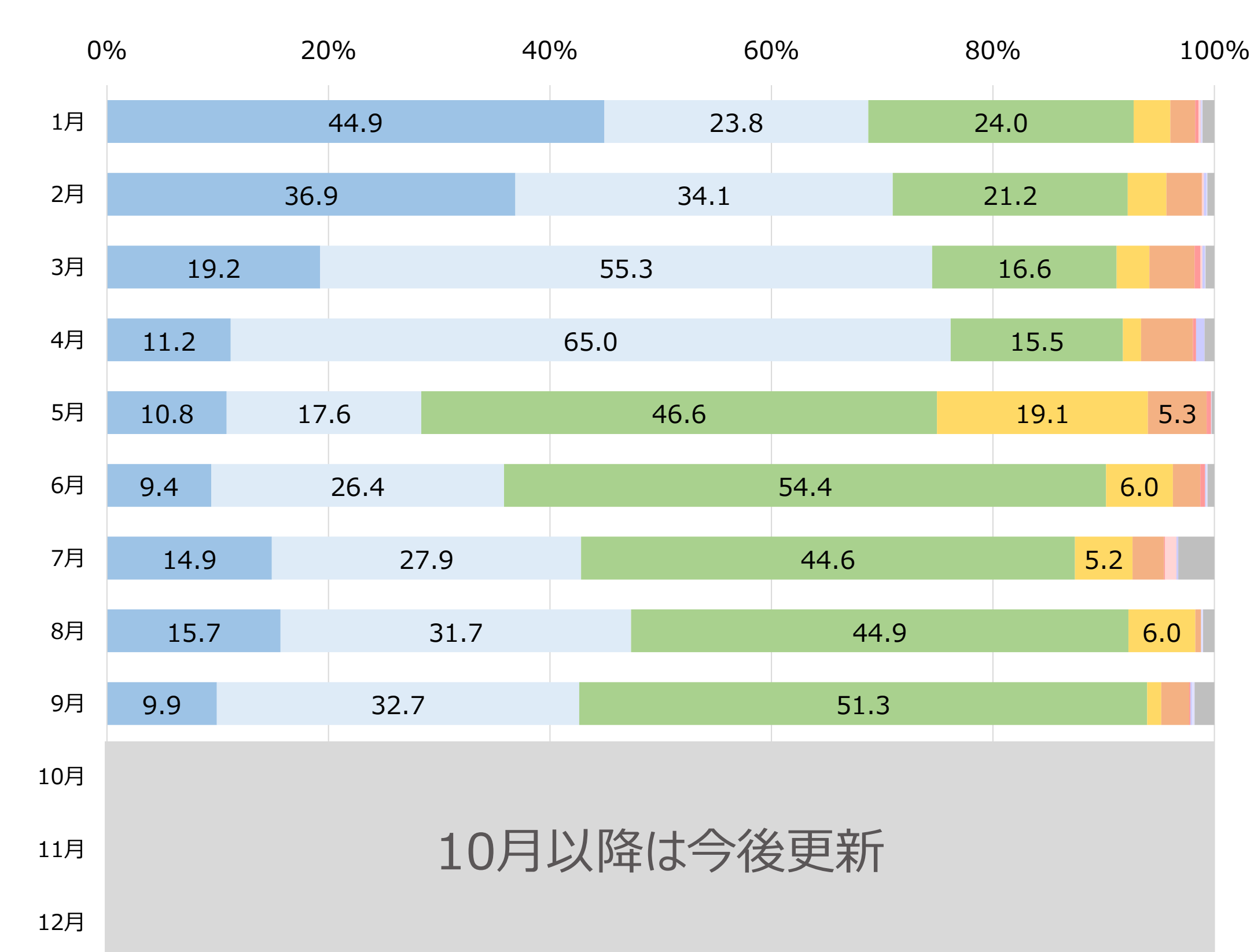
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、4月・9月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで韓国が多く6月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

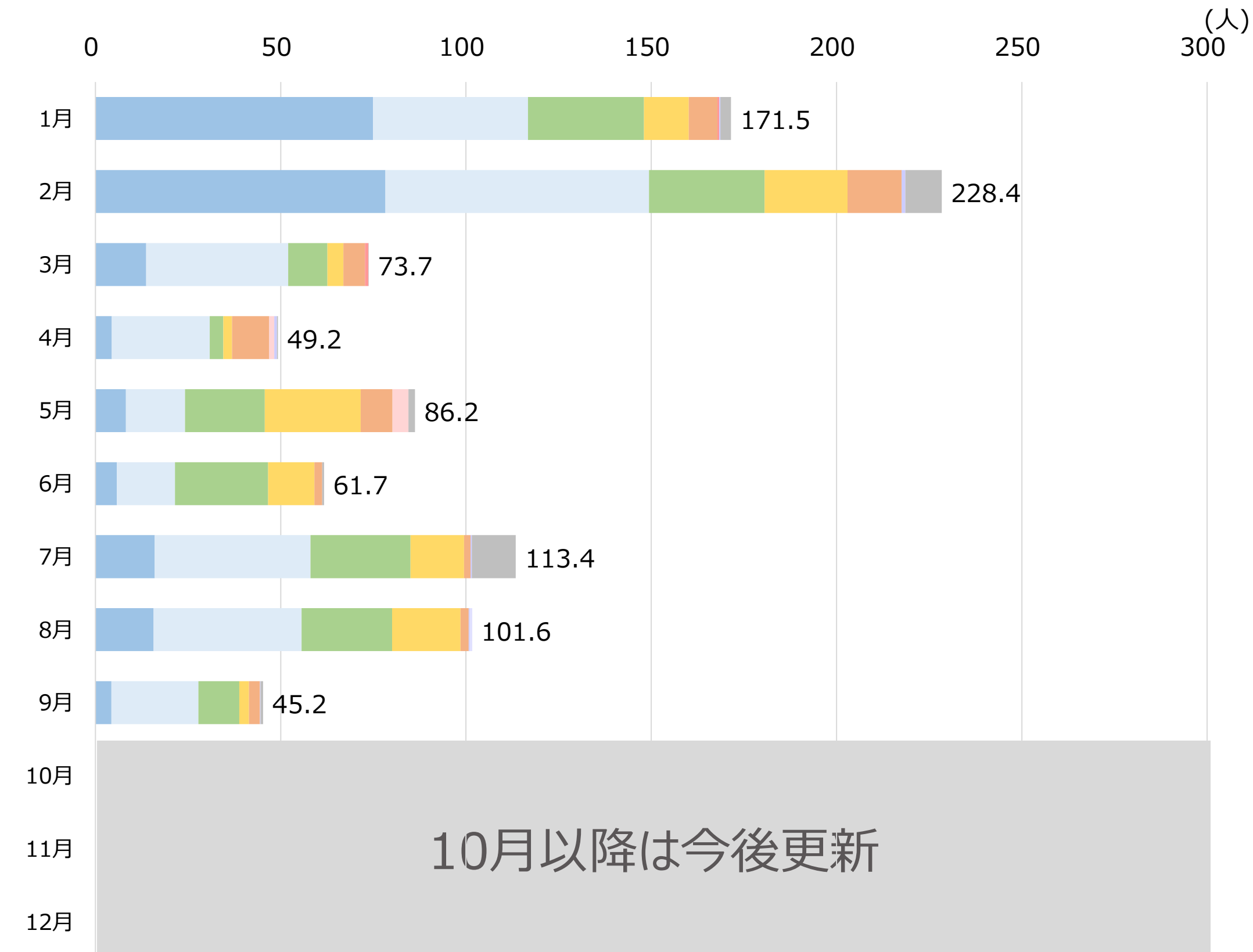
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 祝津・高島・手宮エリア来訪者の居住国（インバウンド）

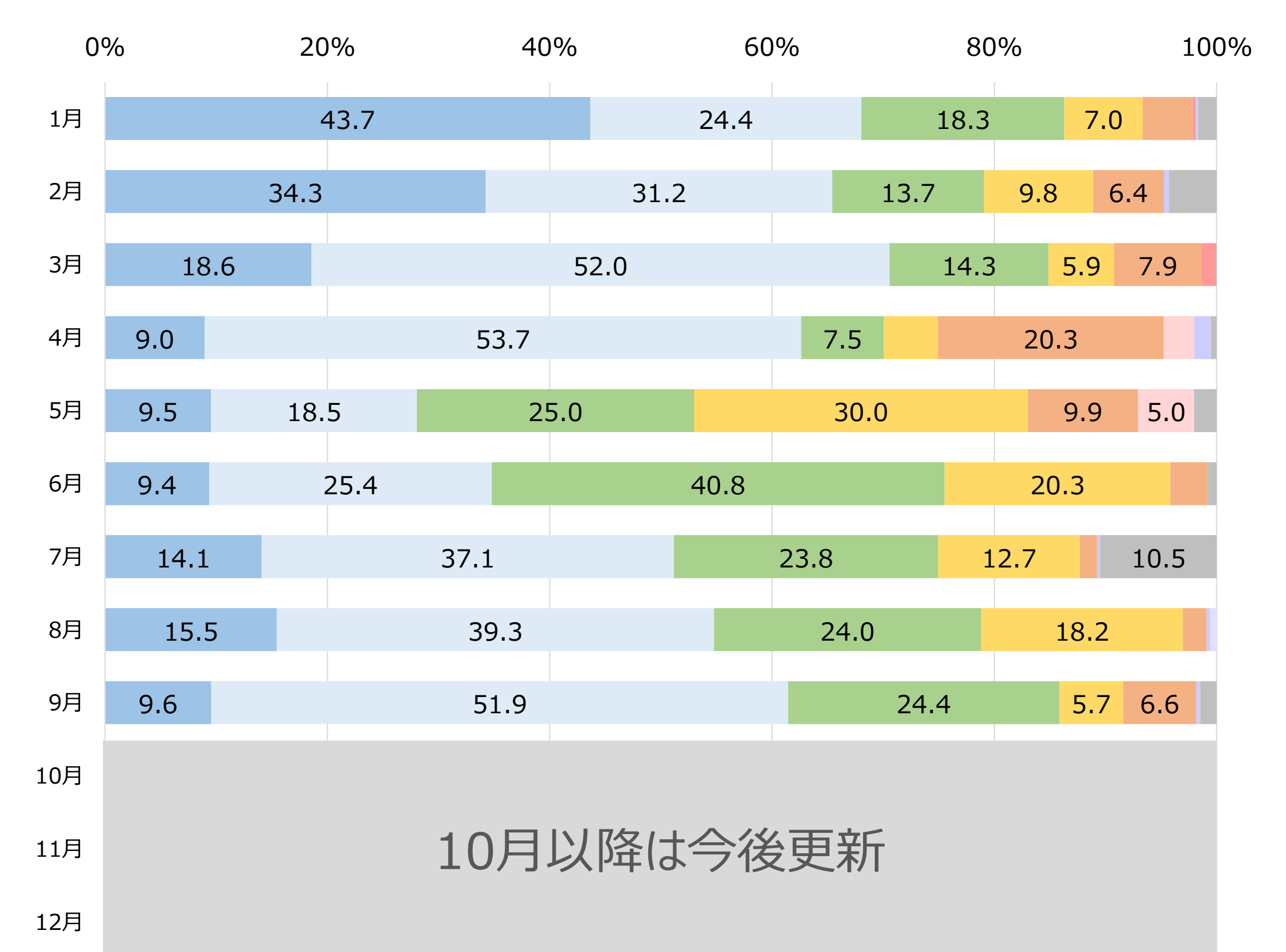
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



10月以降は今後更新

10月以降は今後更新

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

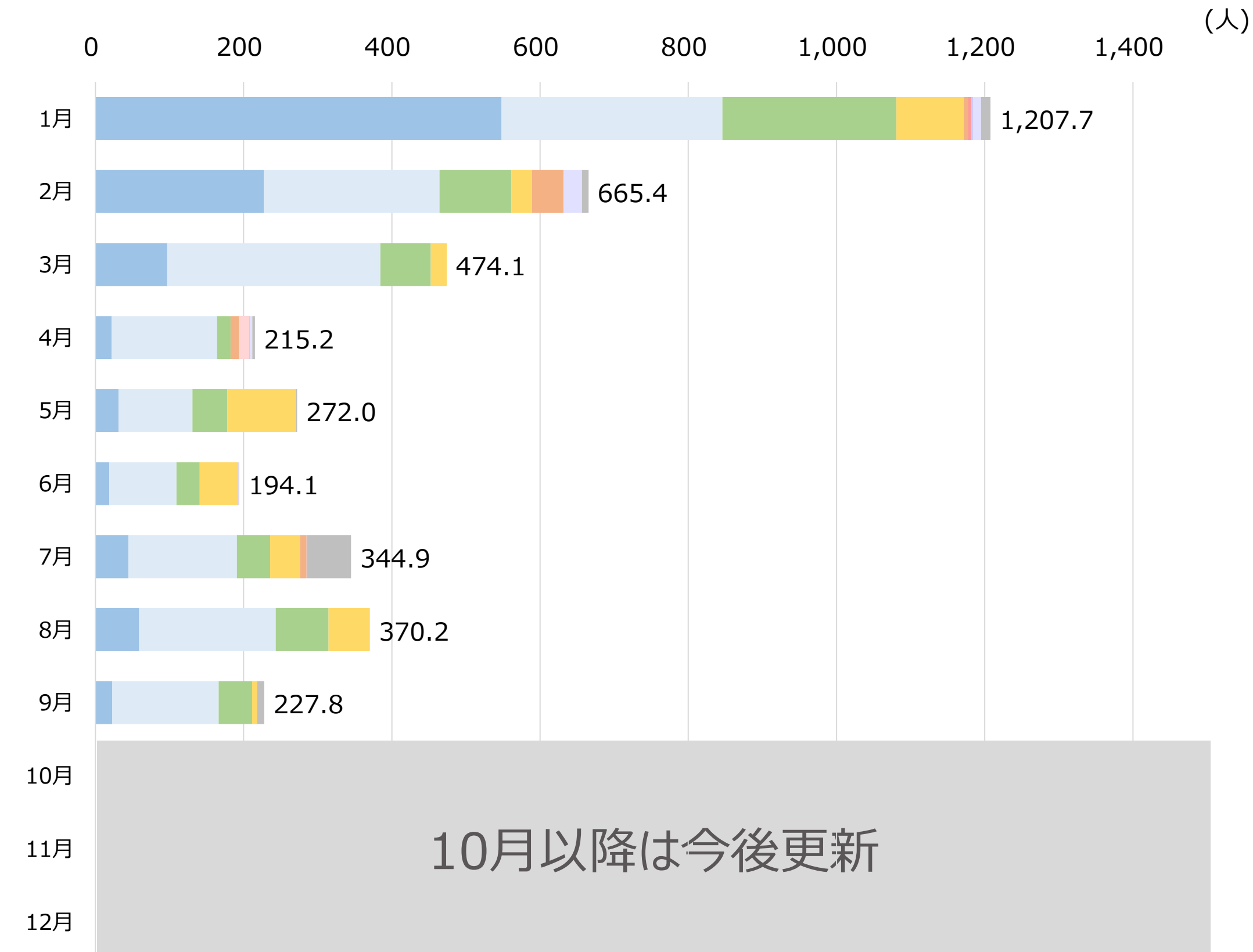
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 天狗山エリア来訪者の居住国（インバウンド）

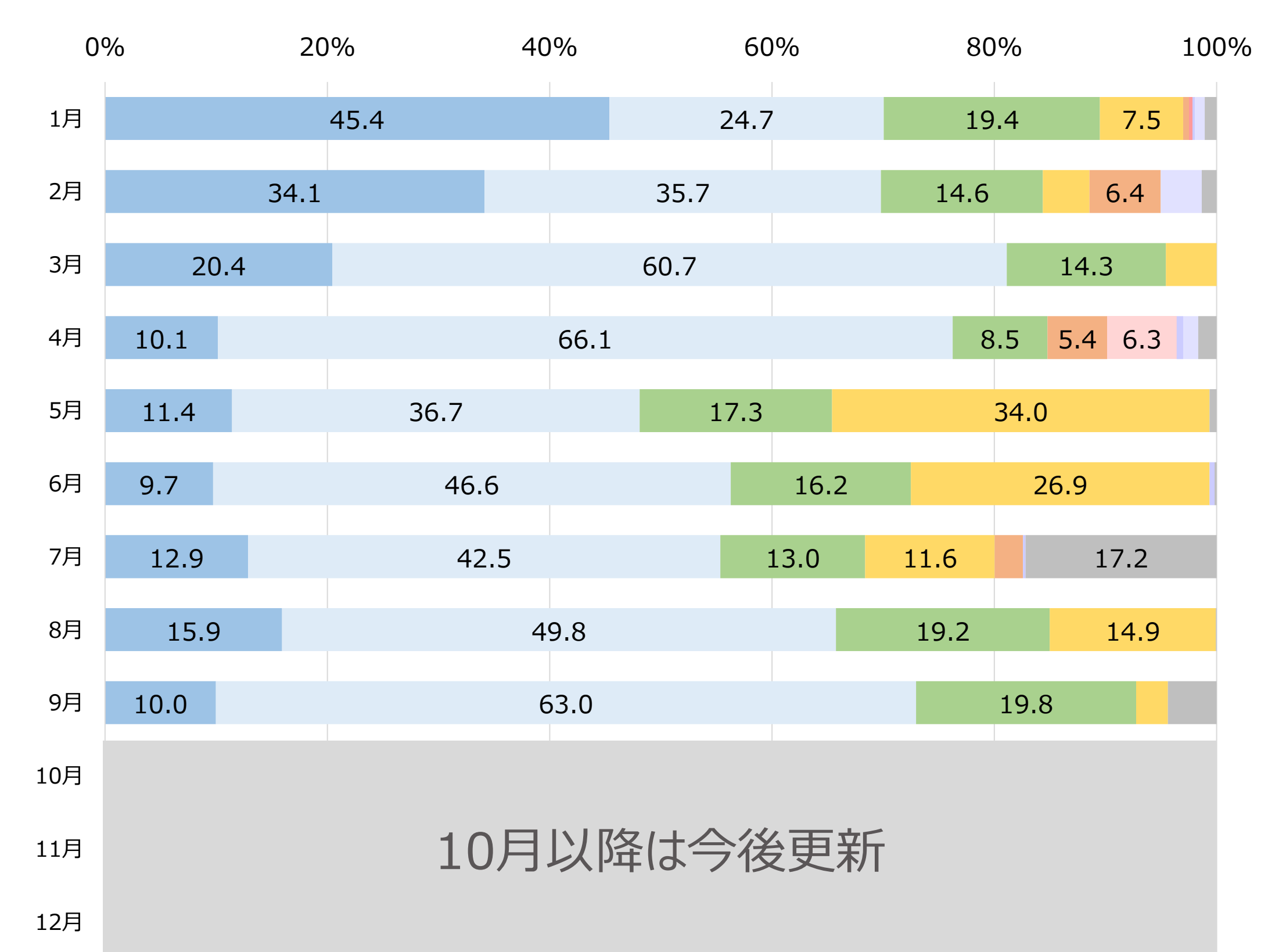
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、6月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



10月以降は今後更新

10月以降は今後更新

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

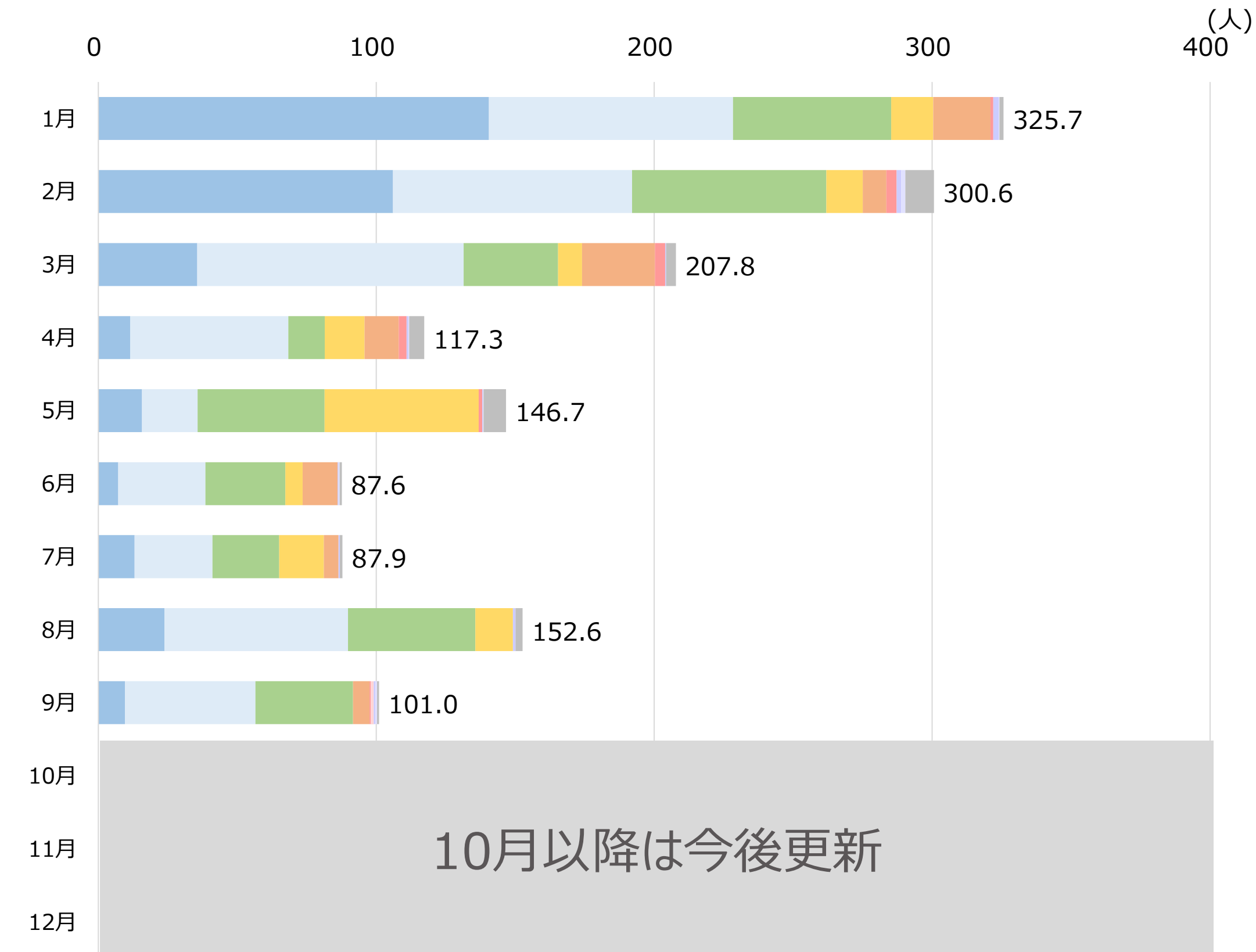
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 築港エリア来訪者の居住国（インバウンド）

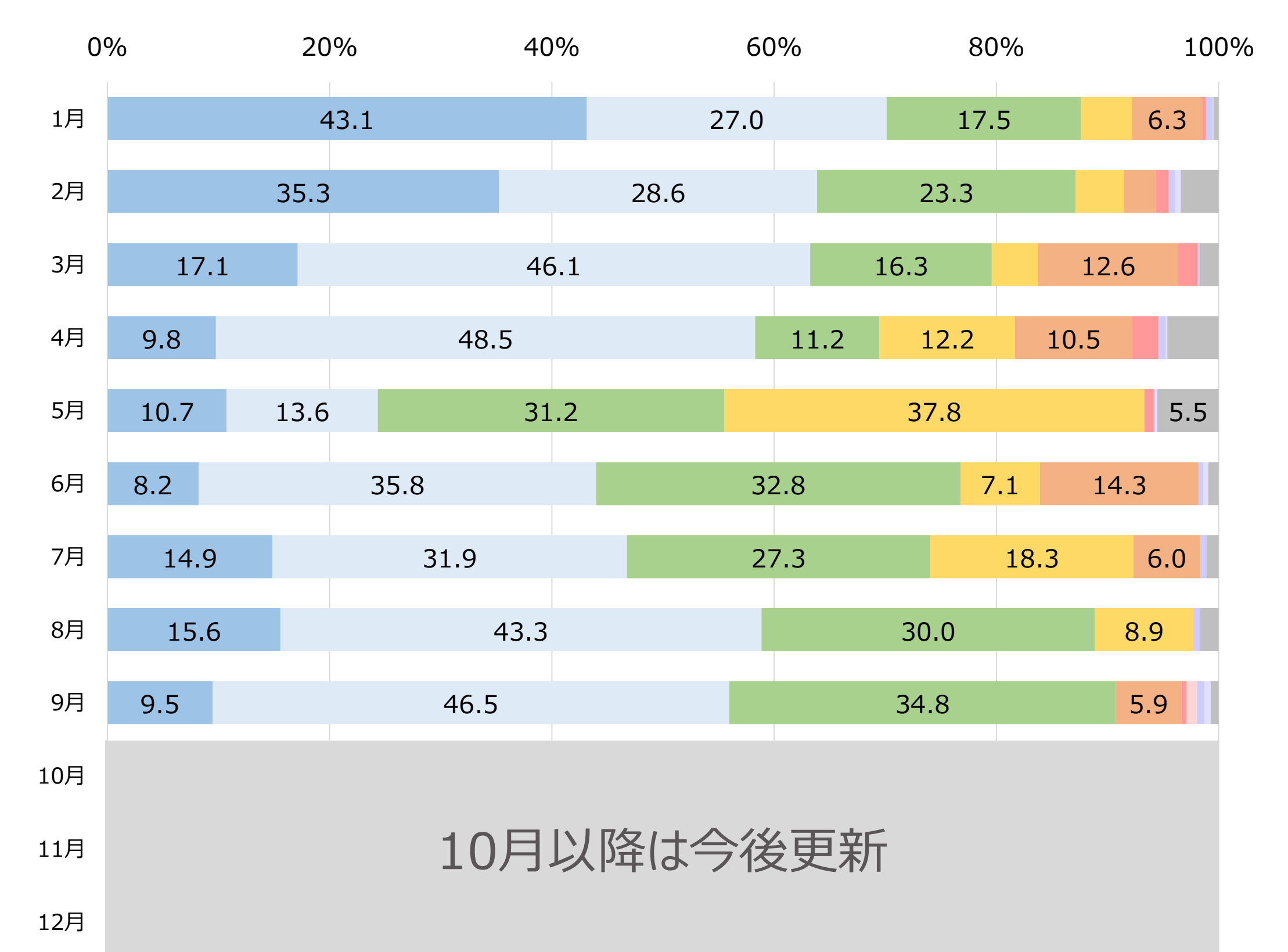
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、6月・7月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く4月がピークとなる。次いで中国が多く1月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

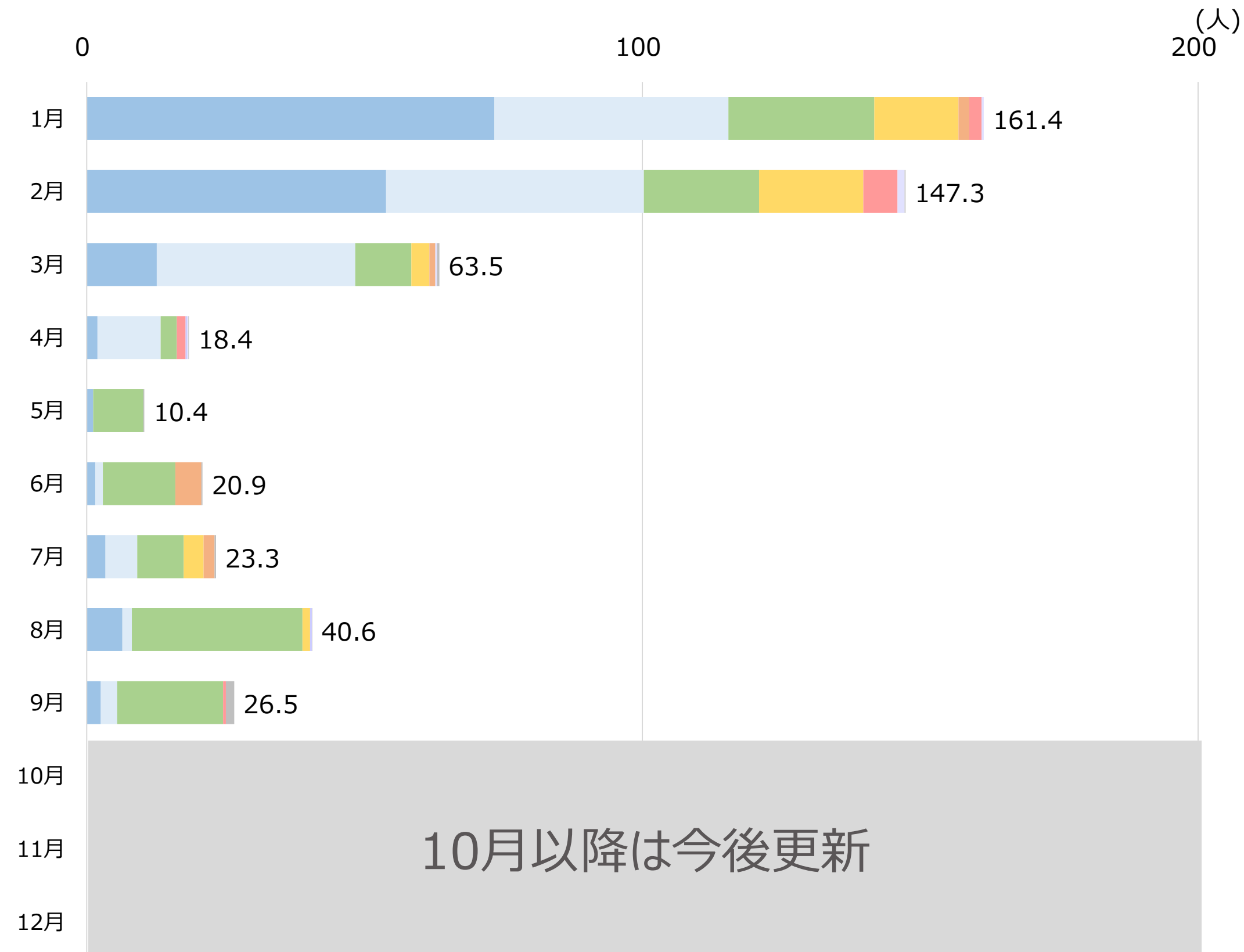
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 朝里川温泉エリア来訪者の居住国（インバウンド）

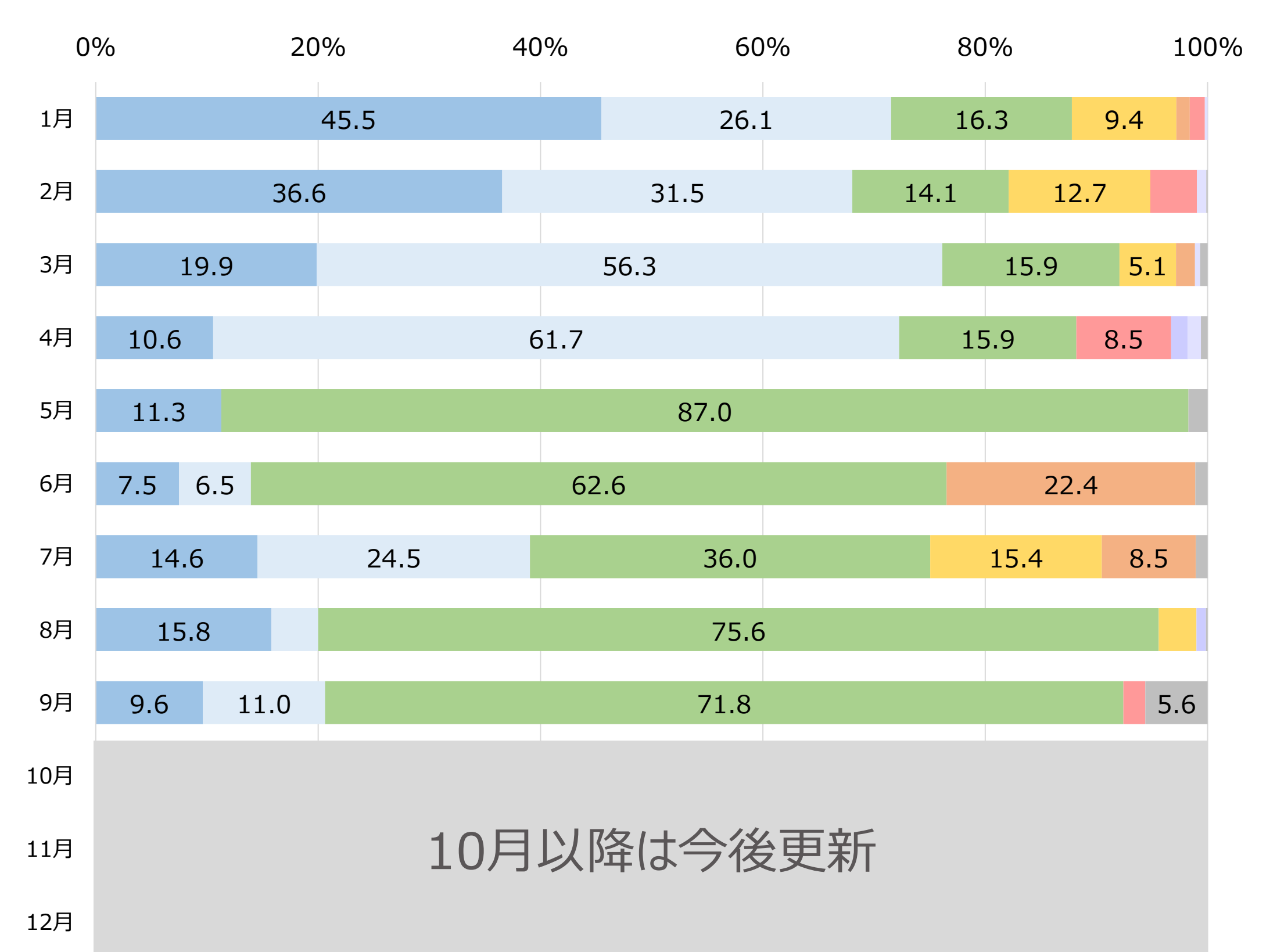
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、5月・4月は来訪が落ち込む。
- 割合では、韓国からの来訪が最も多く5月がピークとなる。次いで台湾が多く4月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

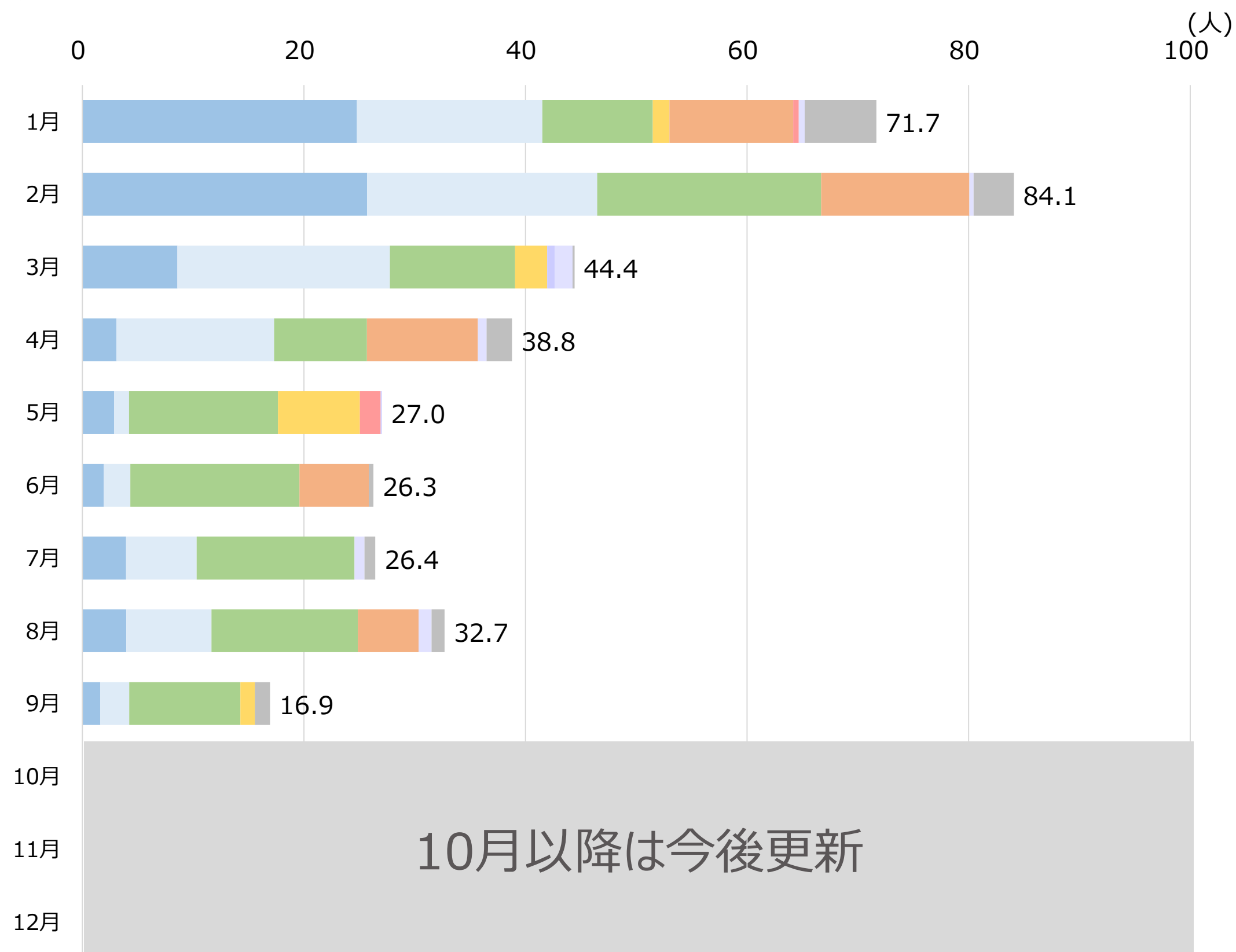
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 銭函・張碓エリア来訪者の居住国（インバウンド）

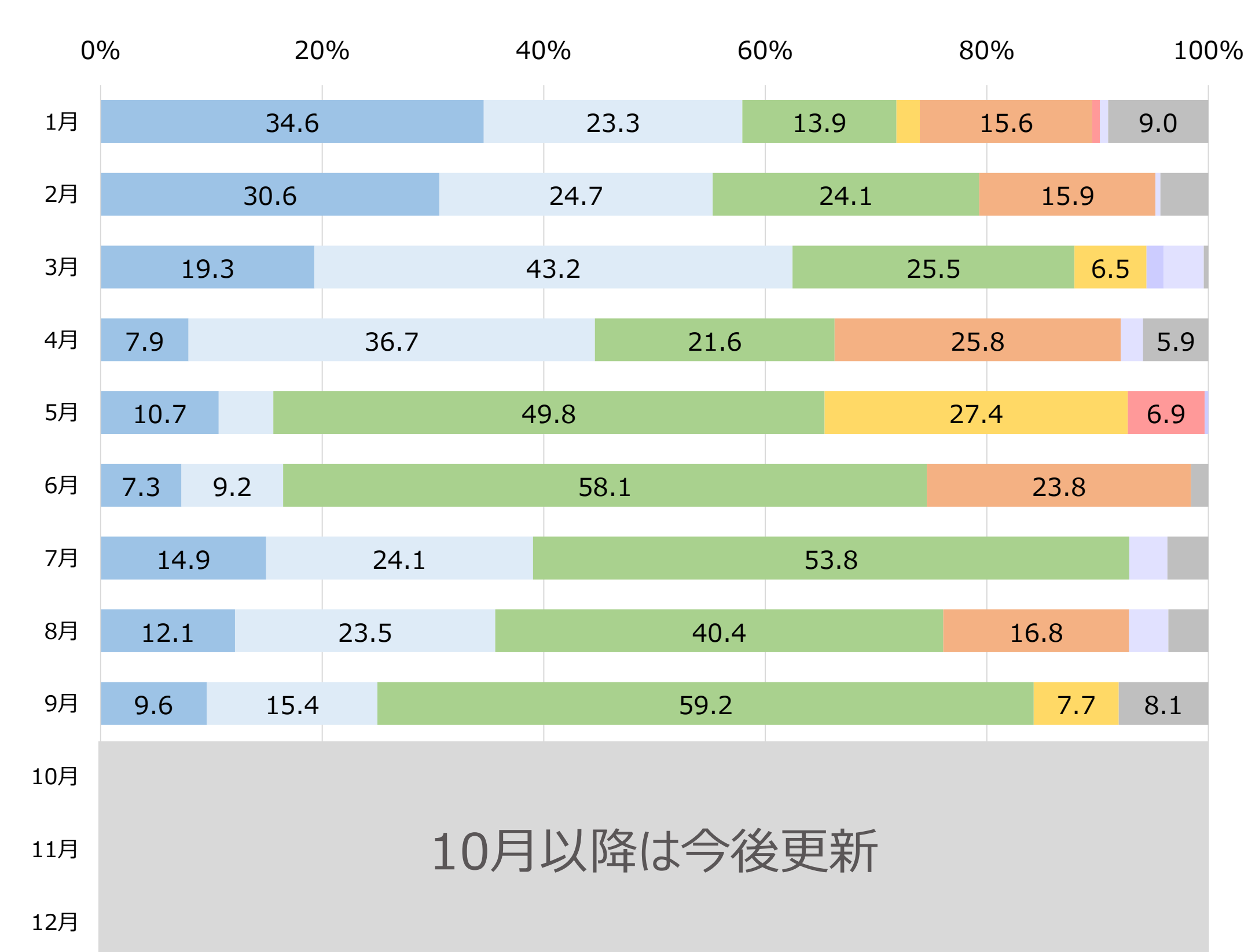
- 実数では、2月・1月の来訪が多く、9月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、韓国からの来訪が最も多く9月がピークとなる。次いで台湾が多く3月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

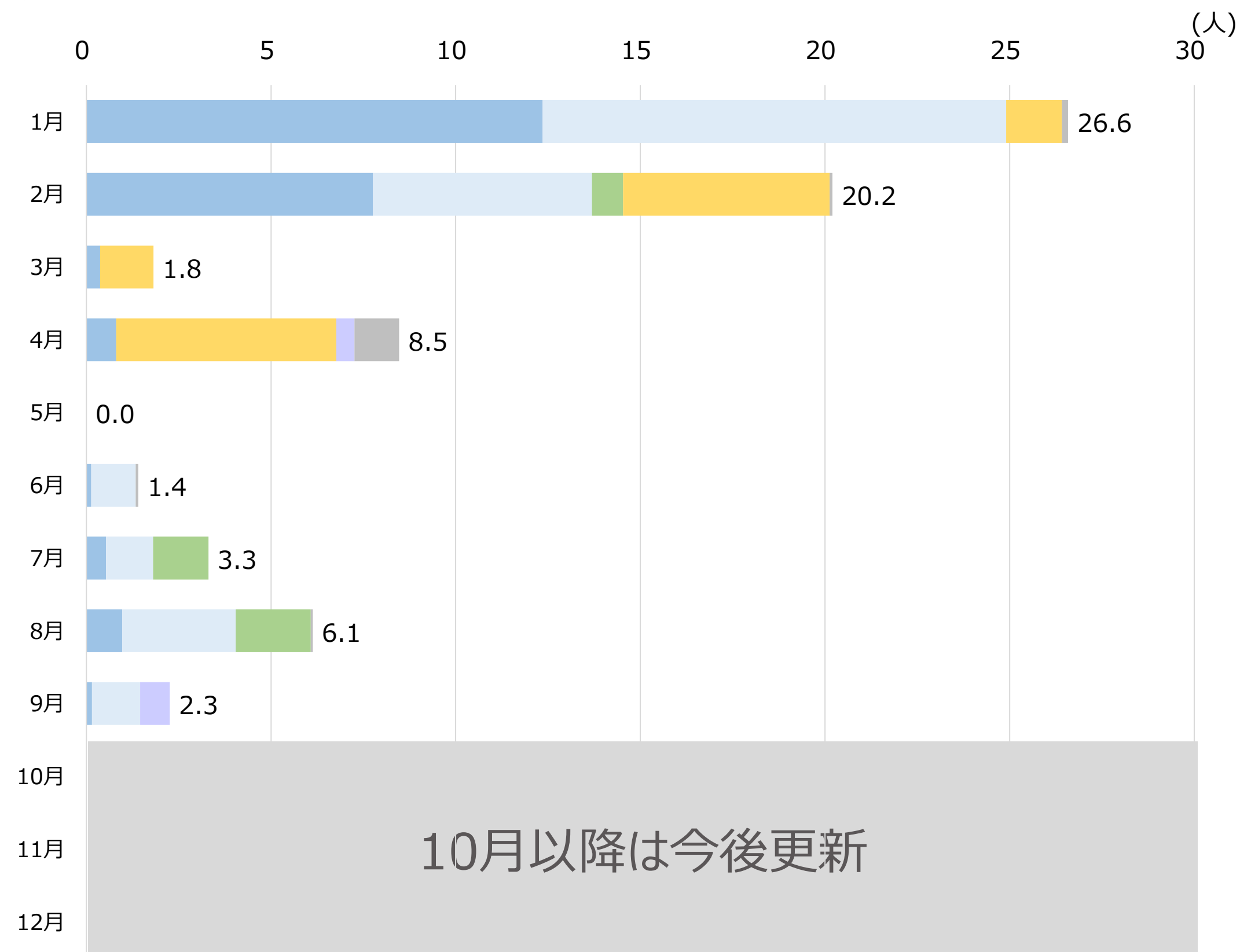
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 塩谷・蘭島エリア来訪者の居住国（インバウンド）

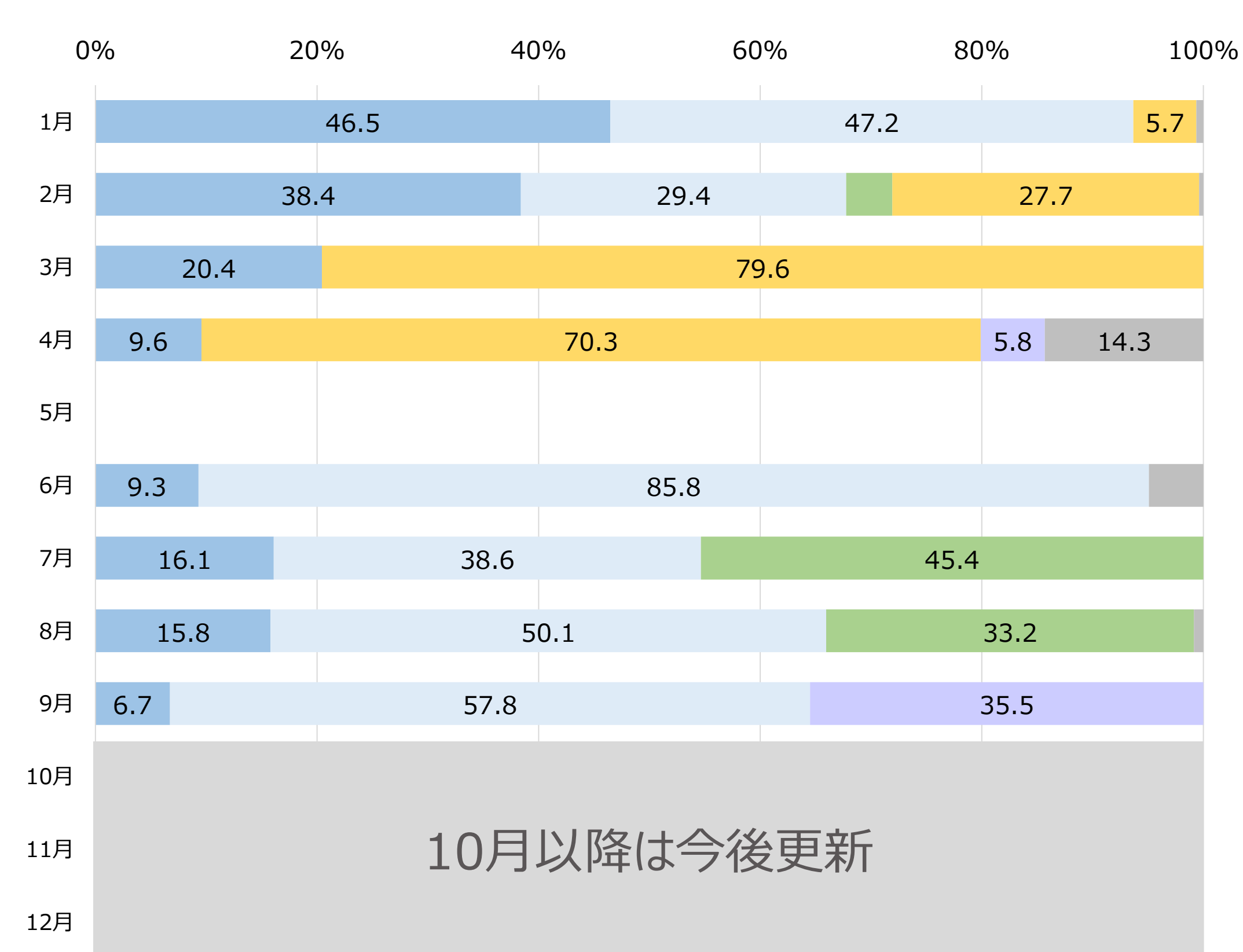
- 実数では、1月・2月の来訪が多く、5月・6月は来訪が落ち込む。
- 割合では、台湾からの来訪が最も多く6月がピークとなる。次いで香港が多く3月がピークとなる。

## ● 居住国（インバウンド）

〈実数〉



〈割合〉



■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

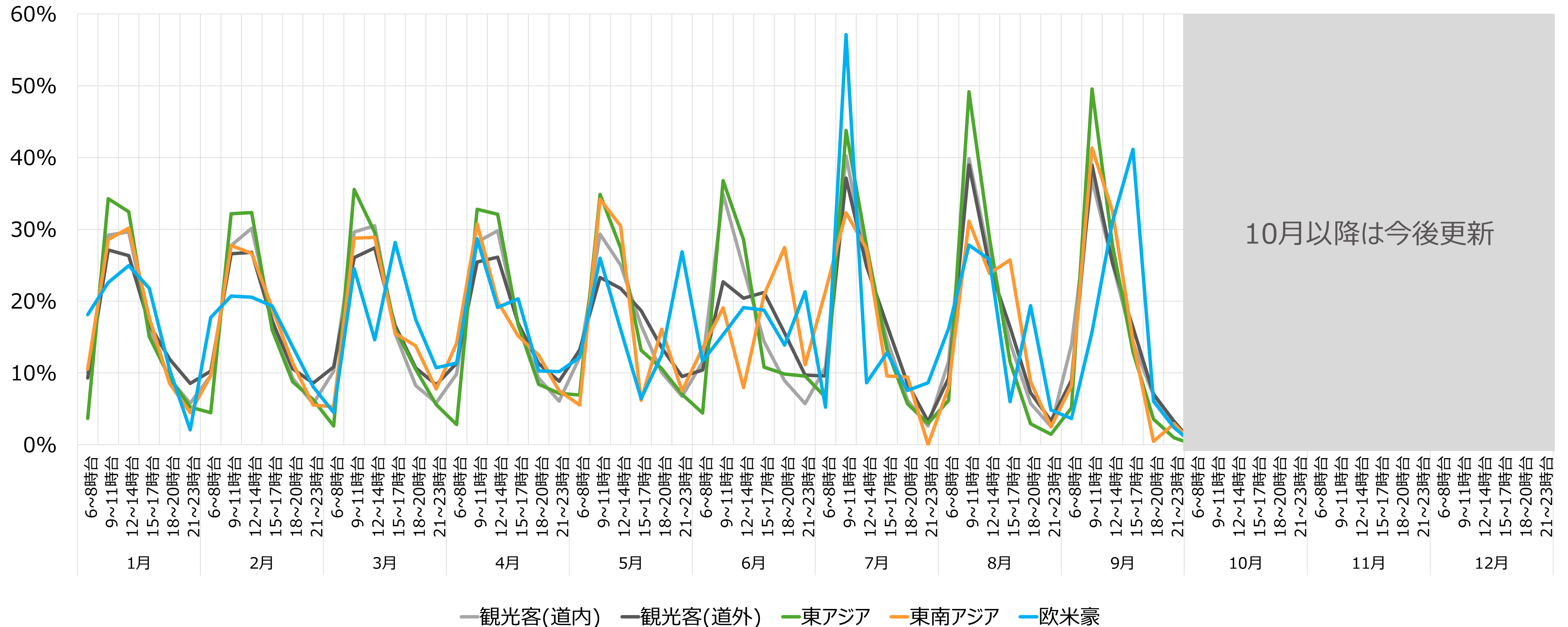
■ 中国 ■ 台湾 ■ 韓国 ■ 香港 ■ タイ ■ インドネシア ■ ベトナム ■ シンガポール ■ オーストラリア ■ その他

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 來訪時間帶

# 小樽市全域の来訪時間帯分布

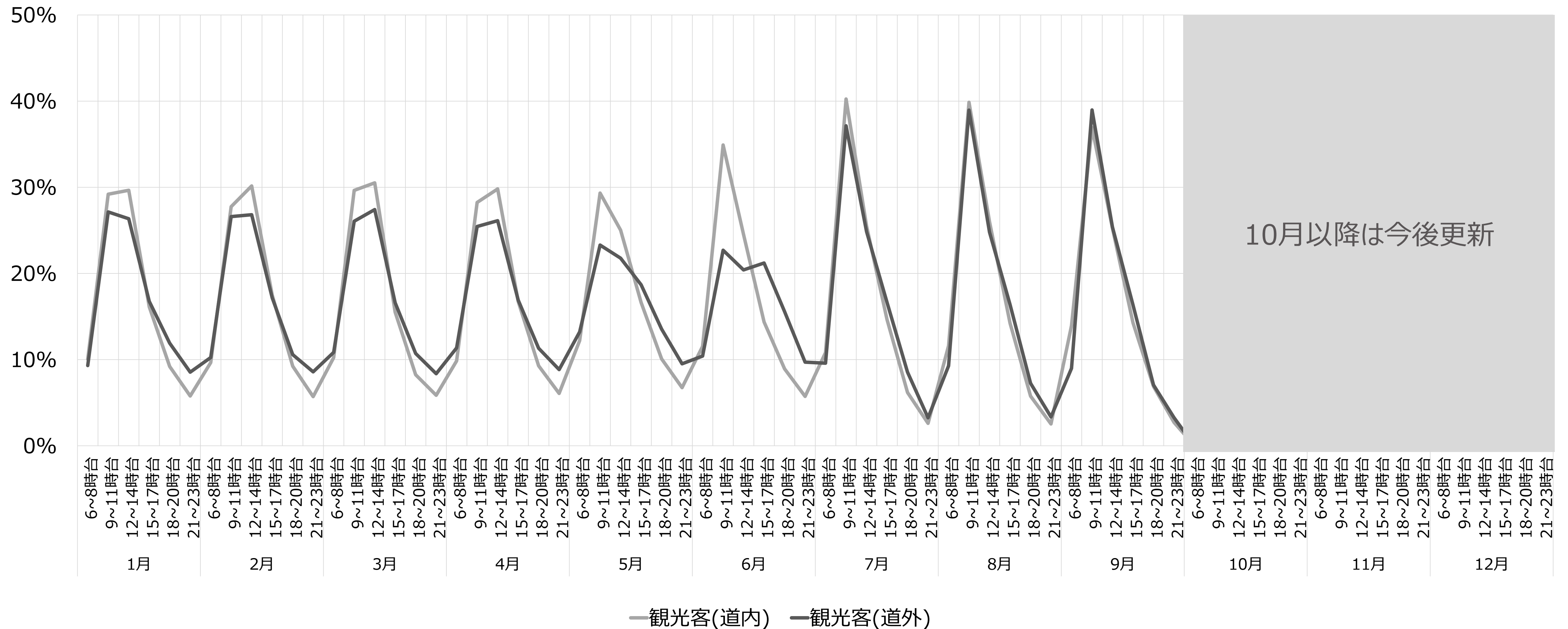
▶ 日本人に比べて、インバウンドでは9～14時台に来訪が集中する傾向にある。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽市全域の来訪時間帯分布

- 道内客は1~4月が12~14時台、5~9月は9~11時台が来訪ピークである。
- 道外客は2~4月が12~14時台、それ以外の月は9~11時台が来訪ピークである。

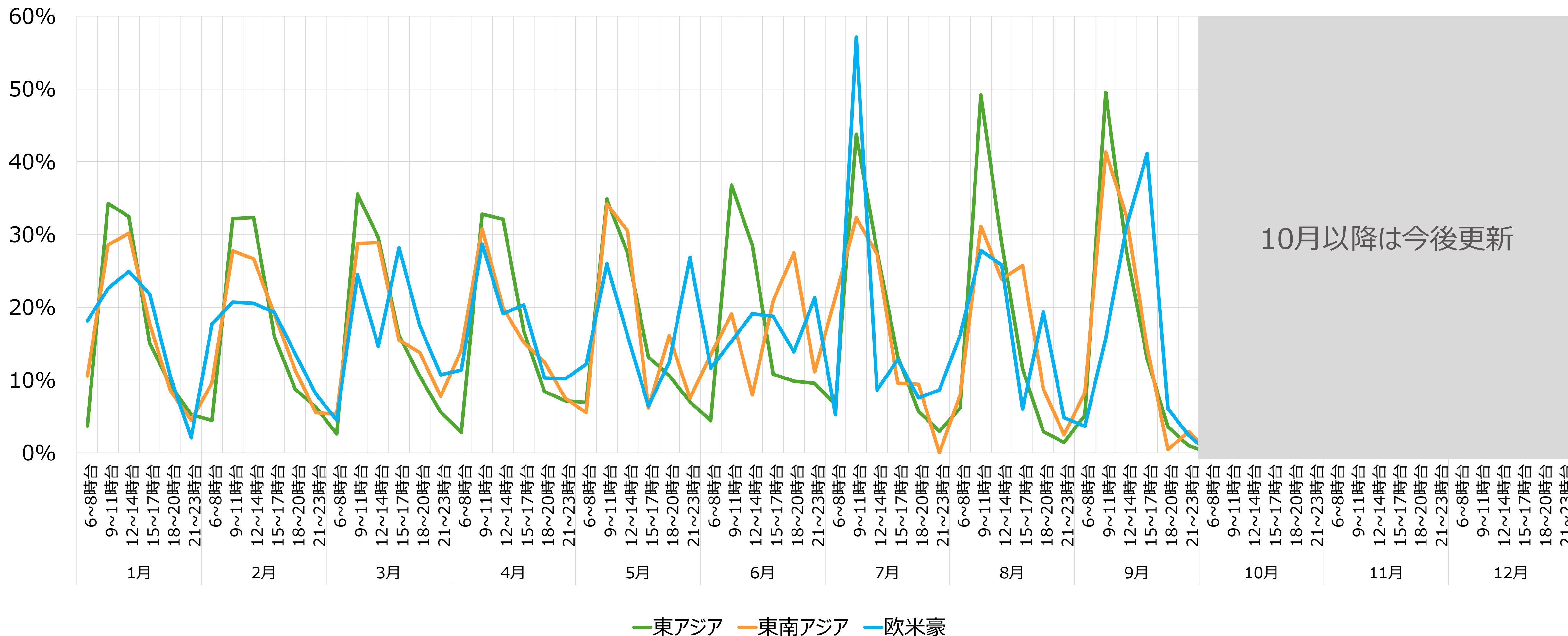


10月以降は今後更新

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽市全域の来訪時間帯分布

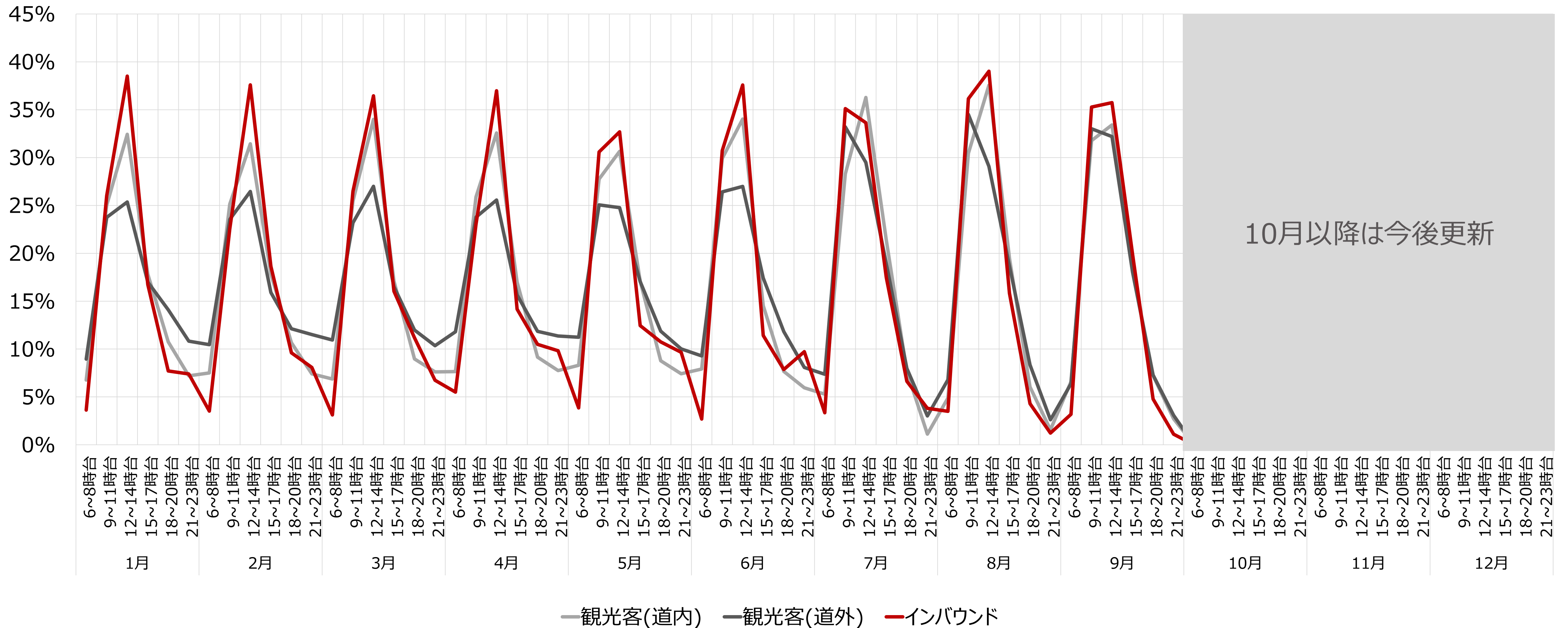
- 東アジア居住者は、2月以外で9～11時台が来訪ピークである。
- 東南アジア居住者は1月・3月・6月以外で9～11時台が来訪ピークである。欧米豪居住者の来訪ピークは月により異なる。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 中心部エリアの来訪時間帯分布

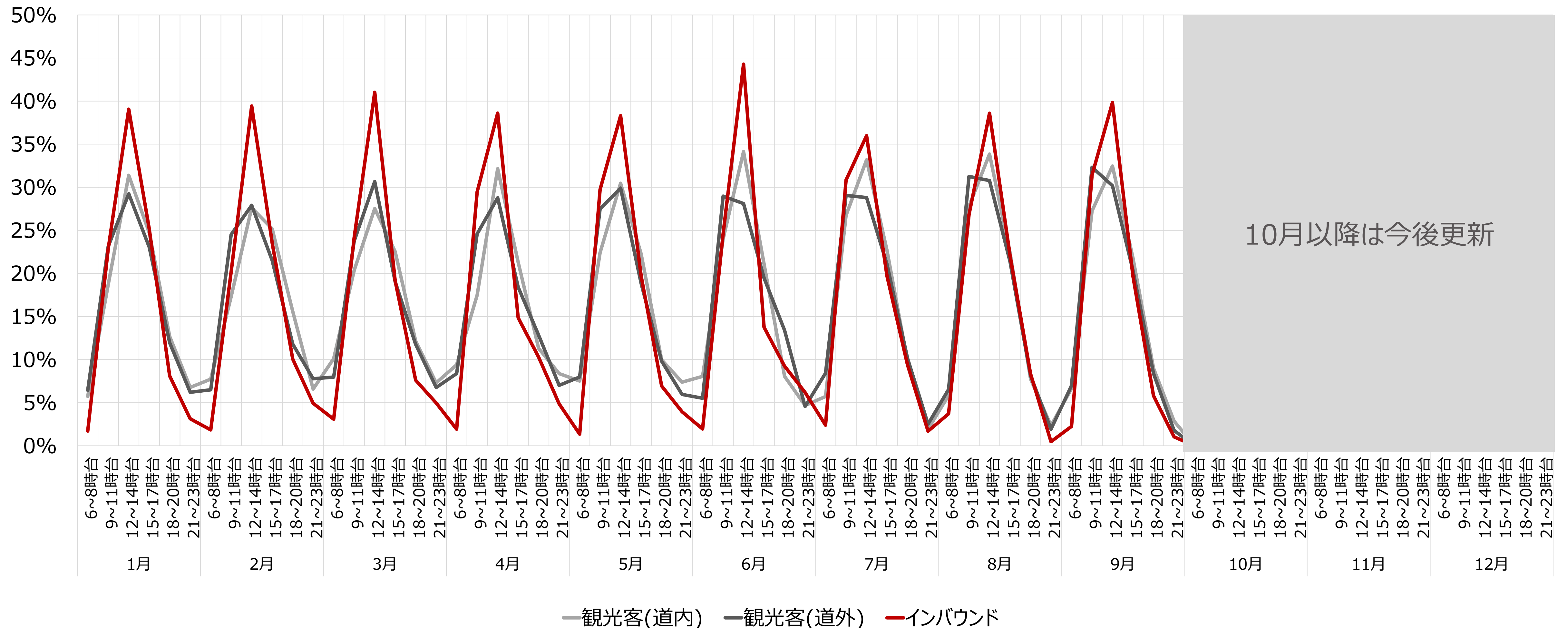
- ▶ 道内客は1~9月まですべて12~14時台が来訪ピークで、インバウンドでは7月以外で12~14時台が来訪ピークである。
- ▶ 道外客は1~4月・6月が12~14時台、それ以外の月は9~11時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽運河エリアの来訪時間帯分布

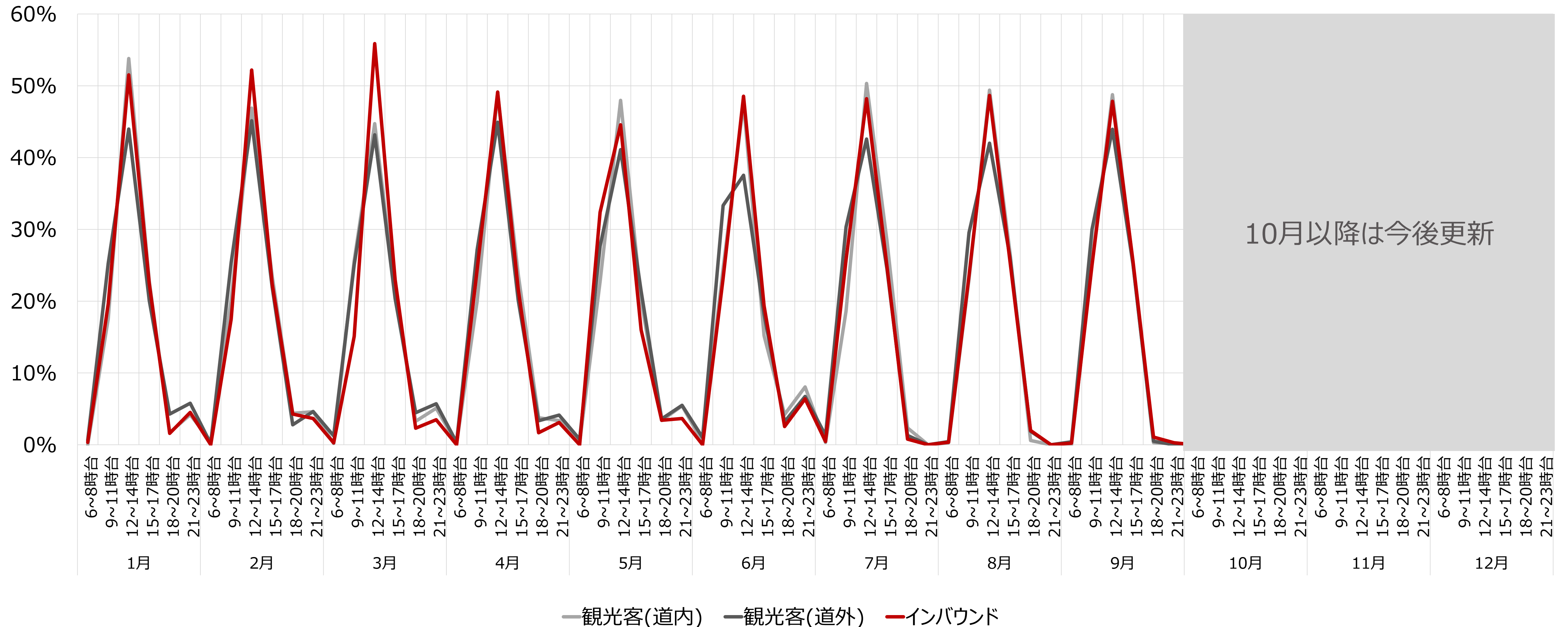
- 道内客・インバウンドは12~14時台が来訪ピークであり、特にインバウンドでその傾向が顕著である。
- 道外客は1~5月が12~14時台、6~9月は9~11時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 堺町通り商店街エリアの来訪時間帯分布

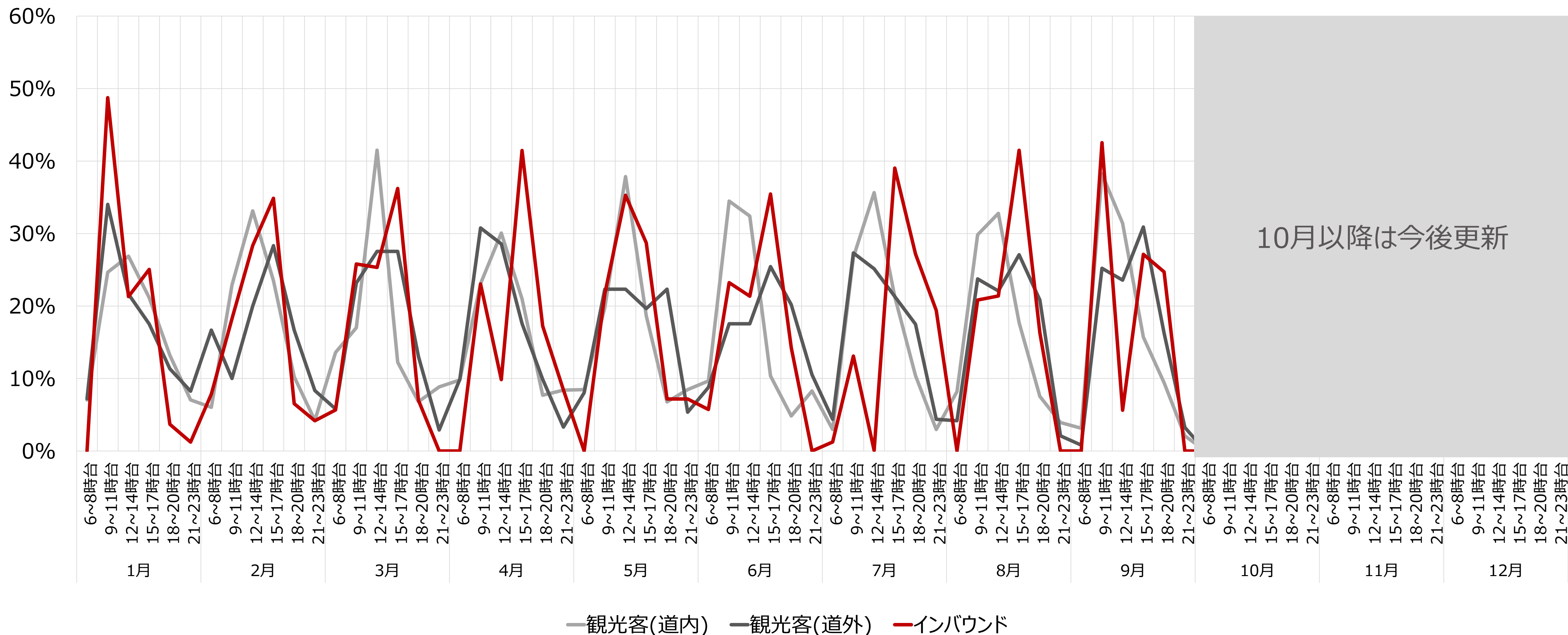
➤ 道内客・道外客・インバウンドともに、12～14時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 天狗山エリアの来訪時間帯分布

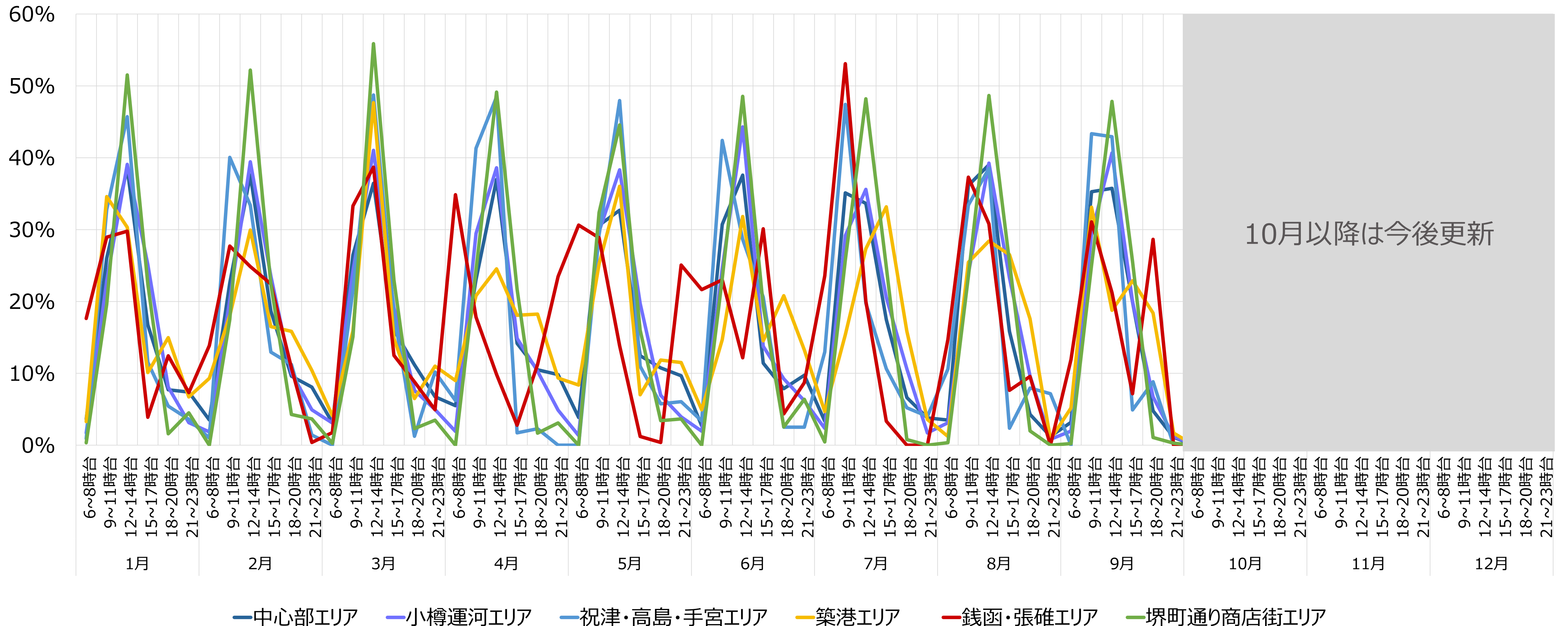
➤ 多くの月で、日本人とインバウンドで来訪ピークが異なる。インバウンドは、2~4月と6~8月において15~17時台が来訪ピークである。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 各エリアの来訪時間帯分布（インバウンド）

- 総じて、祝津・高島・手宮エリアや堺町通り商店街エリアにおける特定時間帯への集中が目立つ。
- 他方、築港エリアや銭函・張碓エリアへの来訪時間帯は比較的分散している。



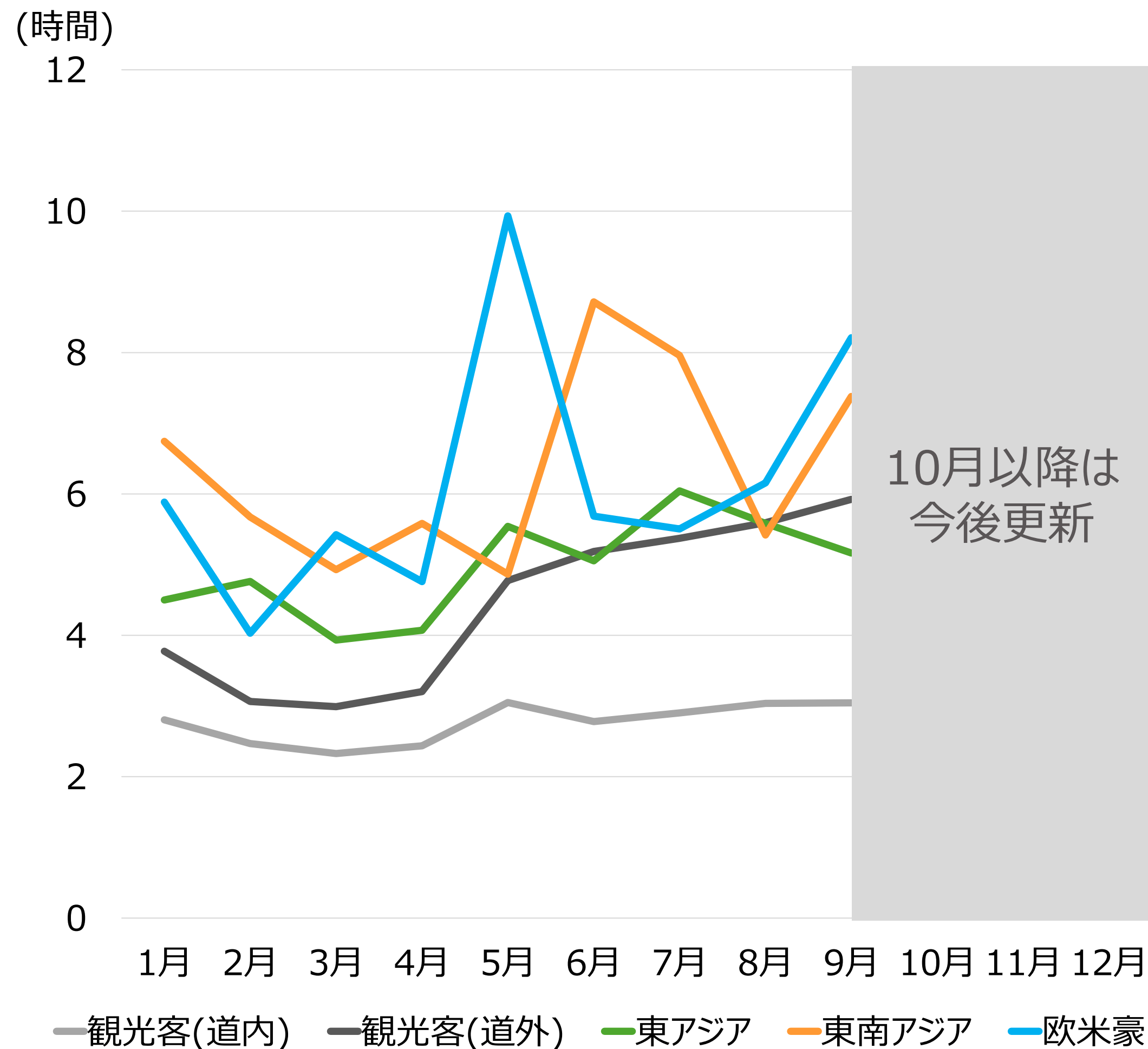
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 滞在時間・市内宿泊数

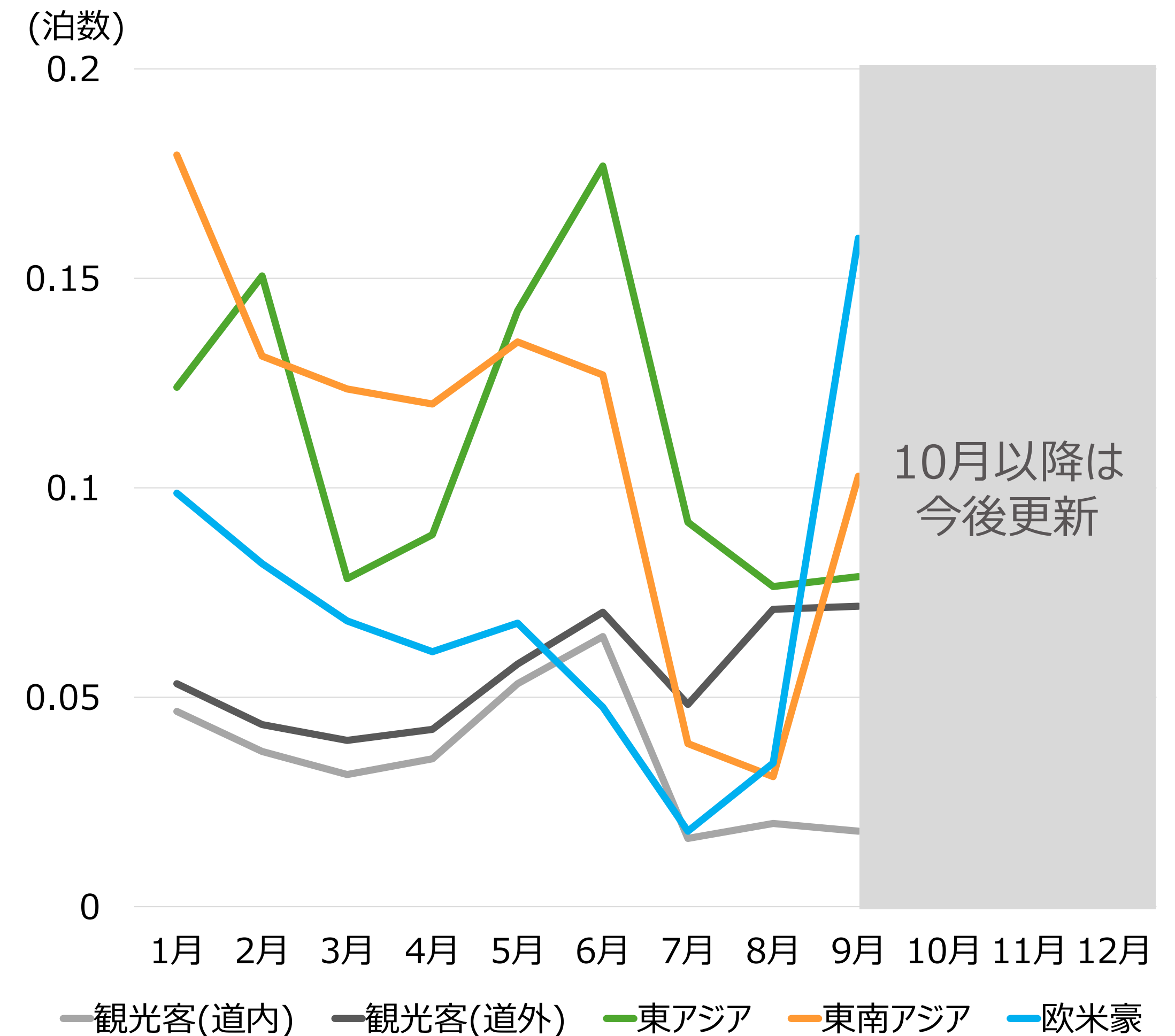
# 小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- ▶ 平均滞在時間は、総じて日本人よりもインバウンドが長く、特に欧米豪の5月や東南アジアの6月において顕著である。
- ▶ 平均市内宿泊数も、総じて日本人よりもインバウンドが長いが、東南アジア・欧米豪の7~8月においては道外客を下回っている。

## ● 平均滞在時間



## ● 平均市内宿泊数

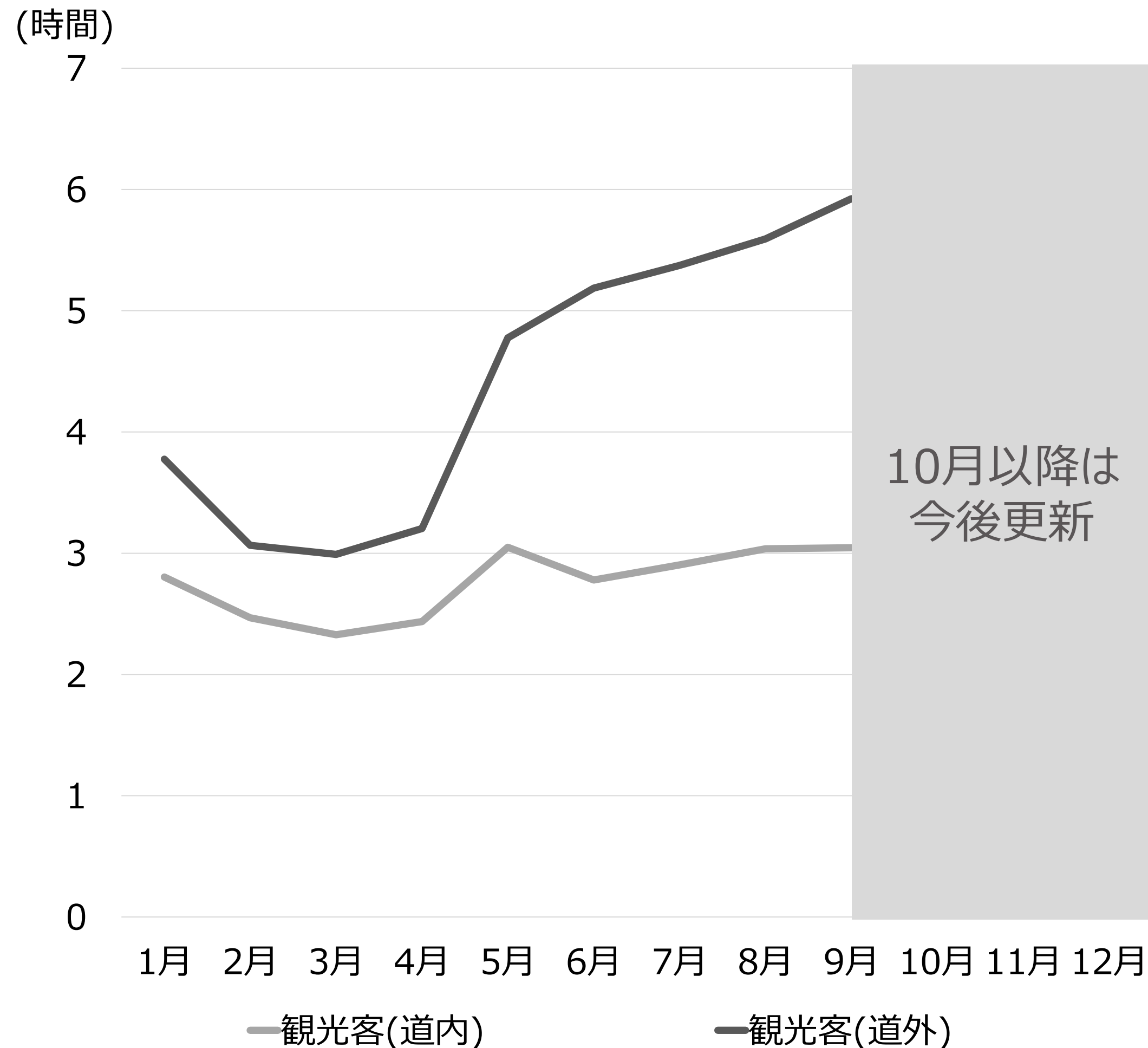


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

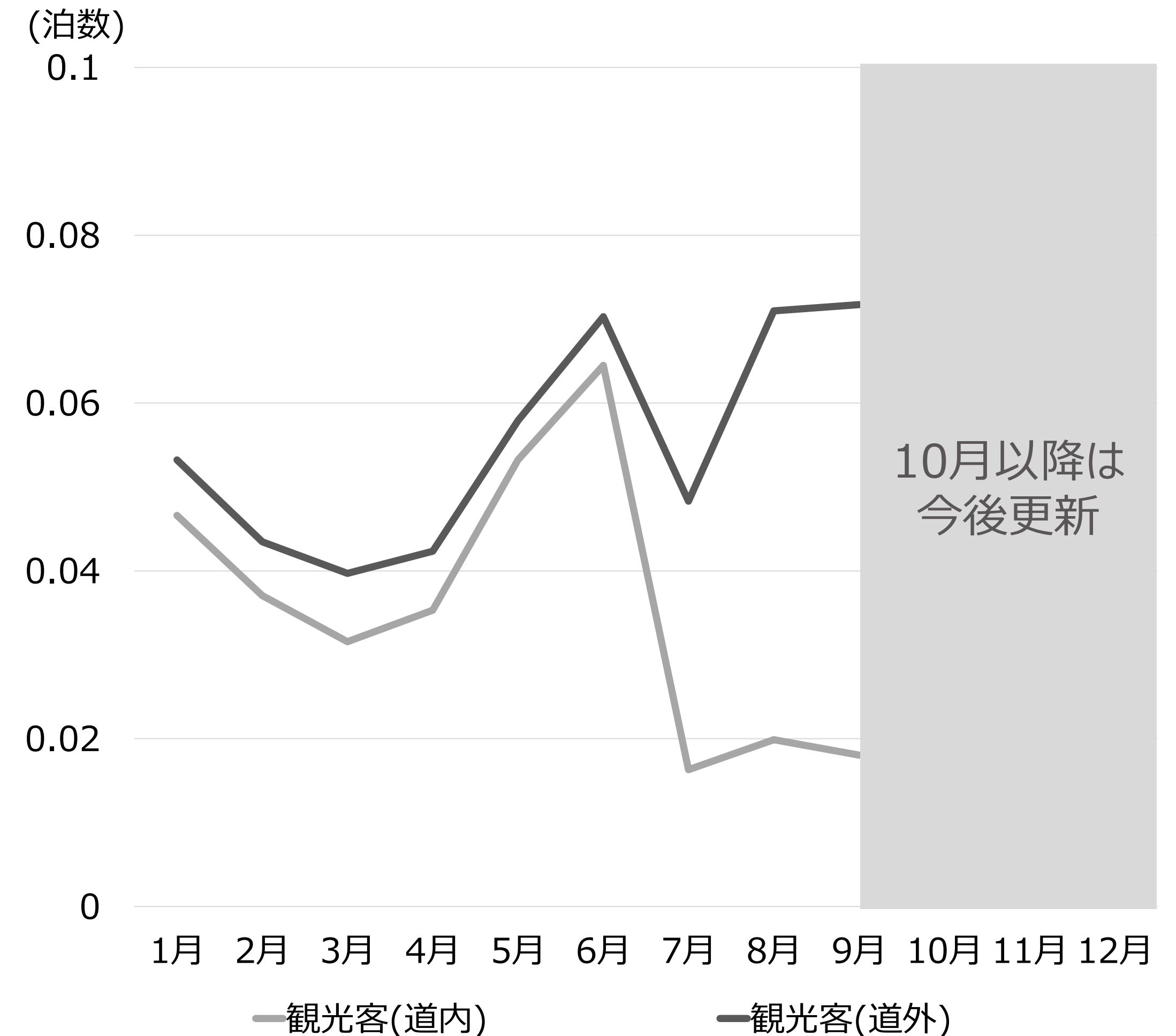
# 小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- ▶ 日本人の平均滞在時間や平均市内宿泊数は、総じて道内客よりも道外客が長く、特に夏季に向けてその傾向が顕著になる。
- ▶ 道外客の平均滞在時間は夏季に向けて増加するが、平均市内宿泊数は7月に一度落ち込みがみられる。

## ● 平均滞在時間



## ● 平均市内宿泊数

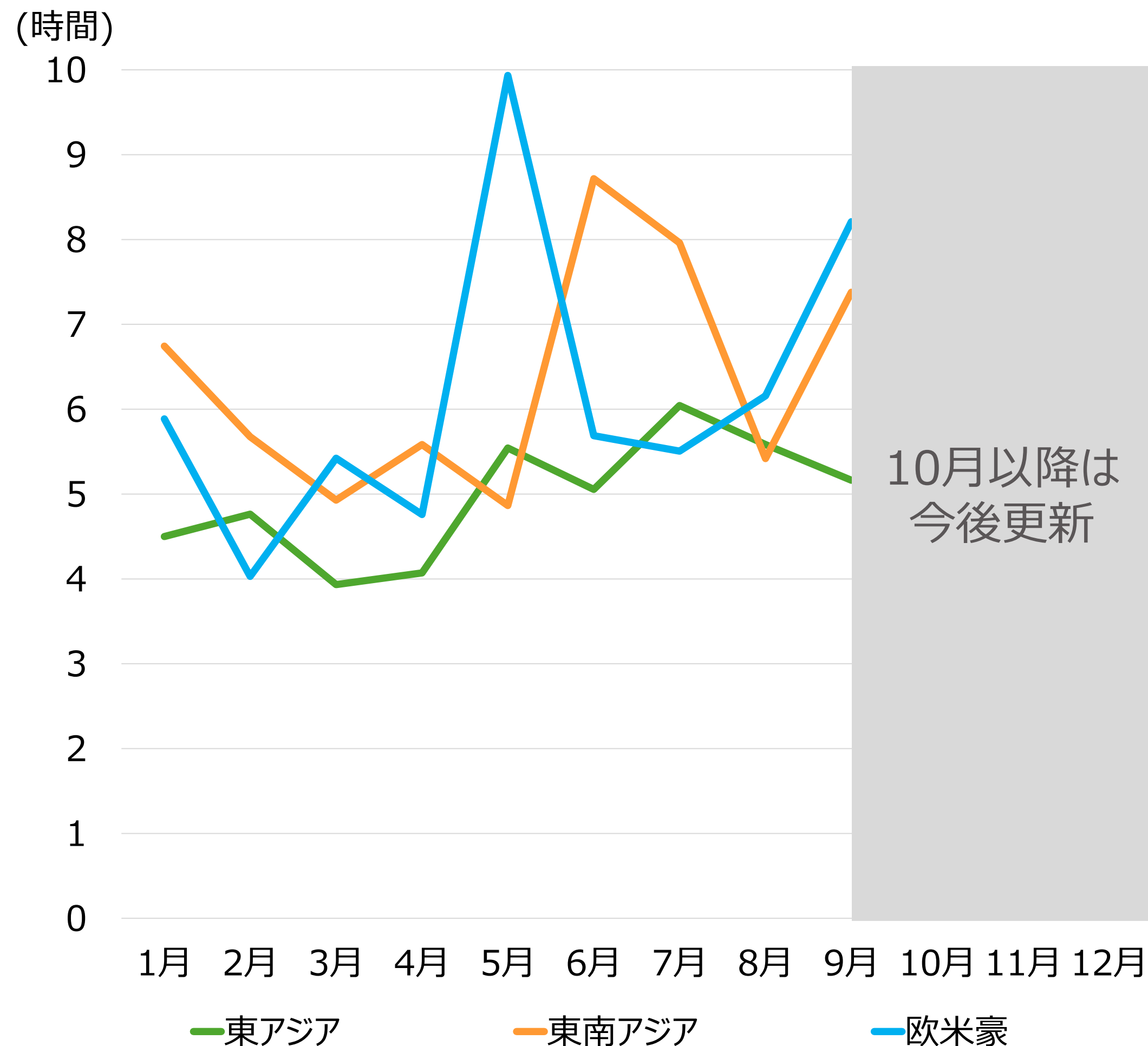


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

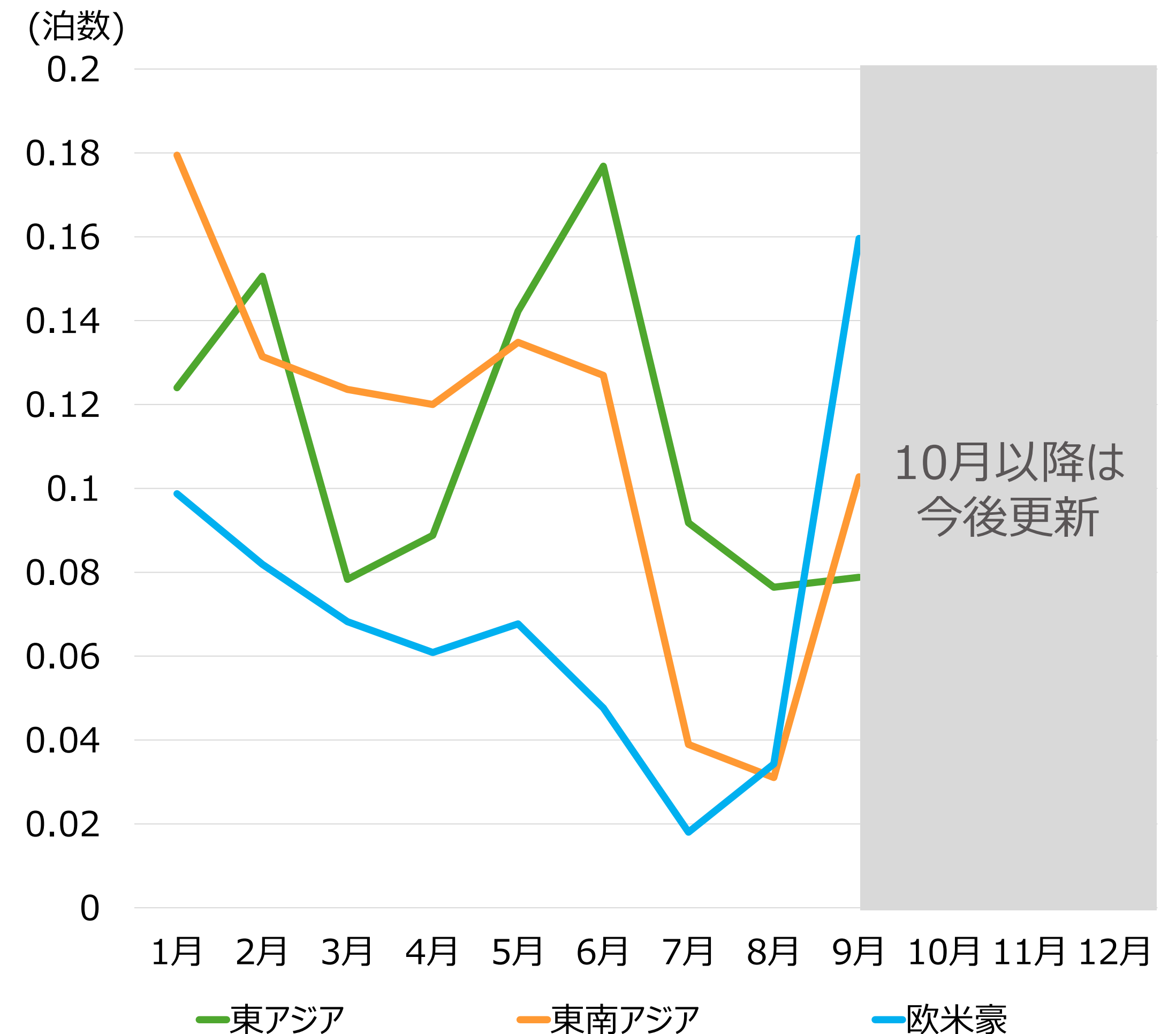
# 小樽市全域来訪者の平均滞在時間・平均市内宿泊数

- ▶ インバウンドの平均滞在時間について、東アジアは7月、東南アジアは6月、欧米豪は5月が最も長い。
- ▶ インバウンドの平均市内宿泊数について、東アジアは6月、東南アジアは1月、欧米豪は9月が最も長い。

## ● 平均滞在時間



## ● 平均市内宿泊数

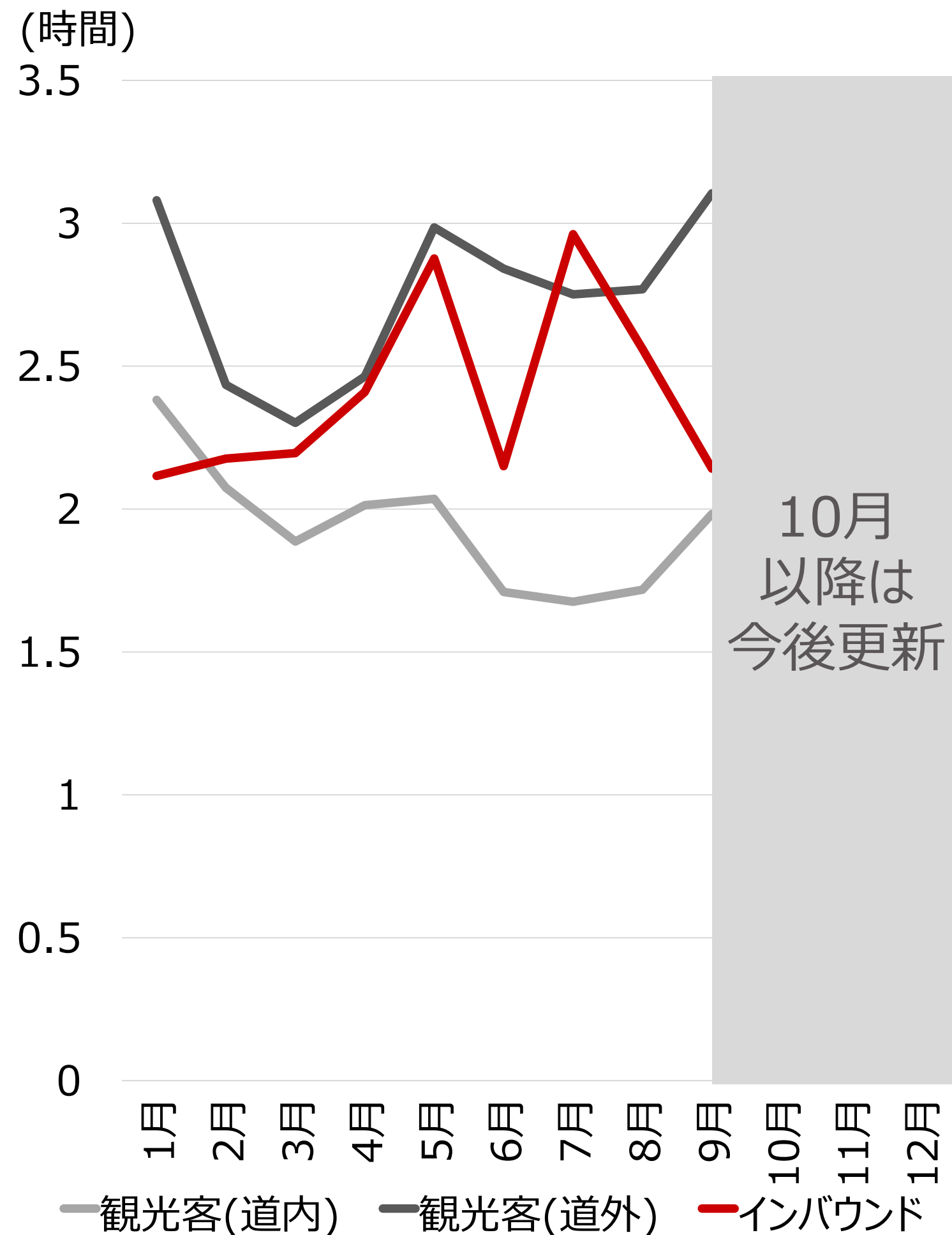


※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

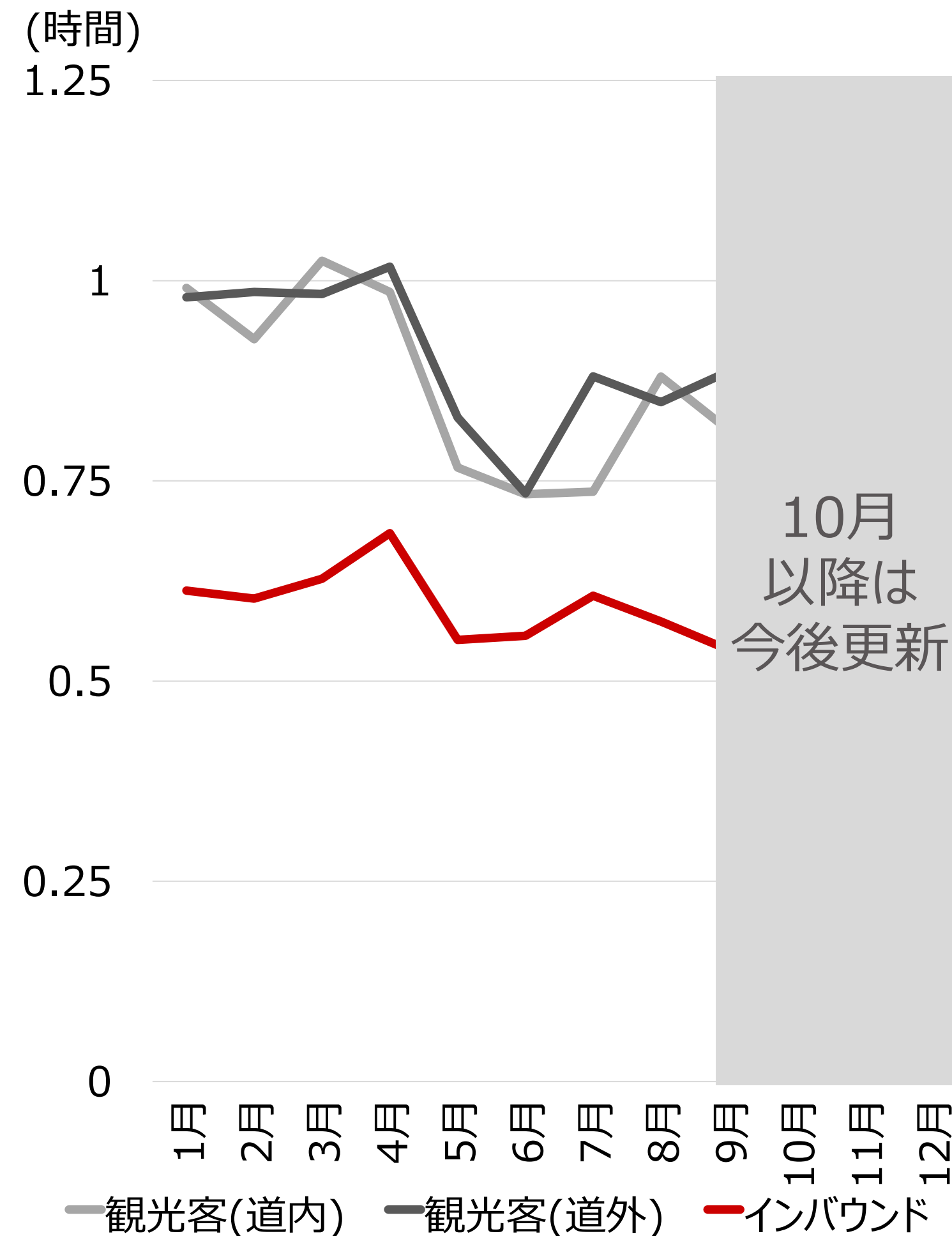
# 中心部・小樽運河・堺町通り商店街来訪者の平均滞在時間

- ▶ 平均滞在時間について、中心部エリアは道外客の9月、小樽運河エリアは道内客の3月、堺町通りエリアは道内客の2月が最も長い。
- ▶ 道外客とインバウンドの違いをみると、特に小樽運河エリアでインバウンドの短期滞在傾向が顕著である。

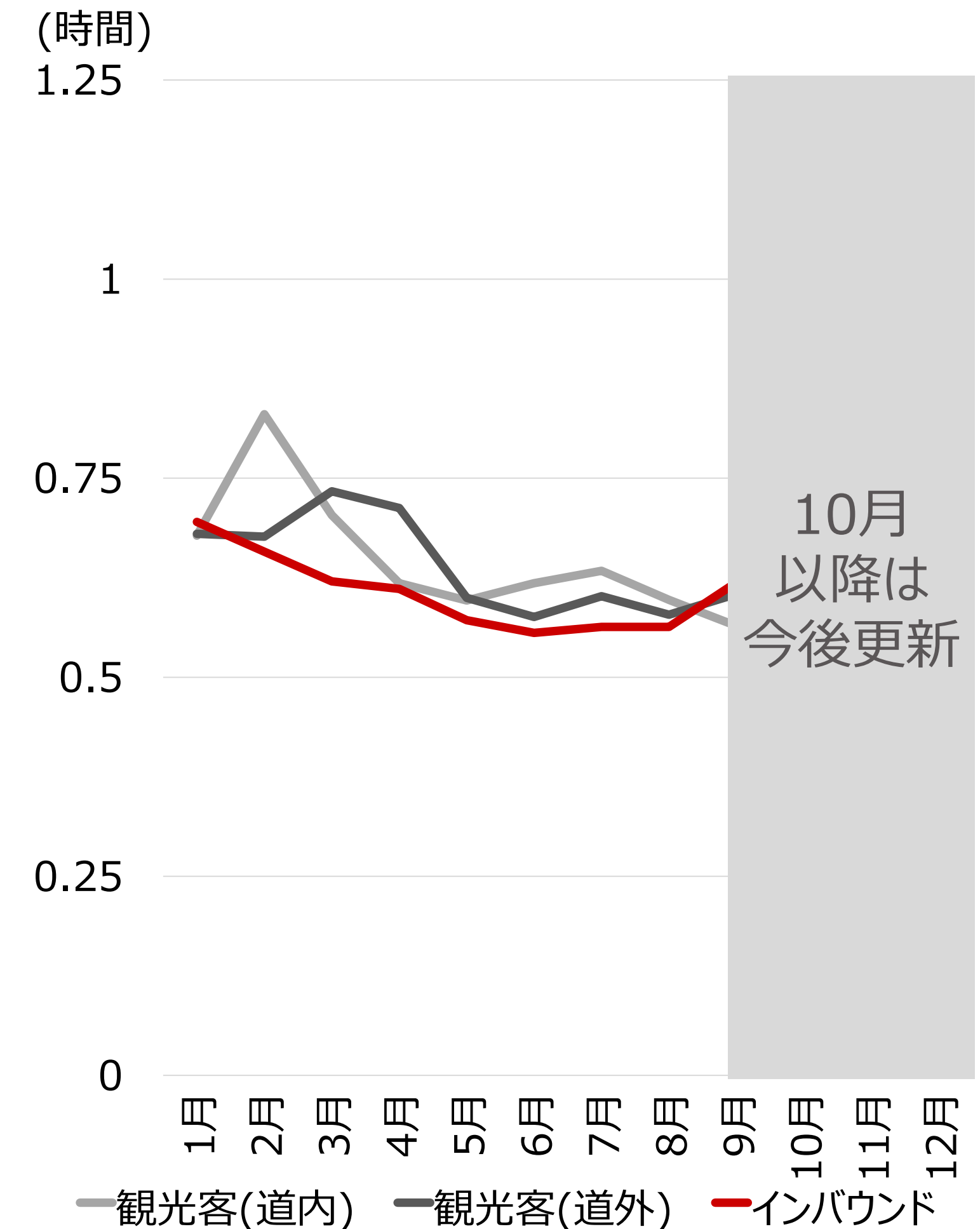
● 中心部エリアの平均滞在時間



● 小樽運河エリアの平均滞在時間



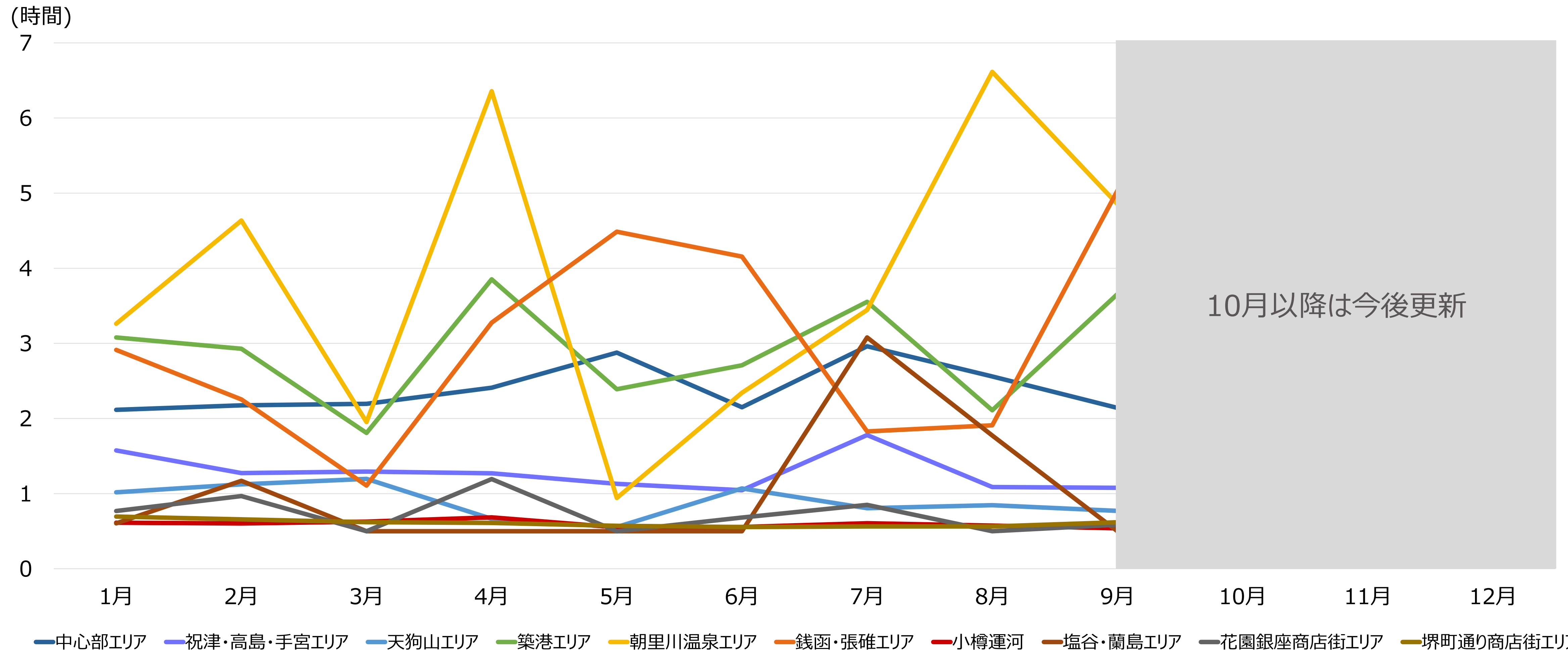
● 堺町通り商店街エリアの平均滞在時間



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 各エリアの平均滞在時間（インバウンド）

- 宿泊地である朝里川温泉エリアのほか、銭函・張碓エリアでも滞在時間が比較的長い月がみられ、特殊需要がうかがえる。
- 塩谷・蘭島エリアでは、7~8月の滞在時間が顕著に増加している。



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

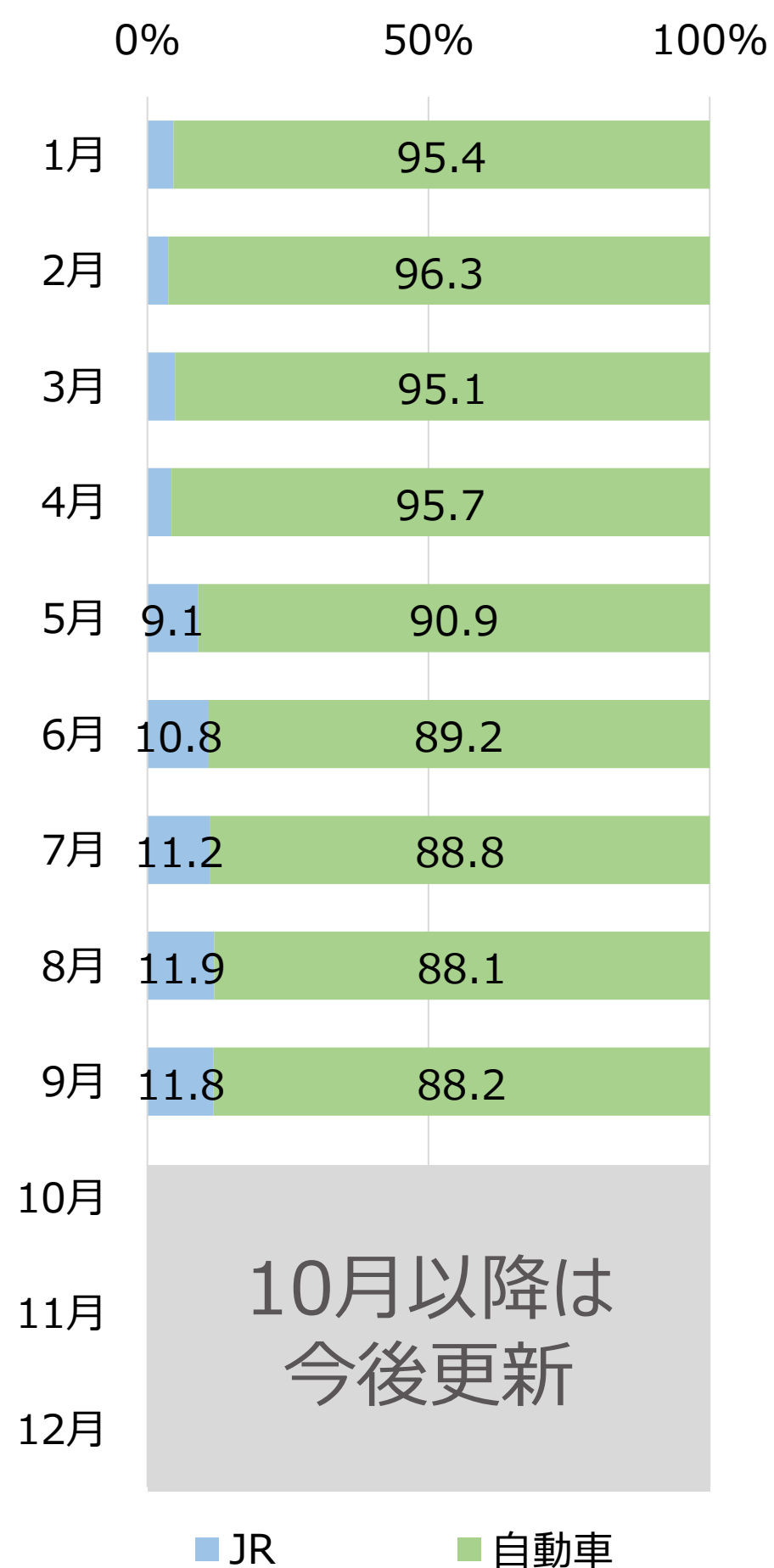
# 利用交通手段

# 小樽市全域来訪者の利用交通手段分布

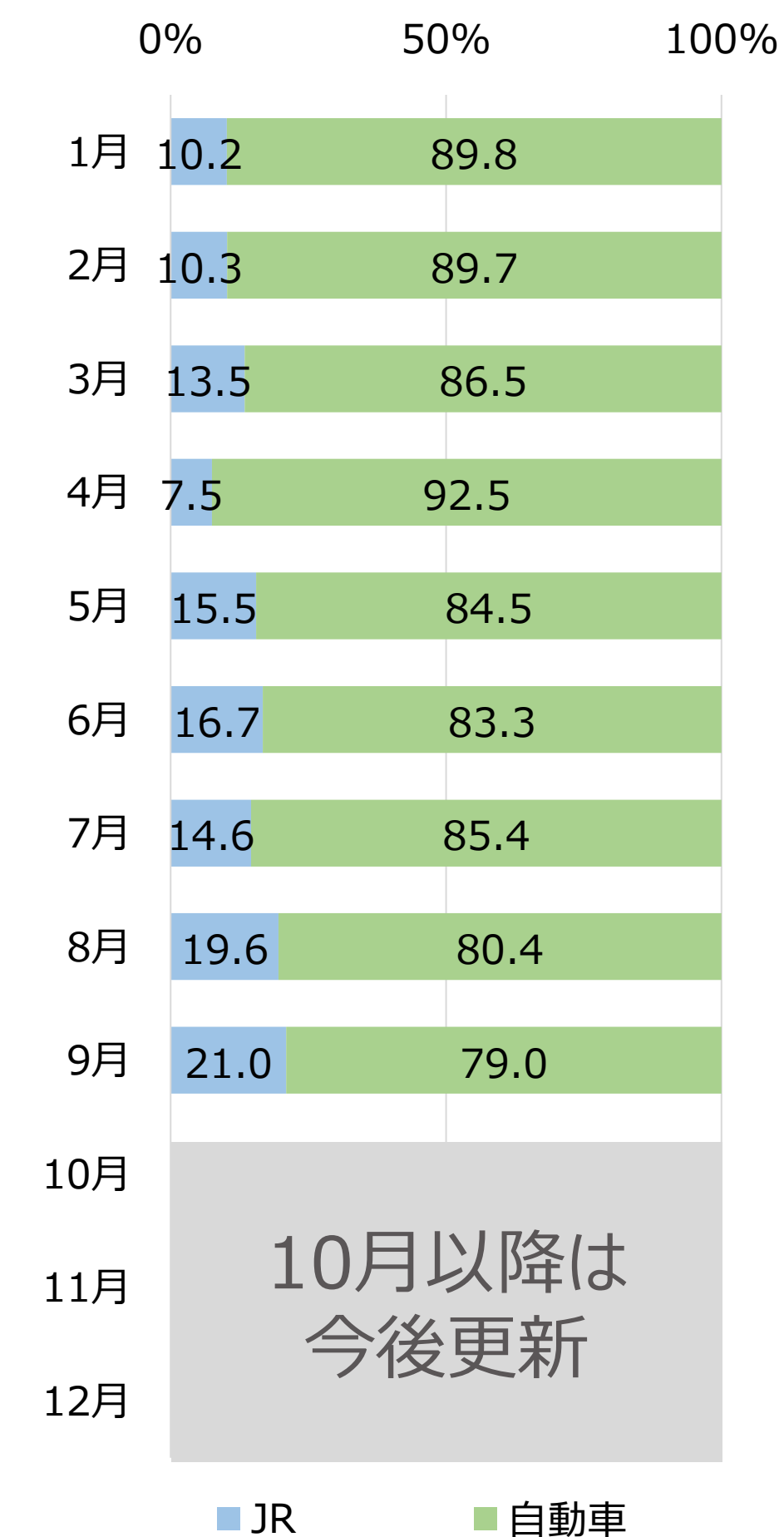
- 道内客・道外客・インバウンドの順に自動車利用率が低くなり、JR利用率が高くなる。
- インバウンドのJR利用率は、東アジアで8月・東南アジアで4月・欧米豪で5月に最多となっている。

● 利用交通手段分布 〈JR・自動車〉 ※自動車にはマイカー・レンタカー・バスのいずれも含む

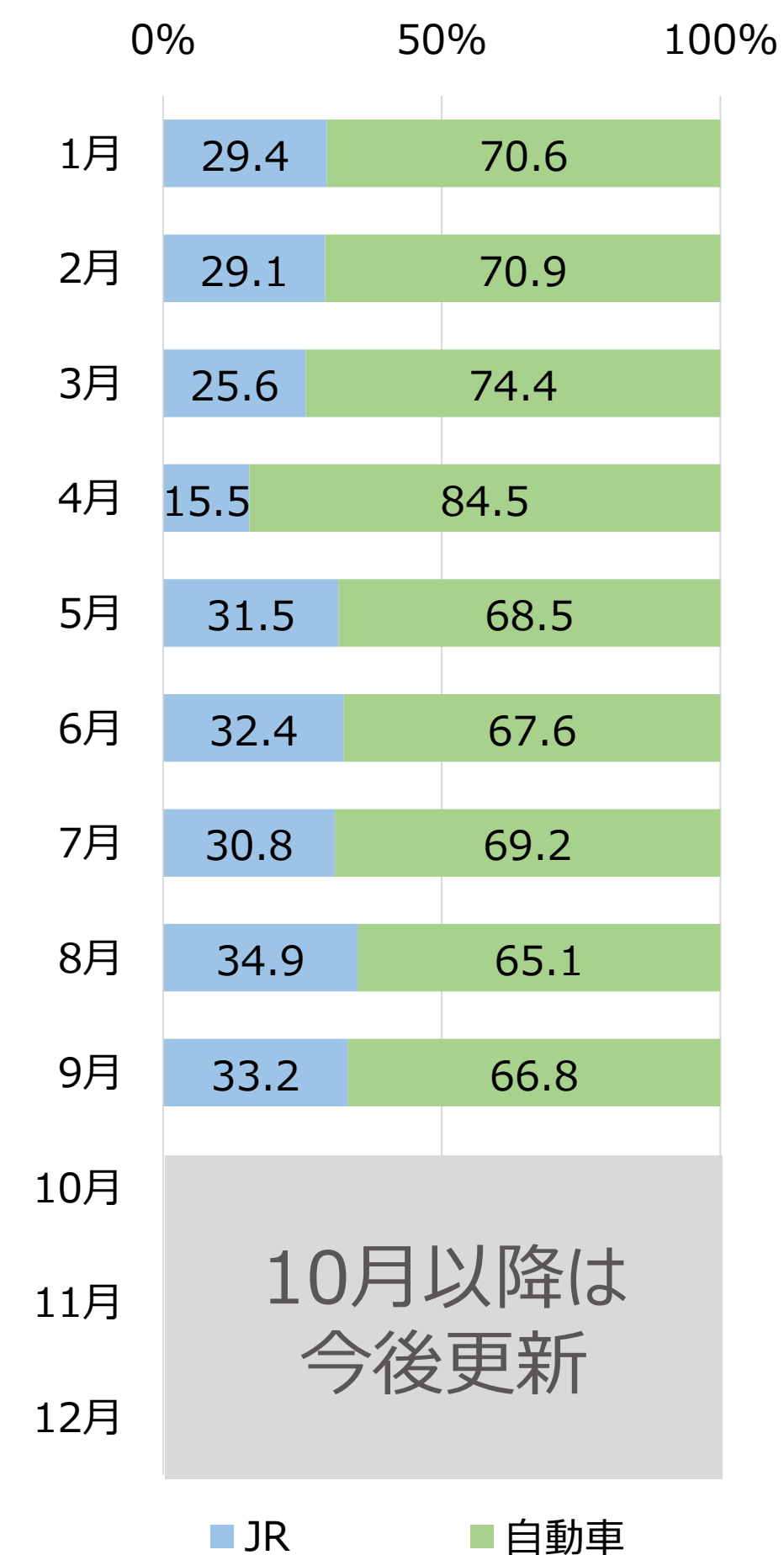
【日本人観光客(道内)】



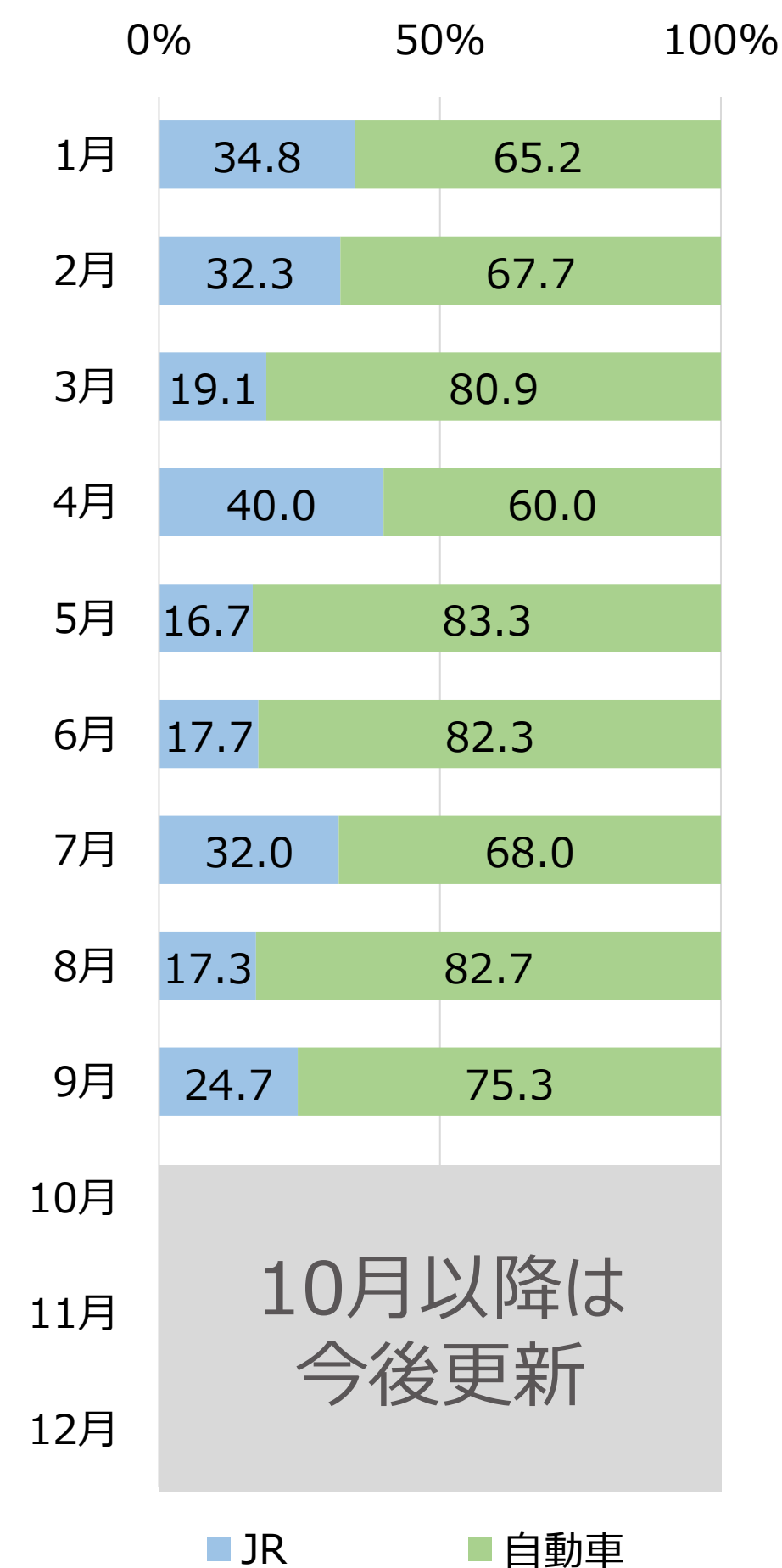
【日本人観光客(道外)】



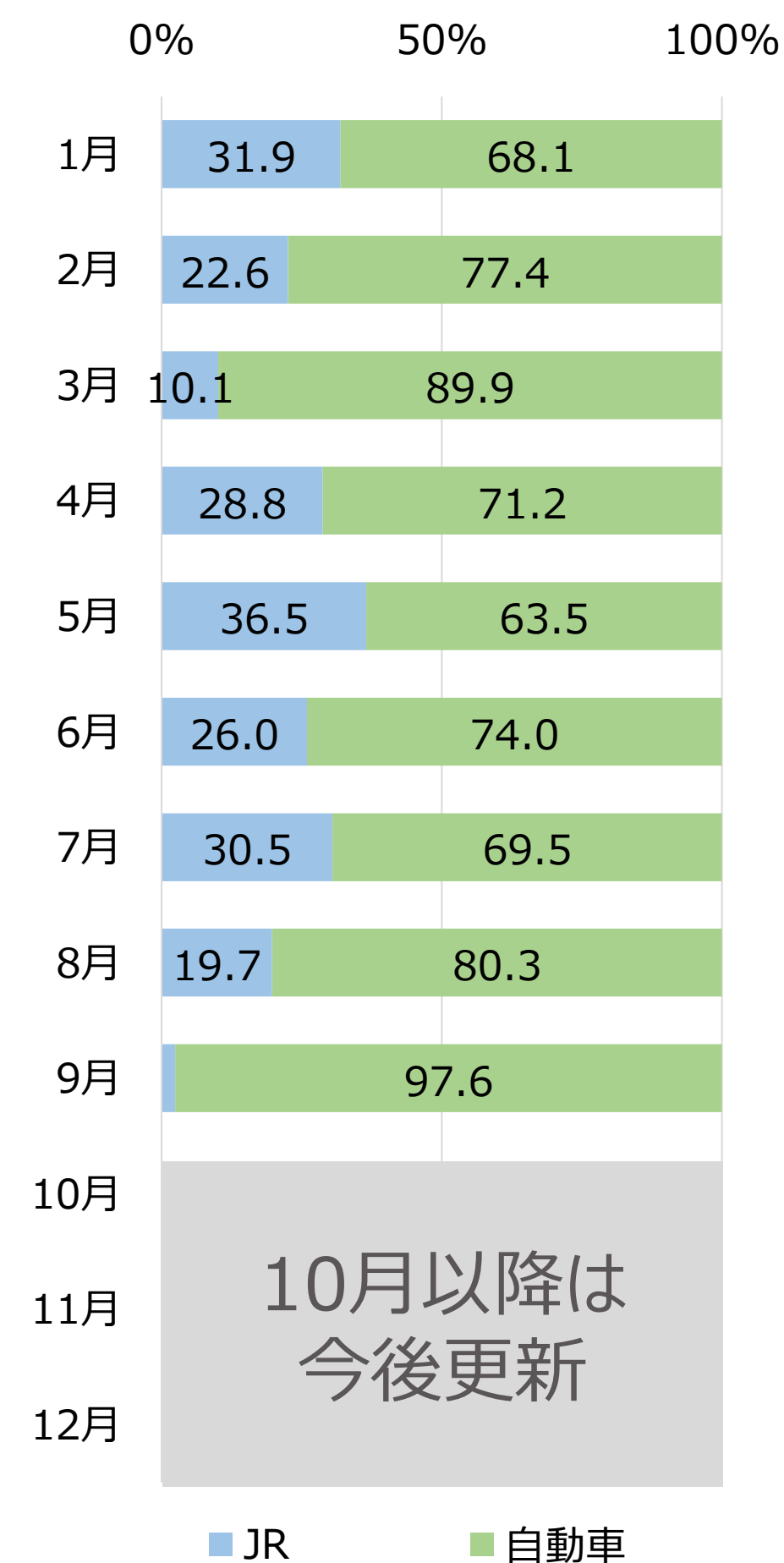
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

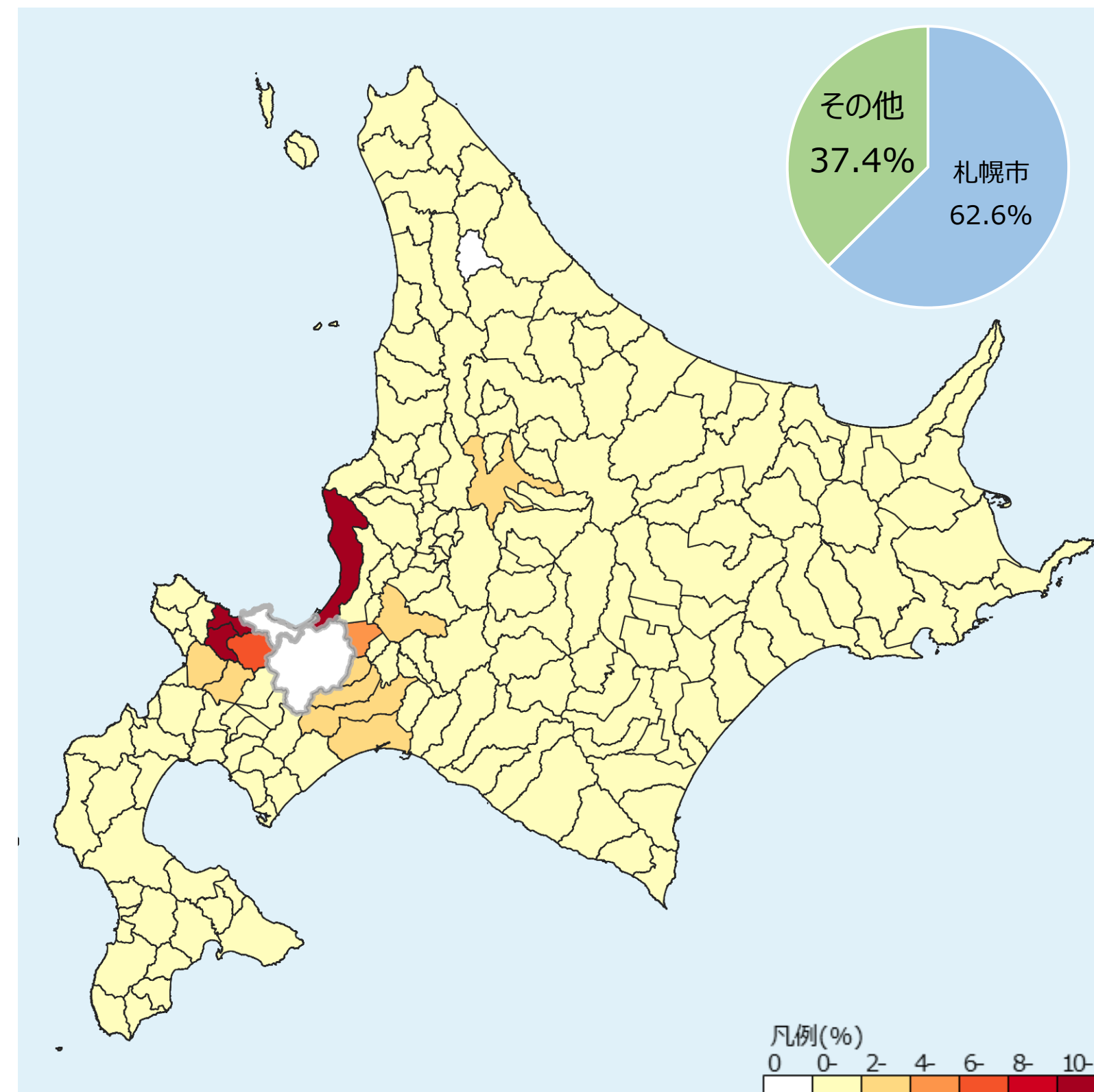
周遊先

# 小樽市全域来訪者の周遊先（2025年1-9月）

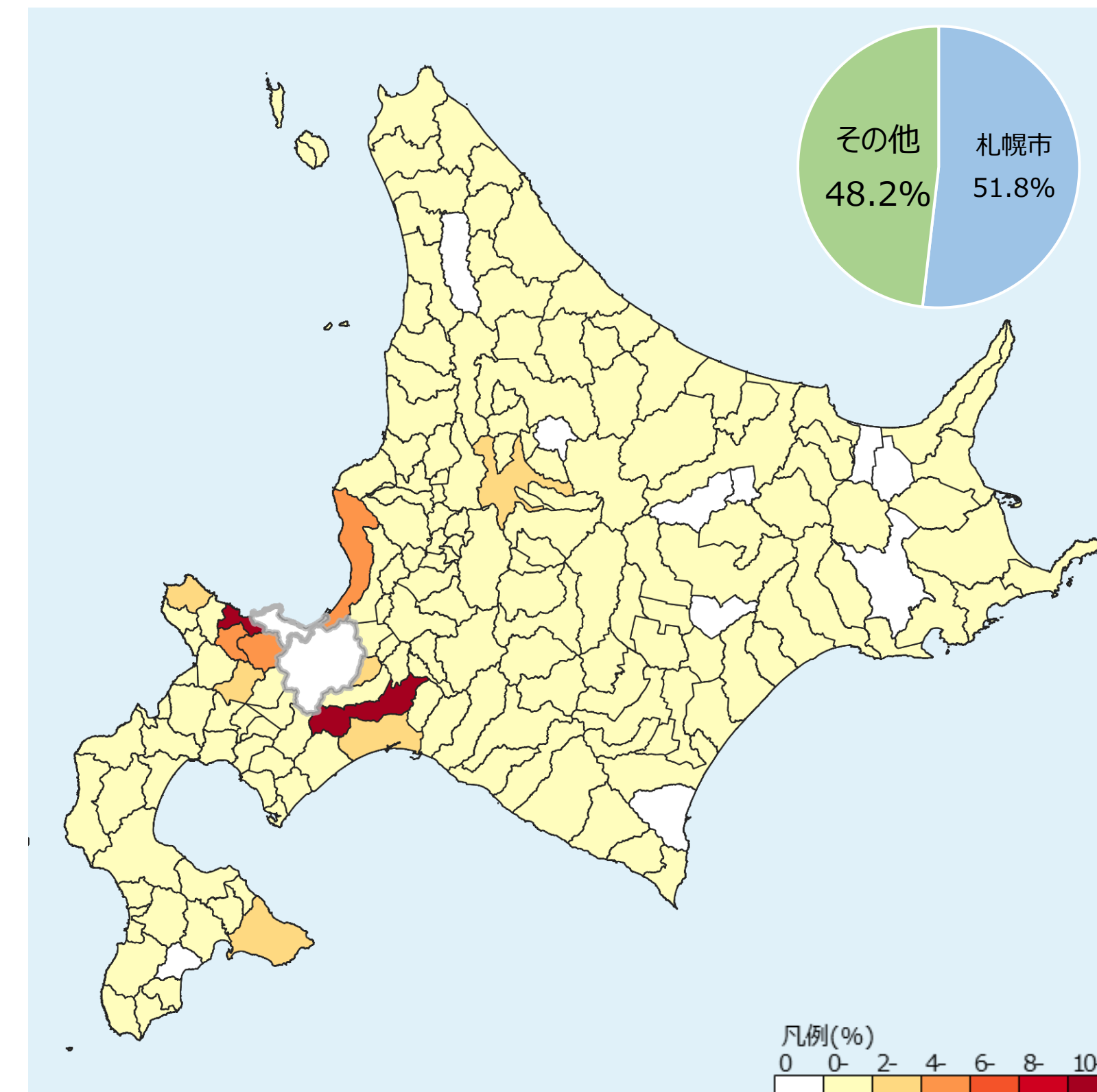
- 道内客は、札幌のほか石狩・仁木・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川が多い。
- 道外客は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多い。

## ● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

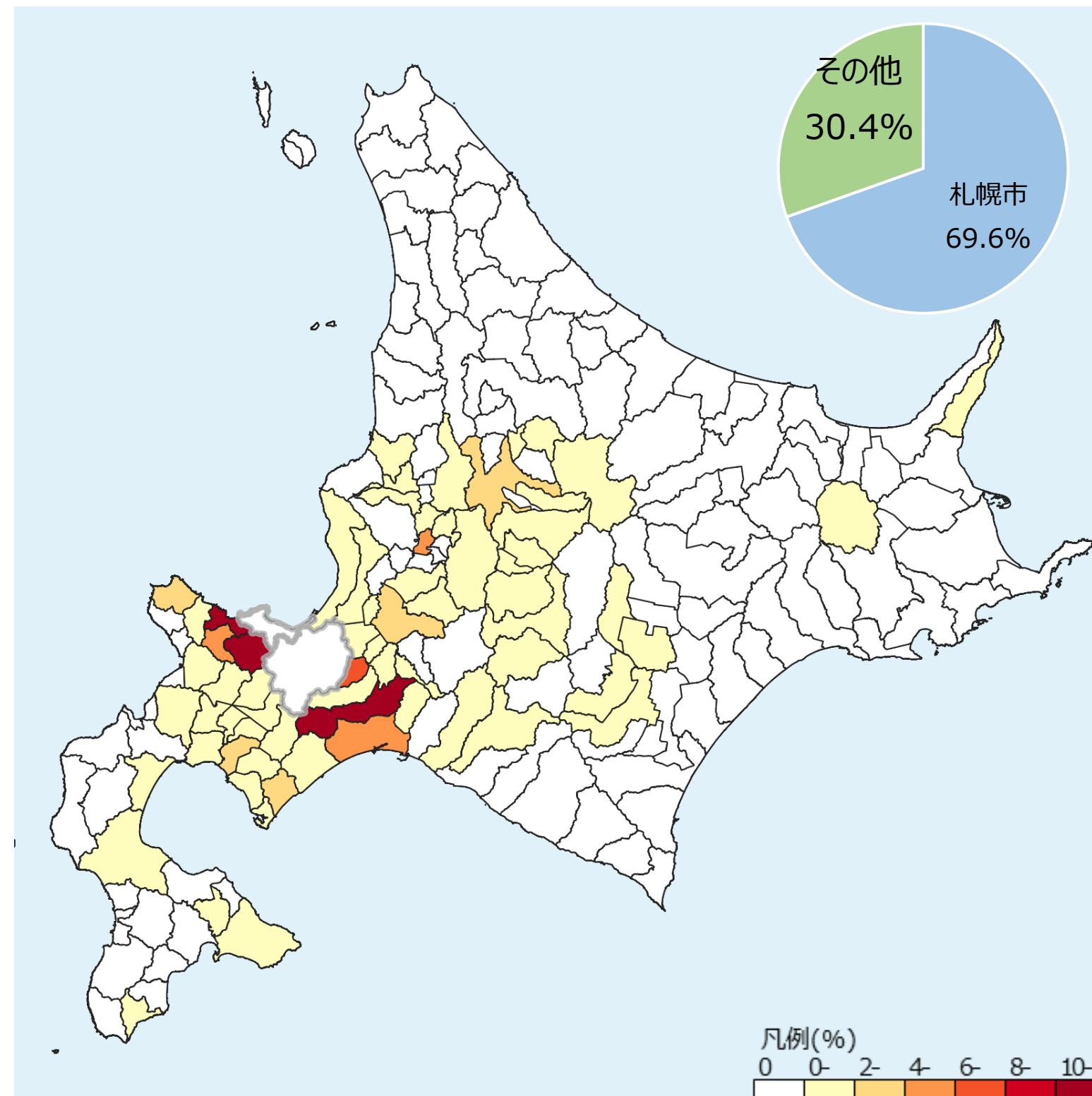
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽市全域来訪者の周遊先（2025年1-9月）

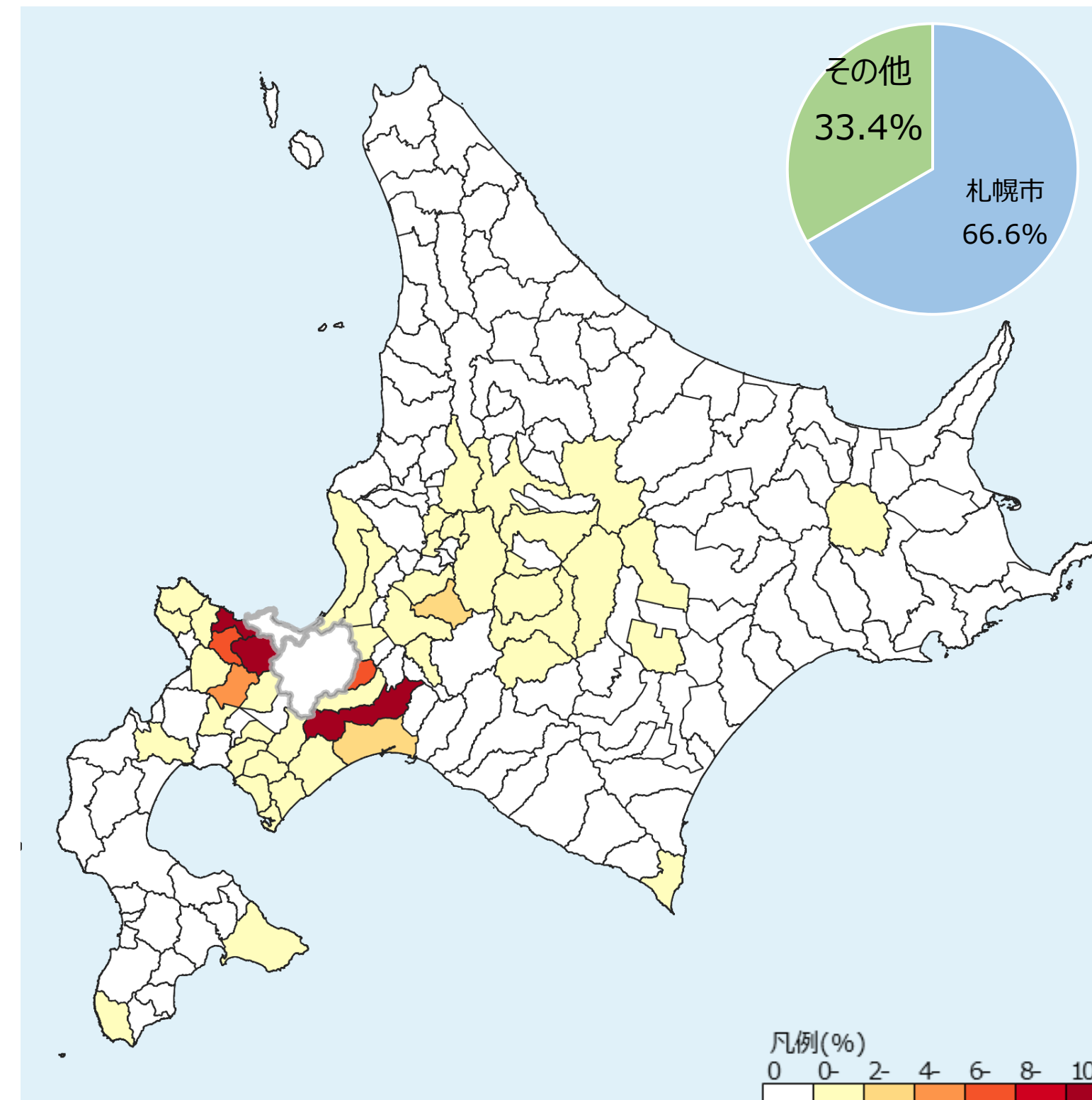
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市・赤井川との周遊が特に多く、次いで北広島が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市・赤井川との周遊が特に多く、次いで北広島・仁木が多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか千歳・仁木・余市との周遊が特に多く、次いで江別・共和が多い。

## ● 周遊先分布 〈全道〉

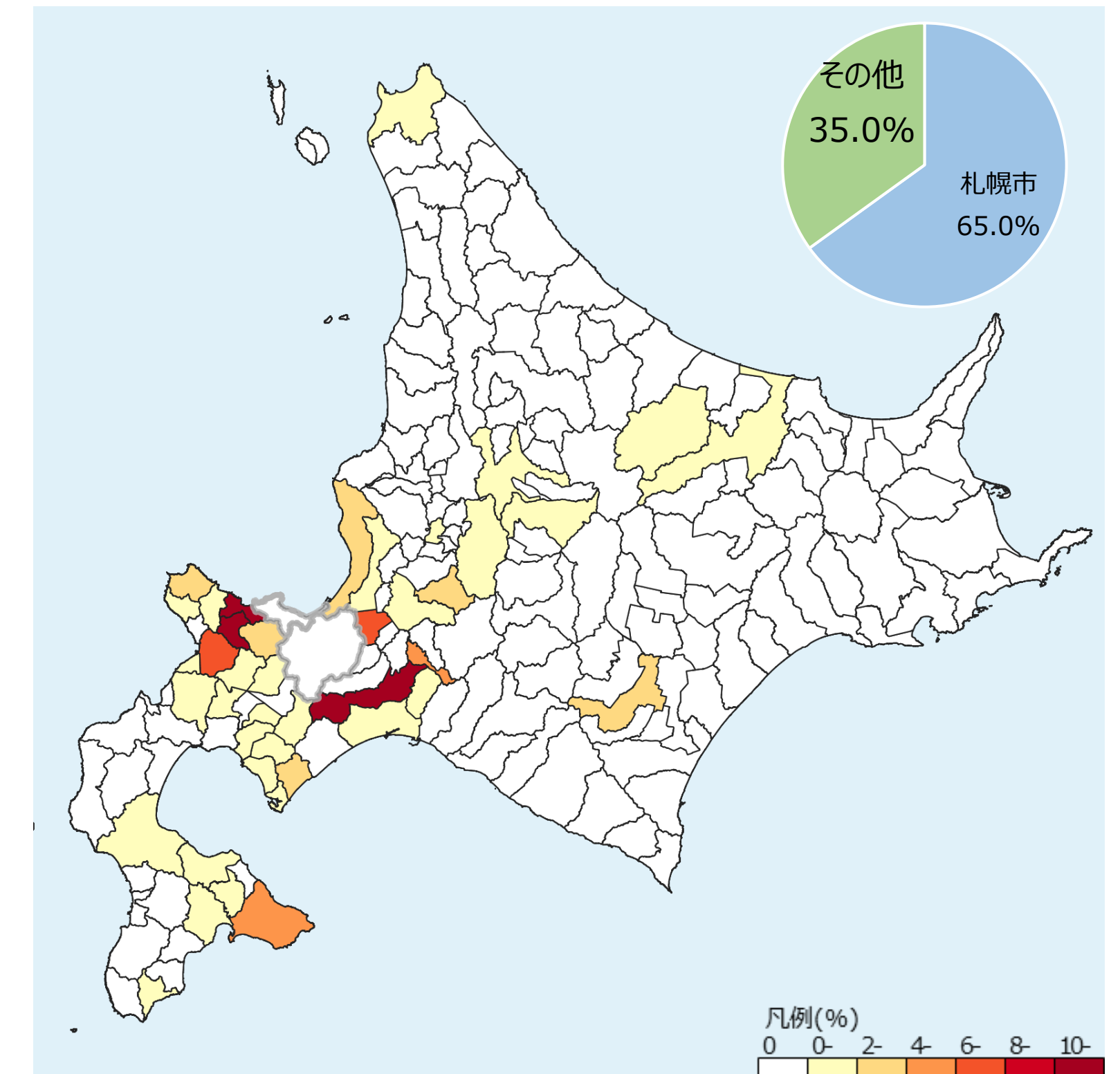
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



※ヒートマップは、札幌市と小樽市を除いた全道の合計値を100%としている。

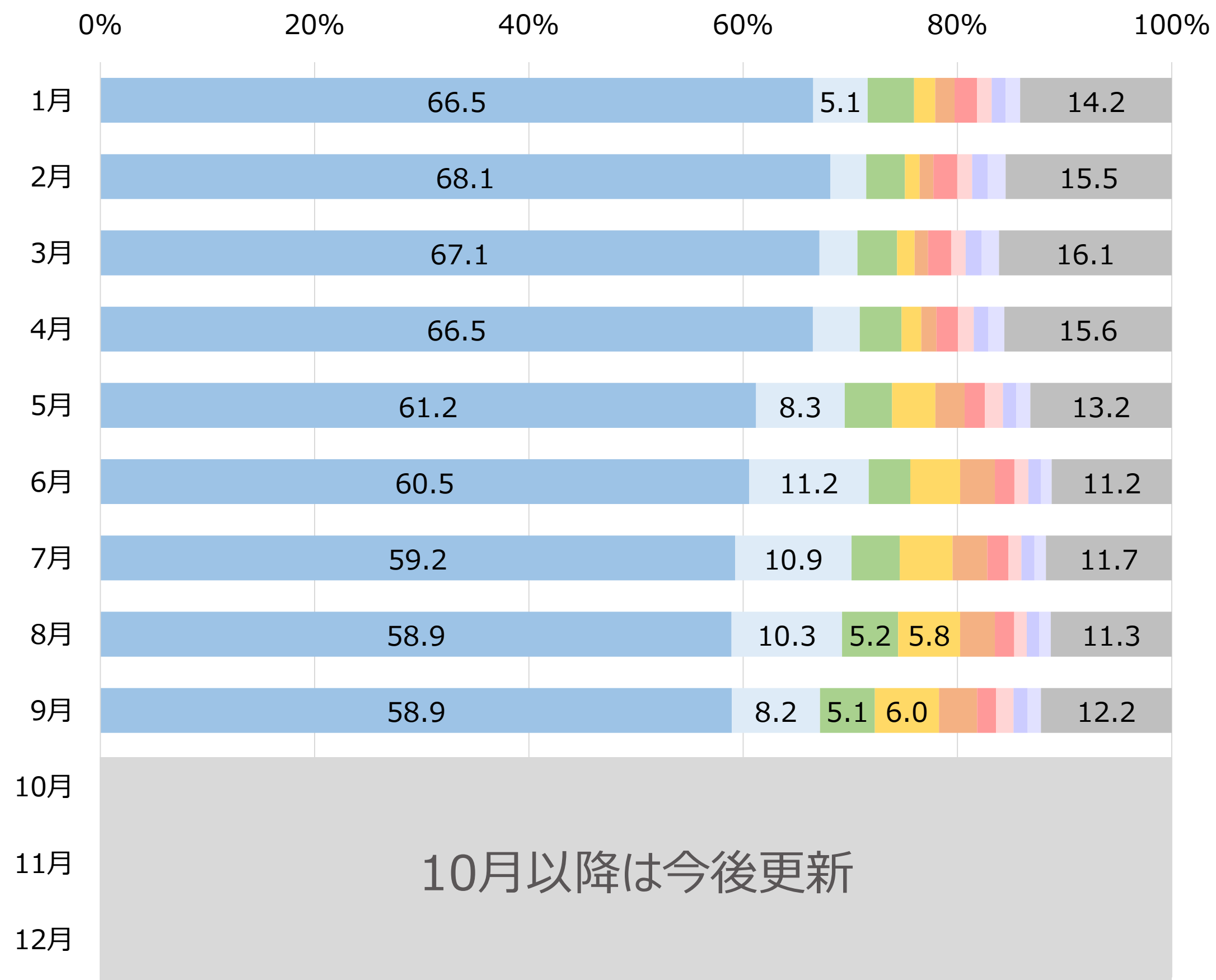
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽市全域来訪者の周遊先分布

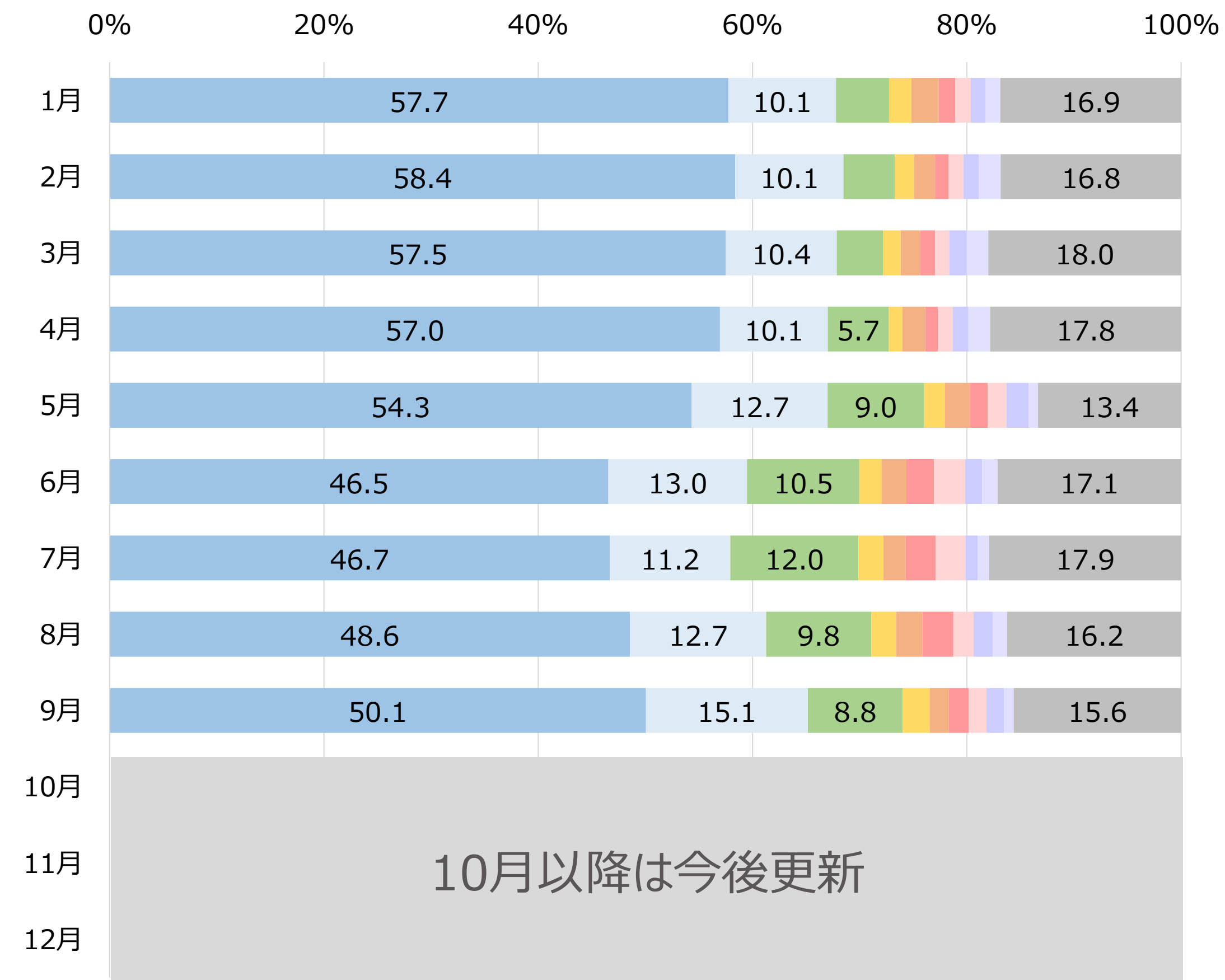
- 道内客は、札幌のほか余市・石狩との周遊が特に多く、次いで仁木・赤井川が多い。
- 道外客は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川・石狩が多い。

## ● 周遊先分布 〈全道〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



■ 札幌市 ■ 余市町 ■ 石狩市 ■ 仁木町 ■ 赤井川村 ■ 江別市 ■ 倶知安町 ■ 北広島市 ■ 千歳市 ■ その他

■ 札幌市 ■ 千歳市 ■ 余市町 ■ 赤井川村 ■ 石狩市 ■ 仁木町 ■ 積丹町 ■ 北広島市 ■ 函館市 ■ その他

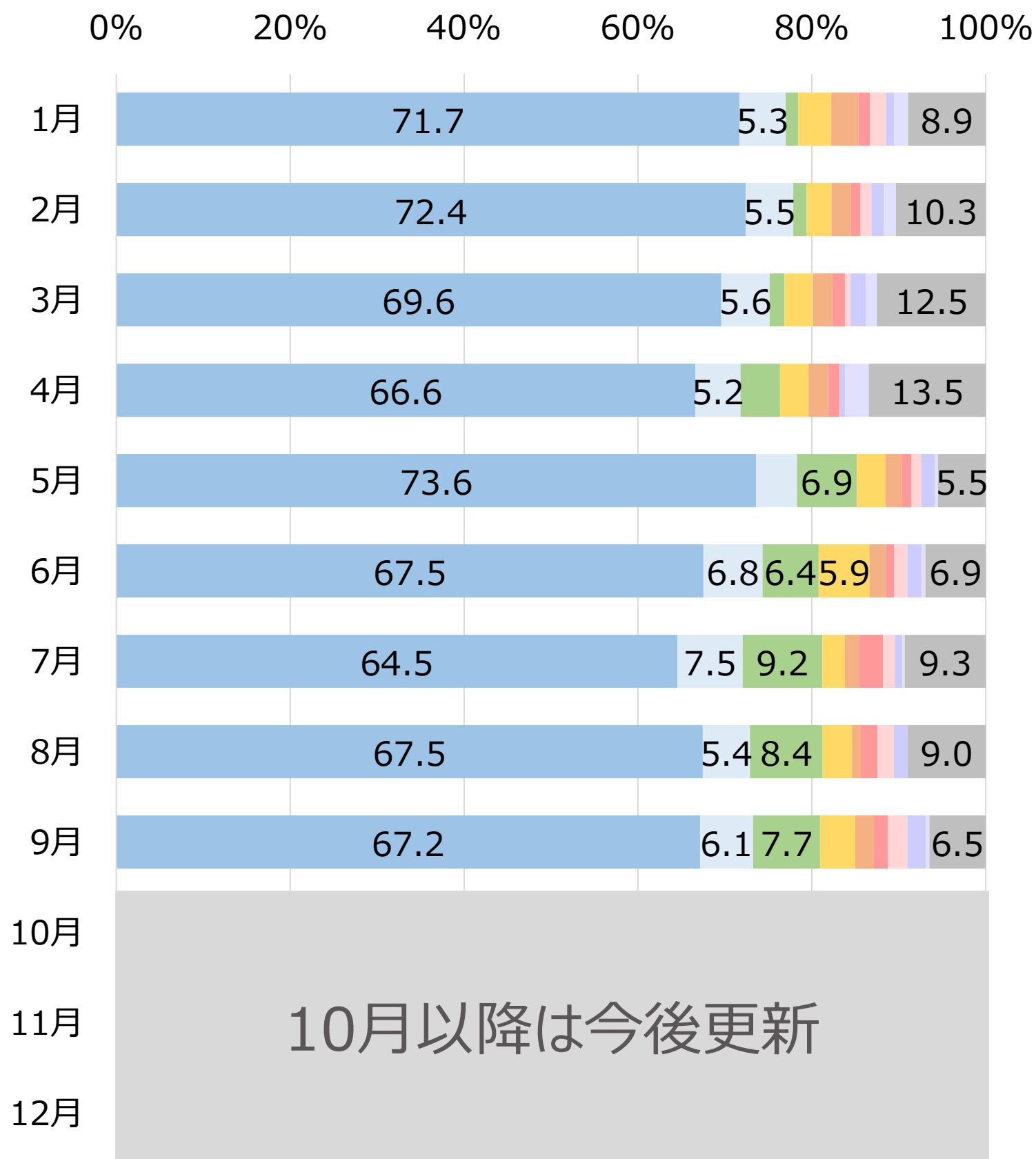
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽市全域来訪者の周遊先分布

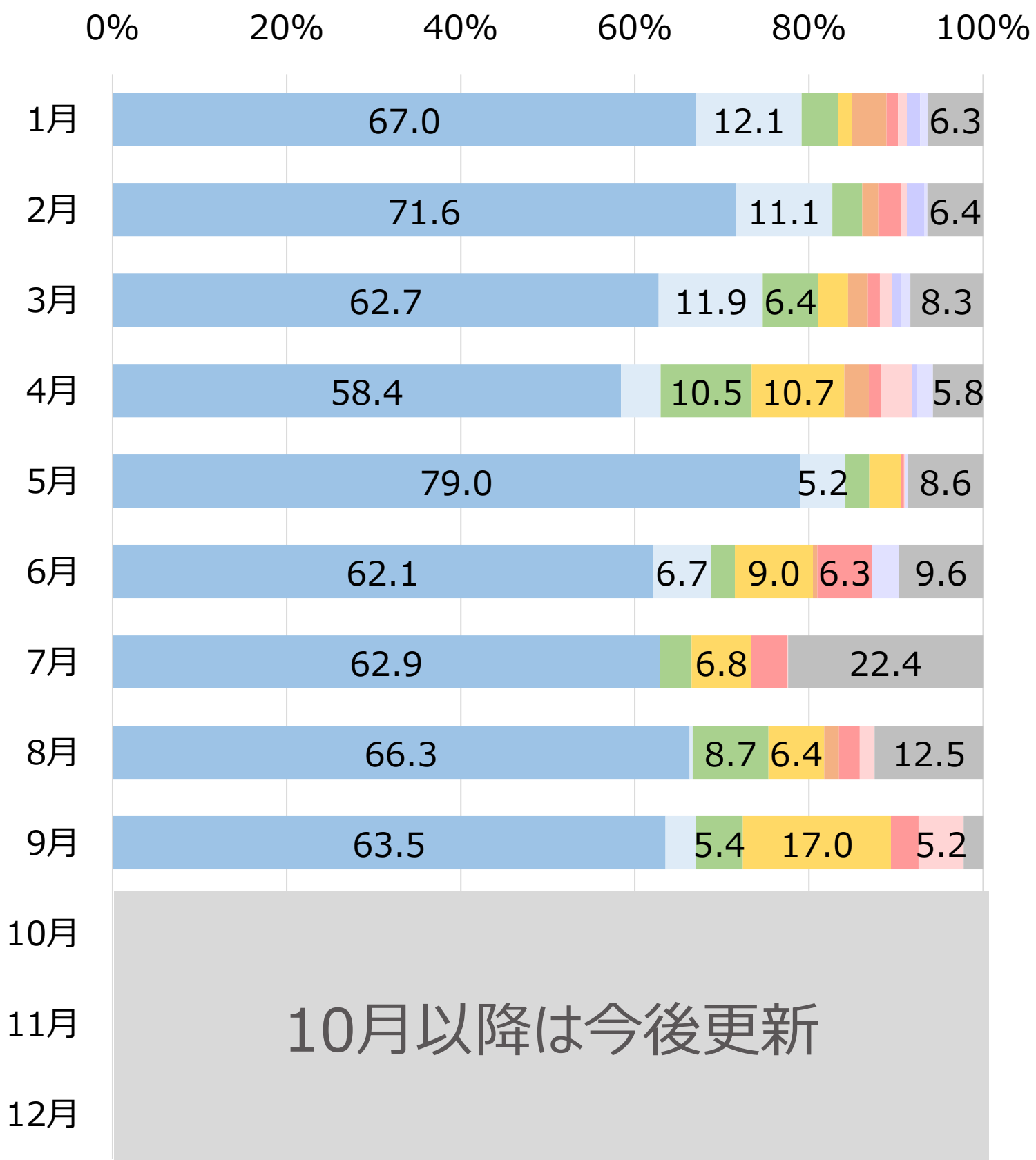
- 東アジア居住者は、札幌のほか千歳・余市との周遊が特に多く、次いで赤井川・北広島が多い。
- 東南アジア居住者は、札幌のほか赤井川・千歳との周遊が特に多く、次いで余市・仁木が多い。
- 欧米豪居住者は、札幌のほか余市・千歳との周遊が特に多く、次いで仁木・江別が多い。

## ● 周遊先分布 〈全道〉

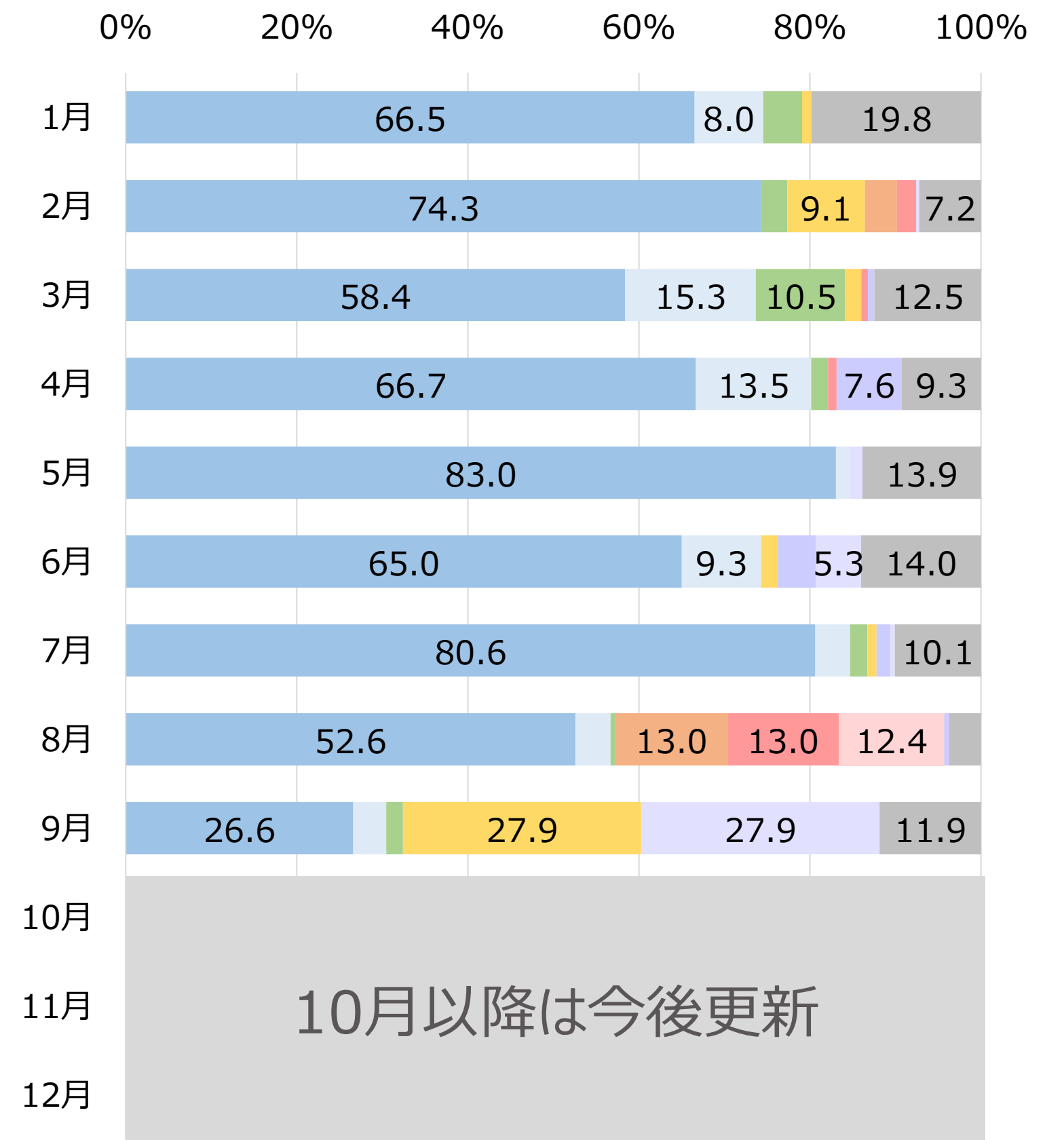
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



札幌市 千歳市 余市町 赤井川村 北広島市 仁木町 砂川市 苫小牧市 洞爺湖町 その他

札幌市 赤井川村 千歳市 余市町 仁木町 北広島市 俱知安町 三笠市 苫小牧市 その他

札幌市 余市町 千歳市 仁木町 江別市 共和町 由仁町 函館市 三笠市 その他

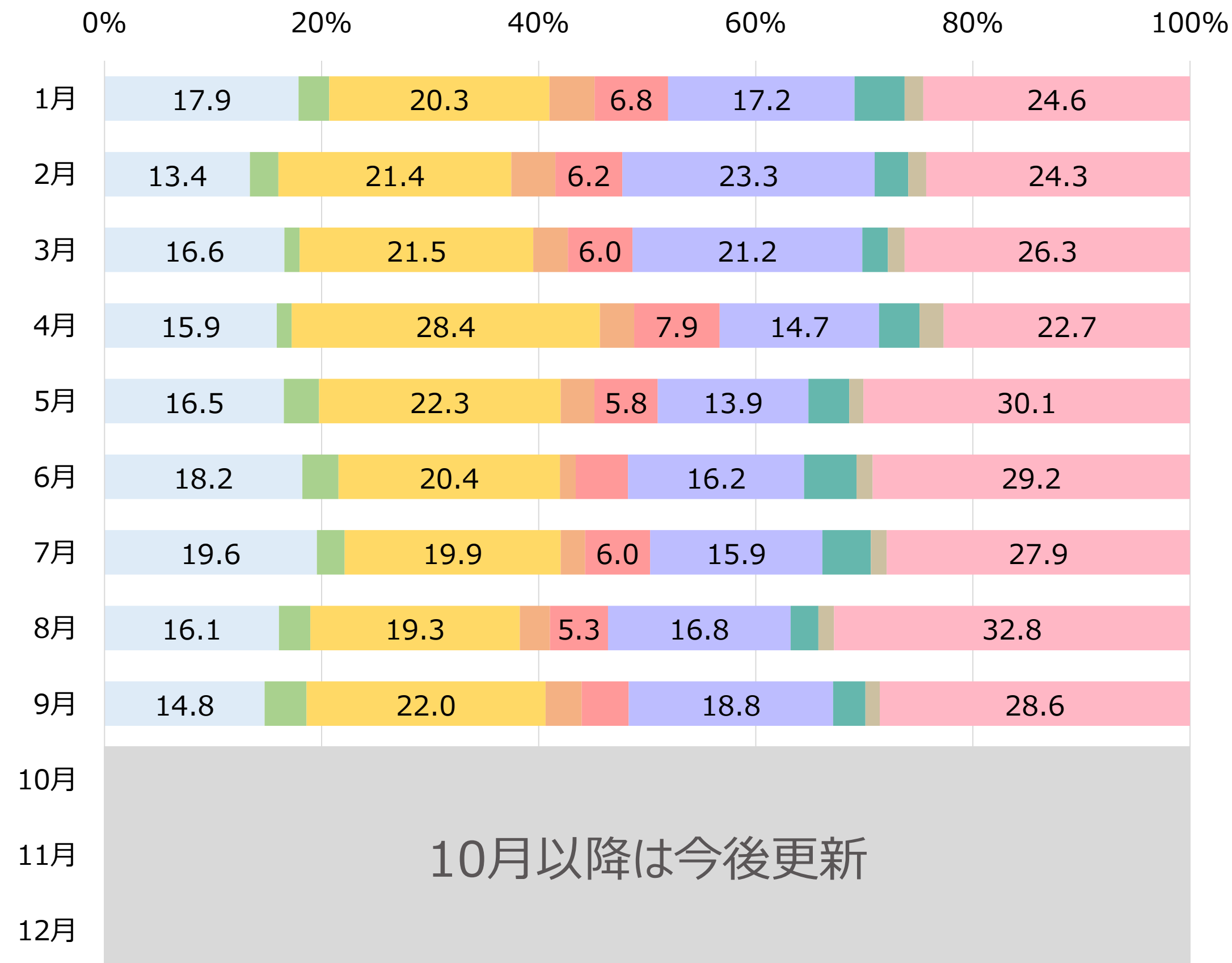
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 中心部エリア来訪者の周遊先分布

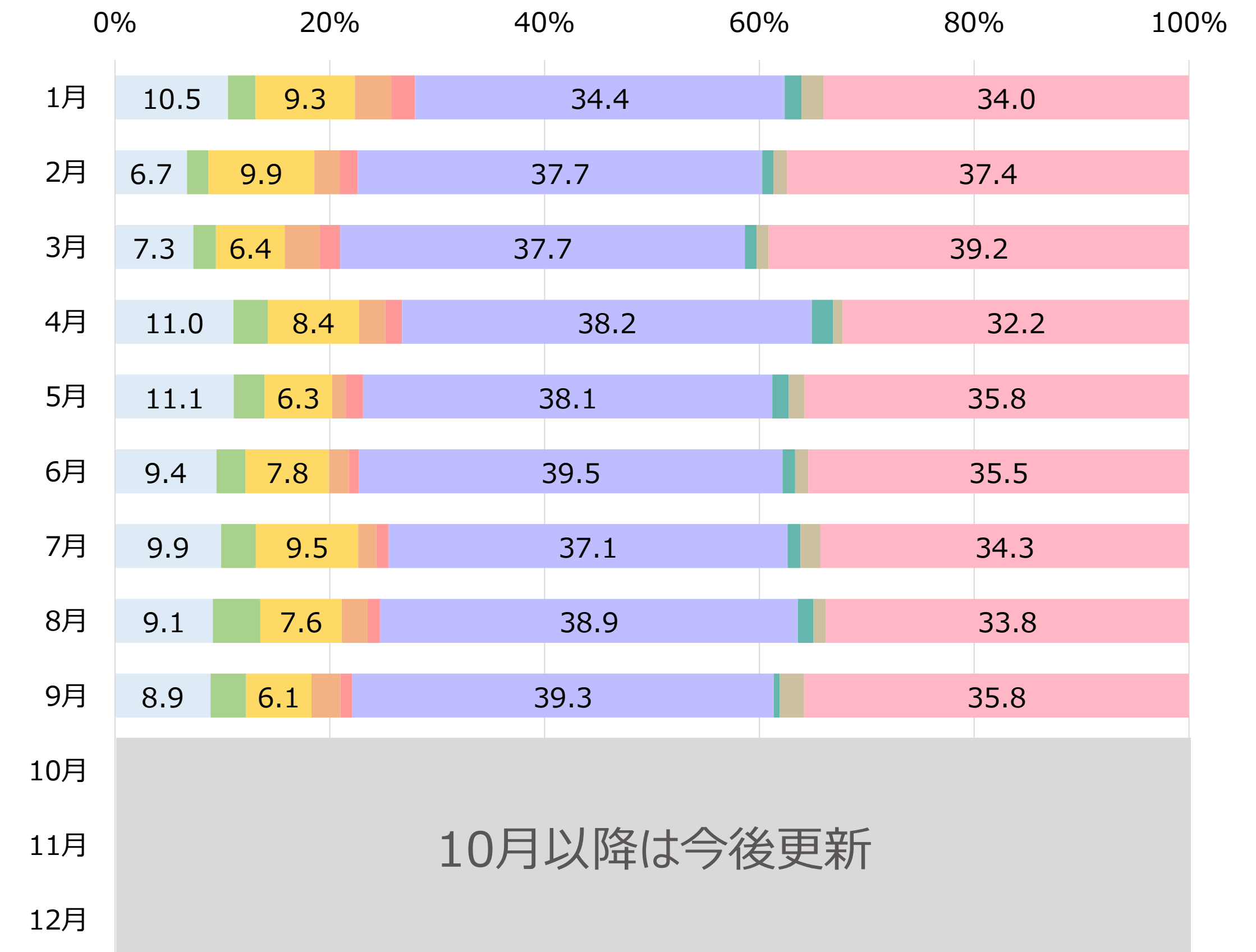
- 道内客は、堺町通りエリアとの周遊が最も多く、次いで築港エリア・小樽運河エリアの順に多い。
- 道外客は、小樽運河エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・祝津エリアの順に多い。

## ● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



■ 中心部エリア    ■ 祝津・高島・手宮エリア    ■ 天狗山エリア    ■ 築港エリア  
■ 朝里川温泉エリア    ■ 銭函・張碓エリア    ■ 小樽運河エリア    ■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 花園銀座商店街エリア    ■ 堺町通り商店街エリア

■ 中心部エリア    ■ 祝津・高島・手宮エリア    ■ 天狗山エリア    ■ 築港エリア  
■ 朝里川温泉エリア    ■ 銭函・張碓エリア    ■ 小樽運河エリア    ■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 花園銀座商店街エリア    ■ 堺町通り商店街エリア

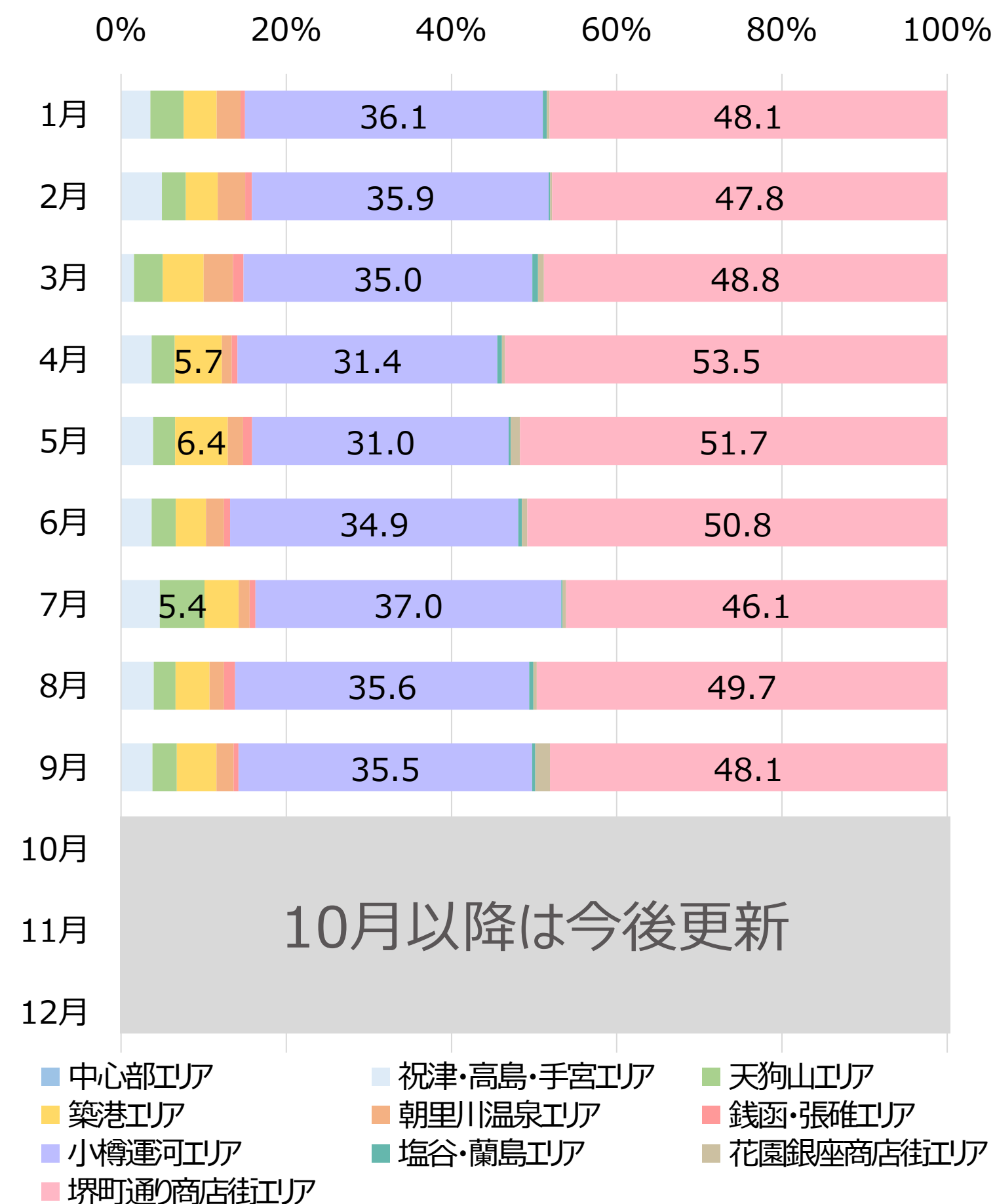
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 中心部エリア来訪者の周遊先分布

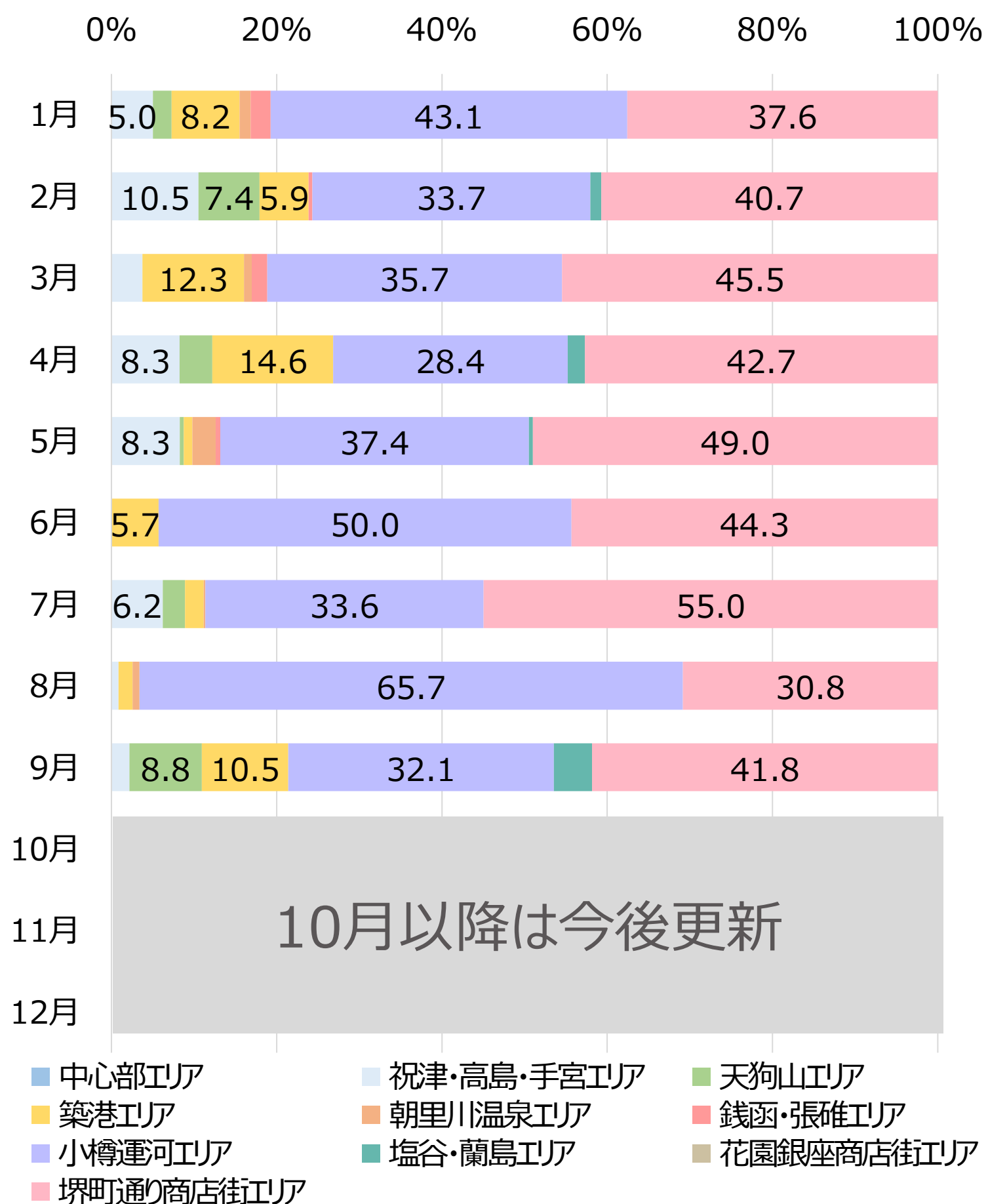
➤ 各市場とも、堺町通りエリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。

## ● 周遊先分布 〈小樽市内〉

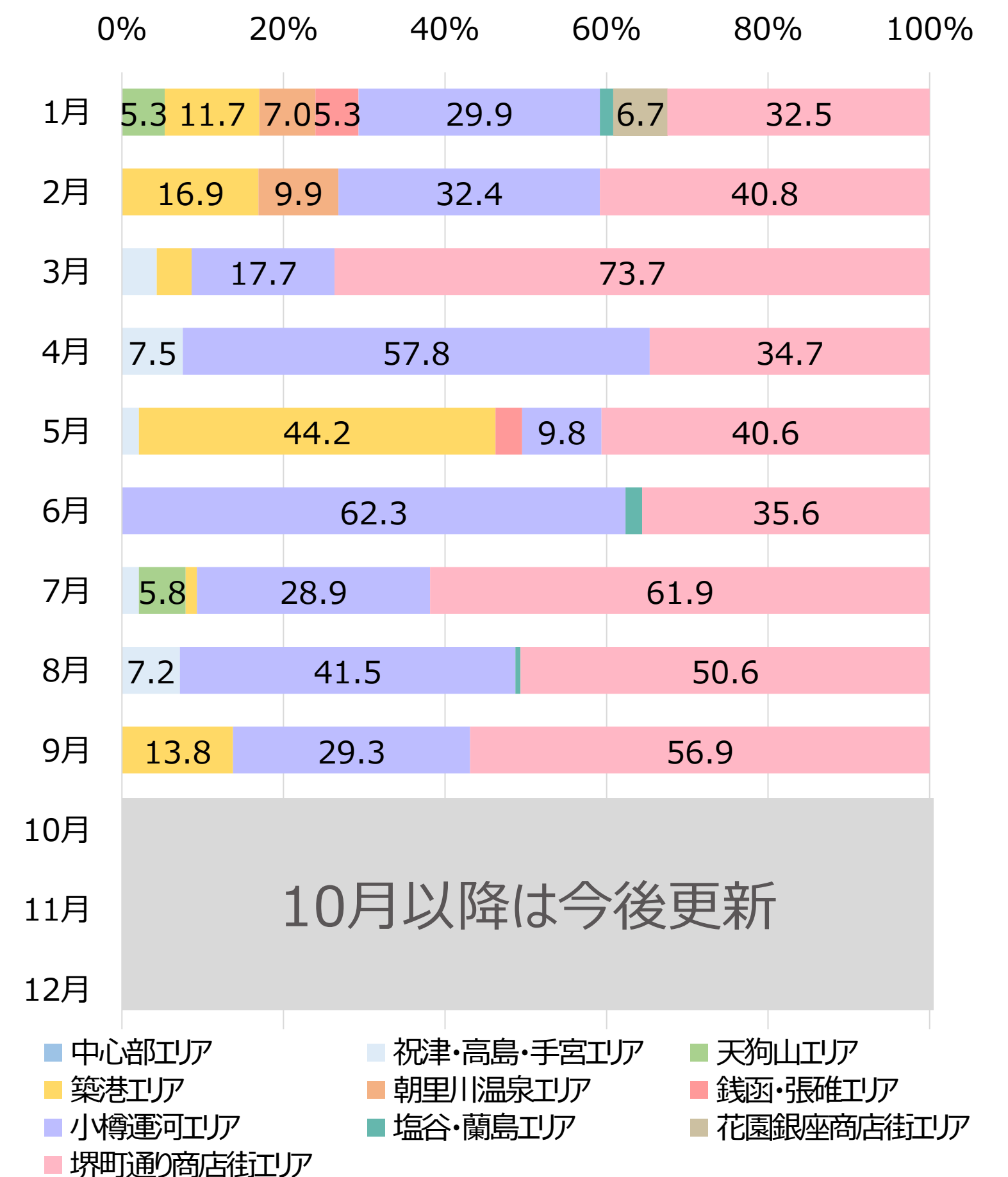
### 【東アジア】



### 【東南アジア】



### 【欧米豪】



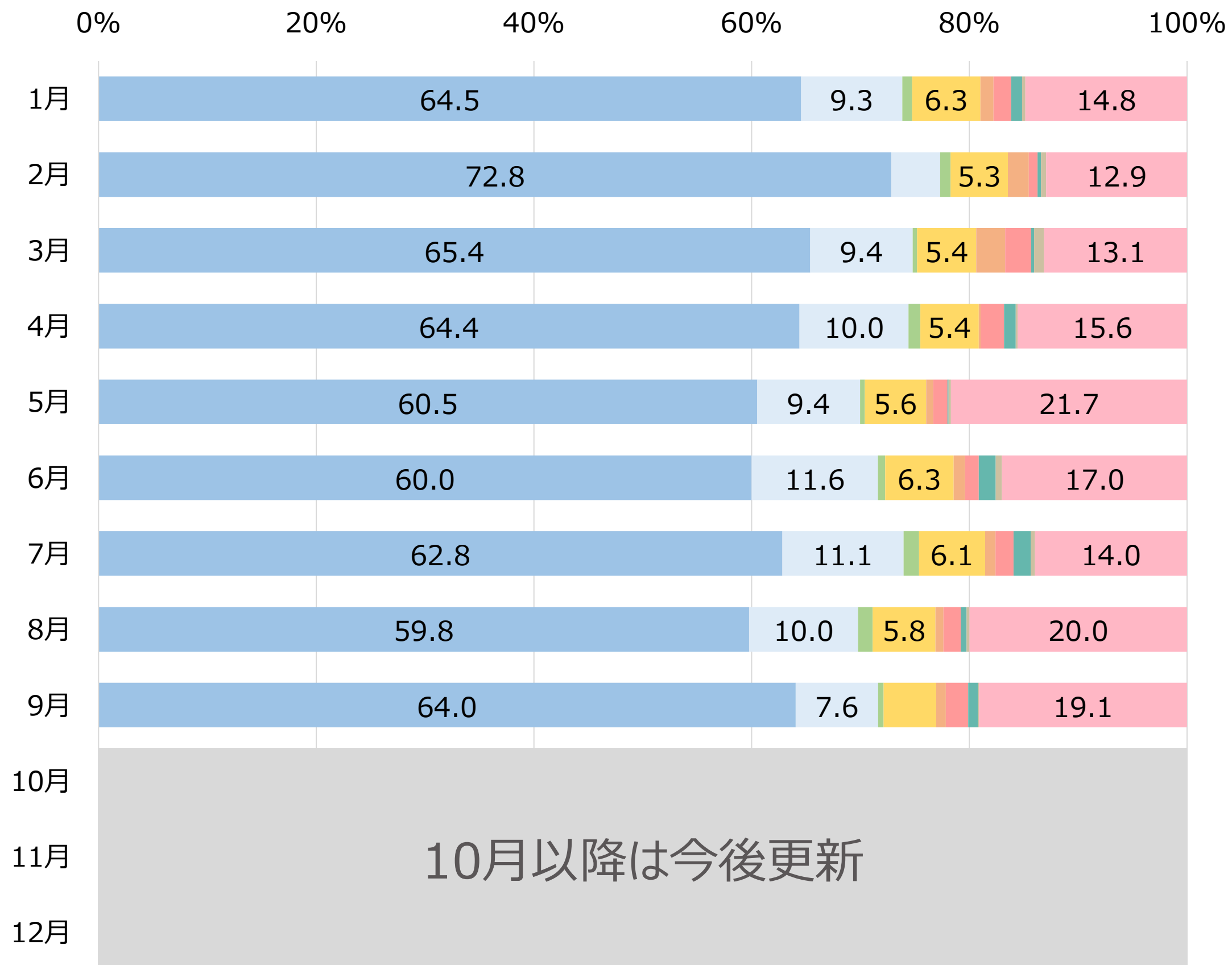
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽運河エリア来訪者の周遊先分布

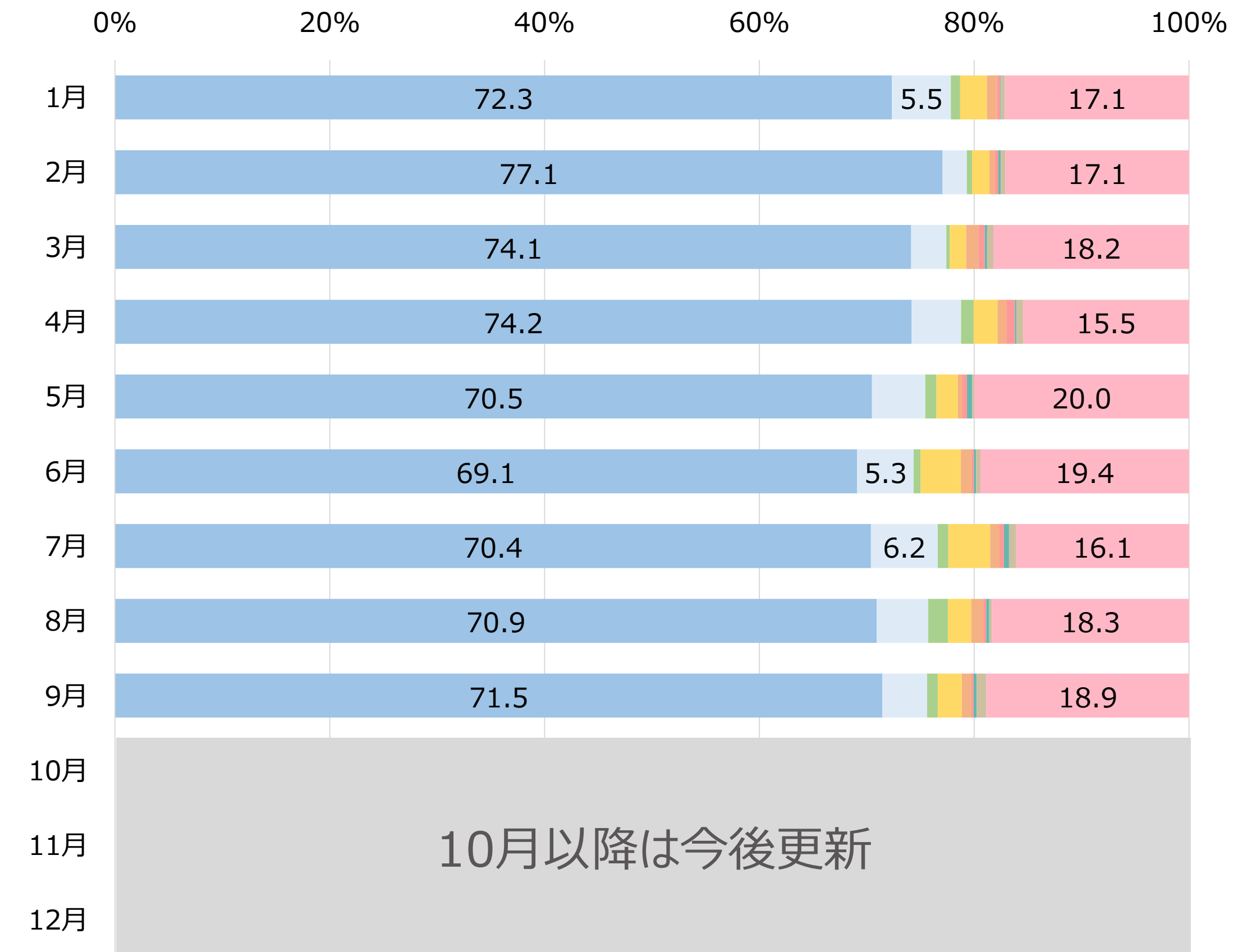
➤ 道内客・道外客とも、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・祝津エリアの順に多い。

## ● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



■ 中心部エリア ■ 祝津・高島・手宮エリア ■ 天狗山エリア ■ 築港エリア  
 ■ 朝里川温泉エリア ■ 銭函・張碓エリア ■ 小樽運河エリア ■ 塩谷・蘭島エリア  
 ■ 花園銀座商店街エリア ■ 堺町通り商店街エリア

■ 中心部エリア ■ 祝津・高島・手宮エリア ■ 天狗山エリア ■ 築港エリア  
 ■ 朝里川温泉エリア ■ 銭函・張碓エリア ■ 小樽運河エリア ■ 塩谷・蘭島エリア  
 ■ 花園銀座商店街エリア ■ 堺町通り商店街エリア

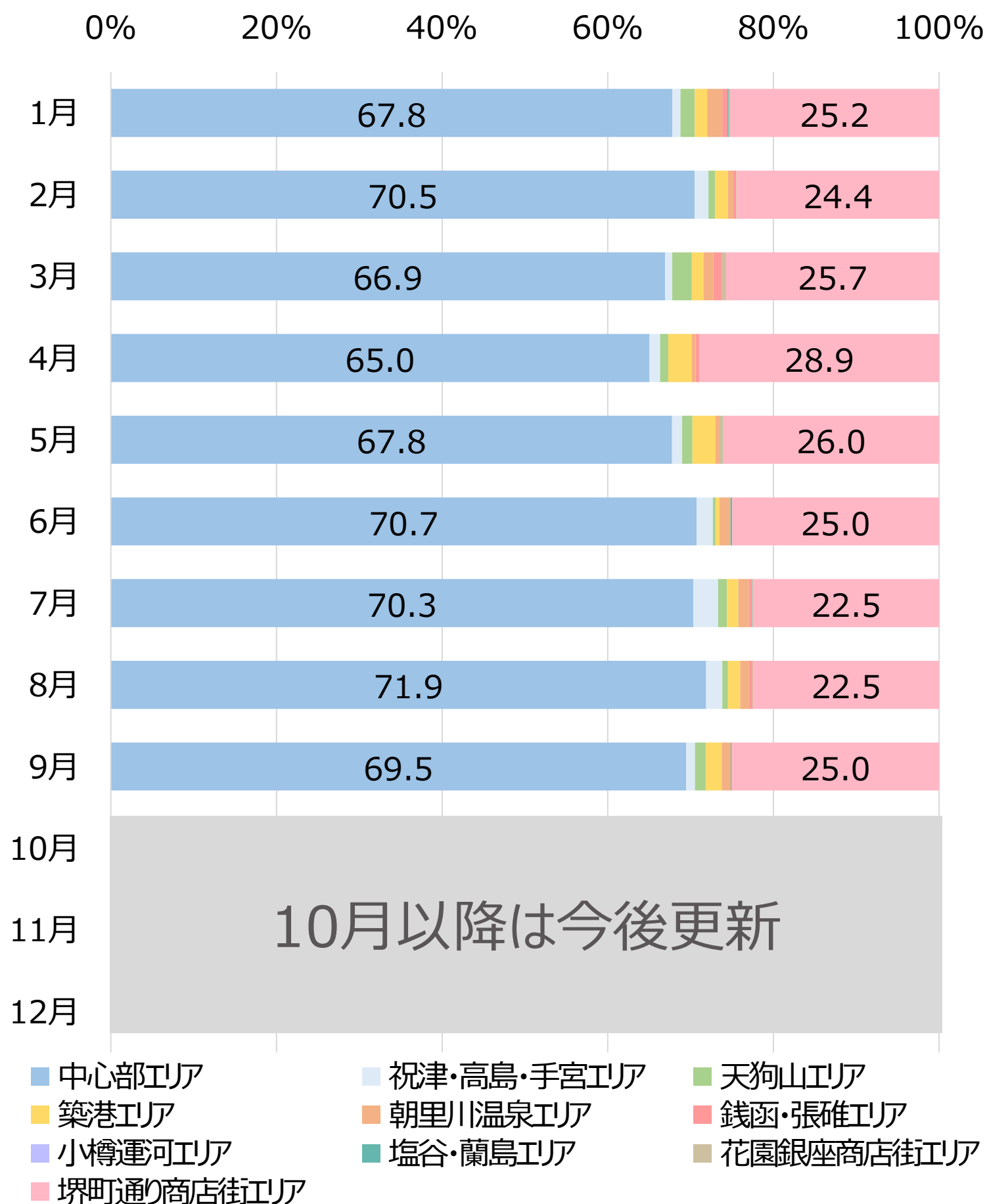
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 小樽運河エリア来訪者の周遊先分布

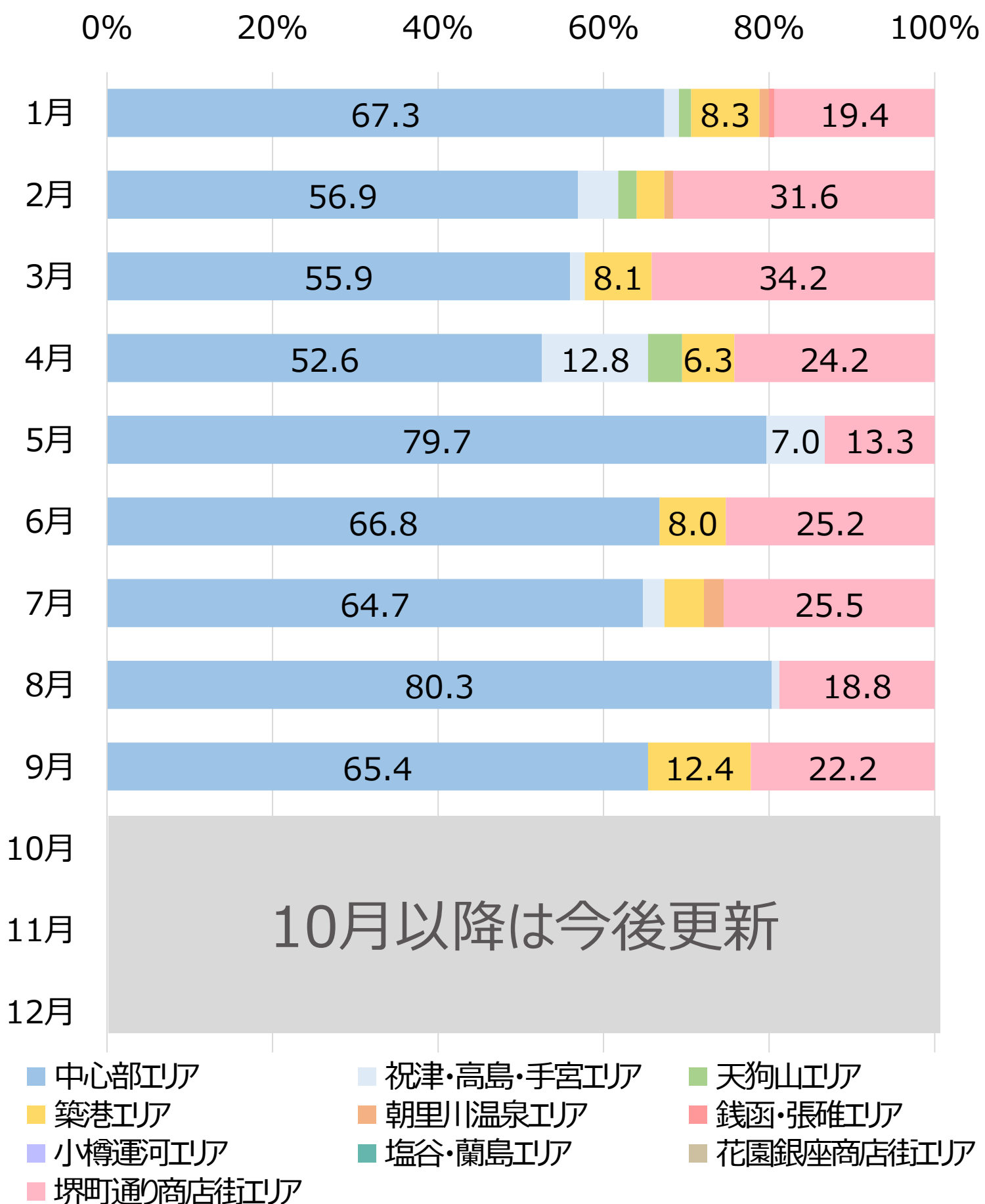
- 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・築港エリアの順に多い。
- 欧米豪居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで堺町通りエリア・花園銀座エリアの順に多い。

## ● 周遊先分布 〈小樽市内〉

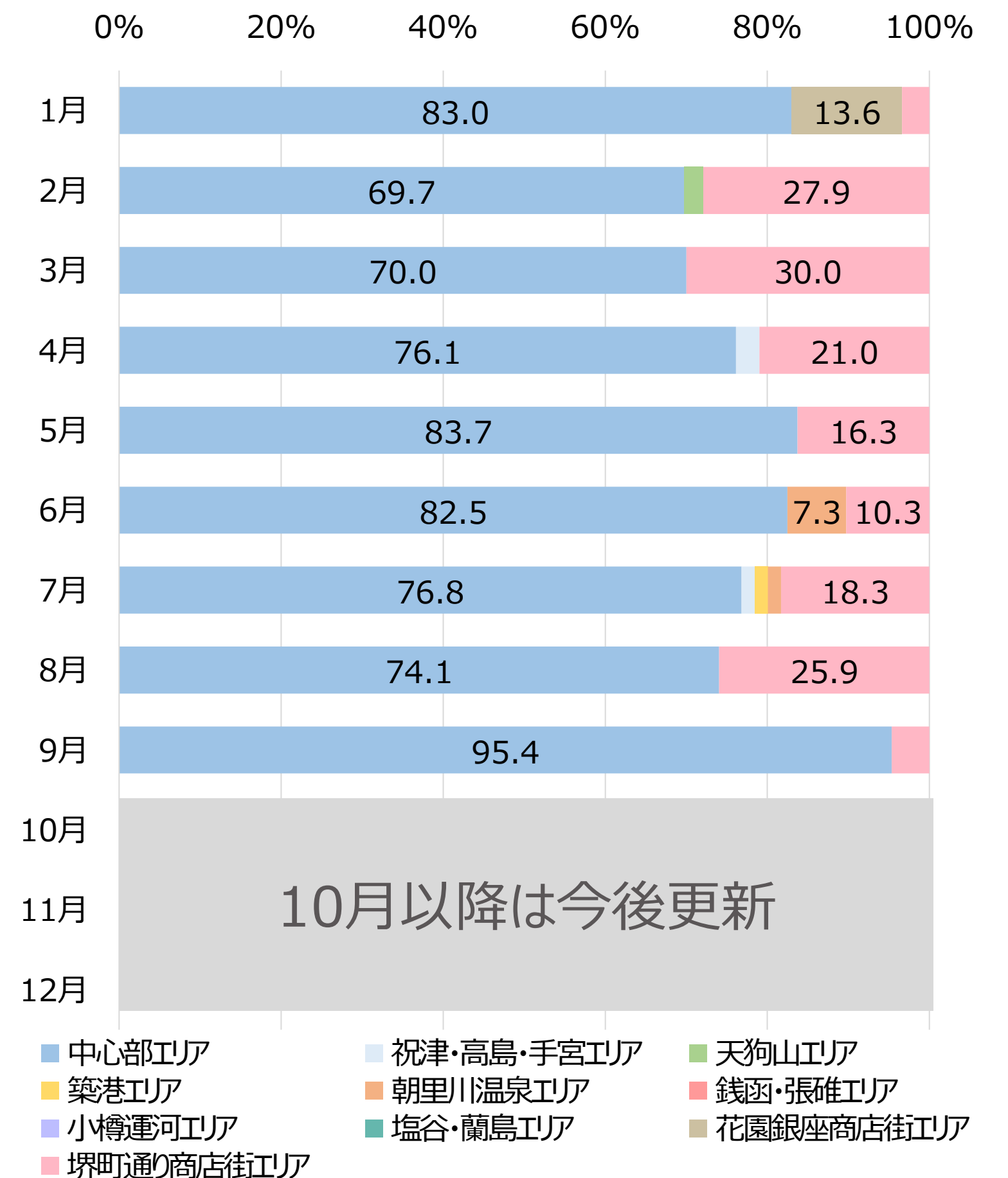
【東アジア】



【東南アジア】



【欧米豪】



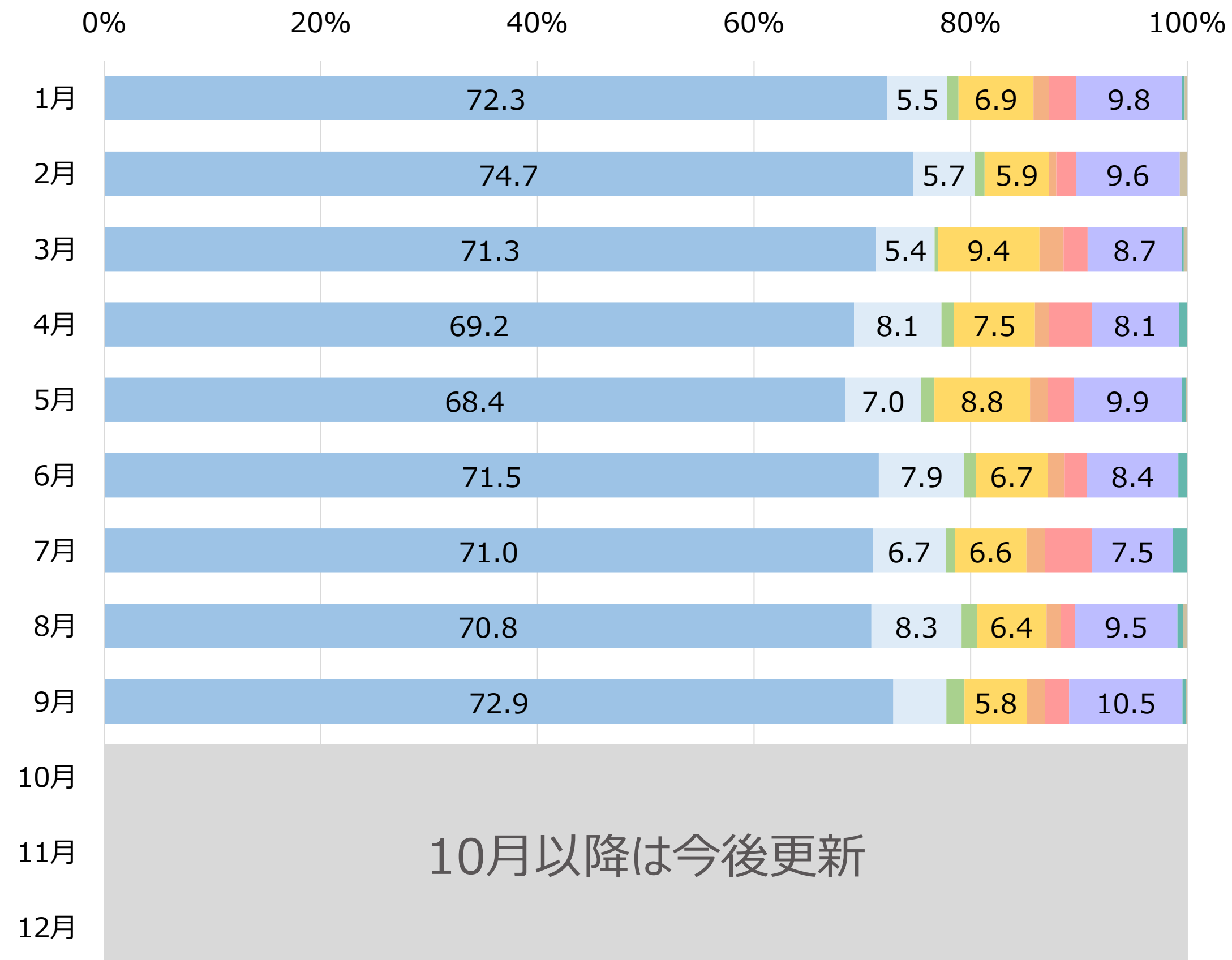
※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

# 堺町通り商店街エリア来訪者の周遊先分布

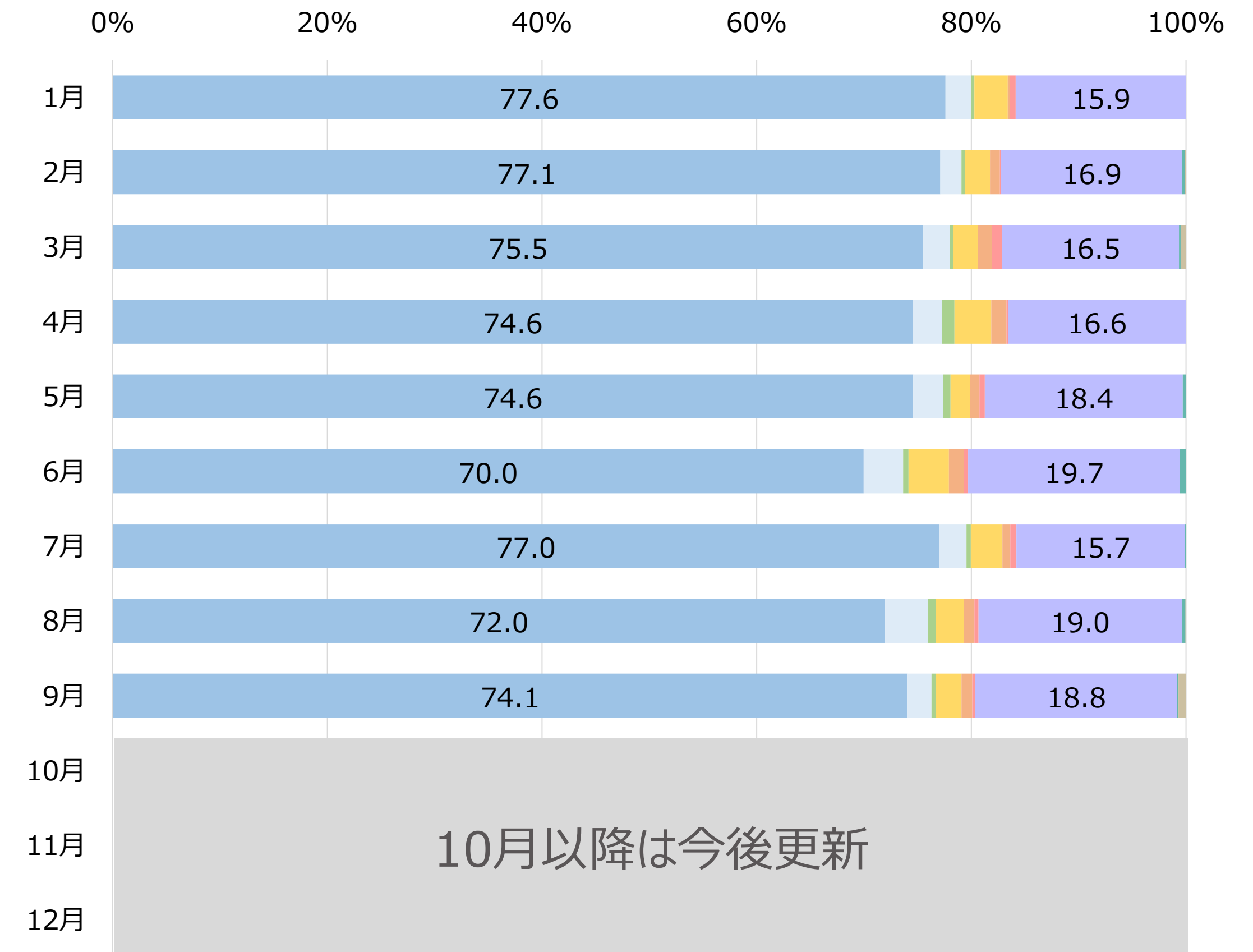
➤ 道内客・道外客とも、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・祝津エリアの順に多い。

## ● 周遊先分布 〈小樽市内〉

【日本人観光客(道内)】



【日本人観光客(道外)】



■ 中心部エリア    ■ 祝津・高島・手宮エリア    ■ 天狗山エリア    ■ 築港エリア  
■ 朝里川温泉エリア    ■ 銭函・張碓エリア    ■ 小樽運河エリア    ■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 花園銀座商店街エリア    ■ 堺町通り商店街エリア

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。

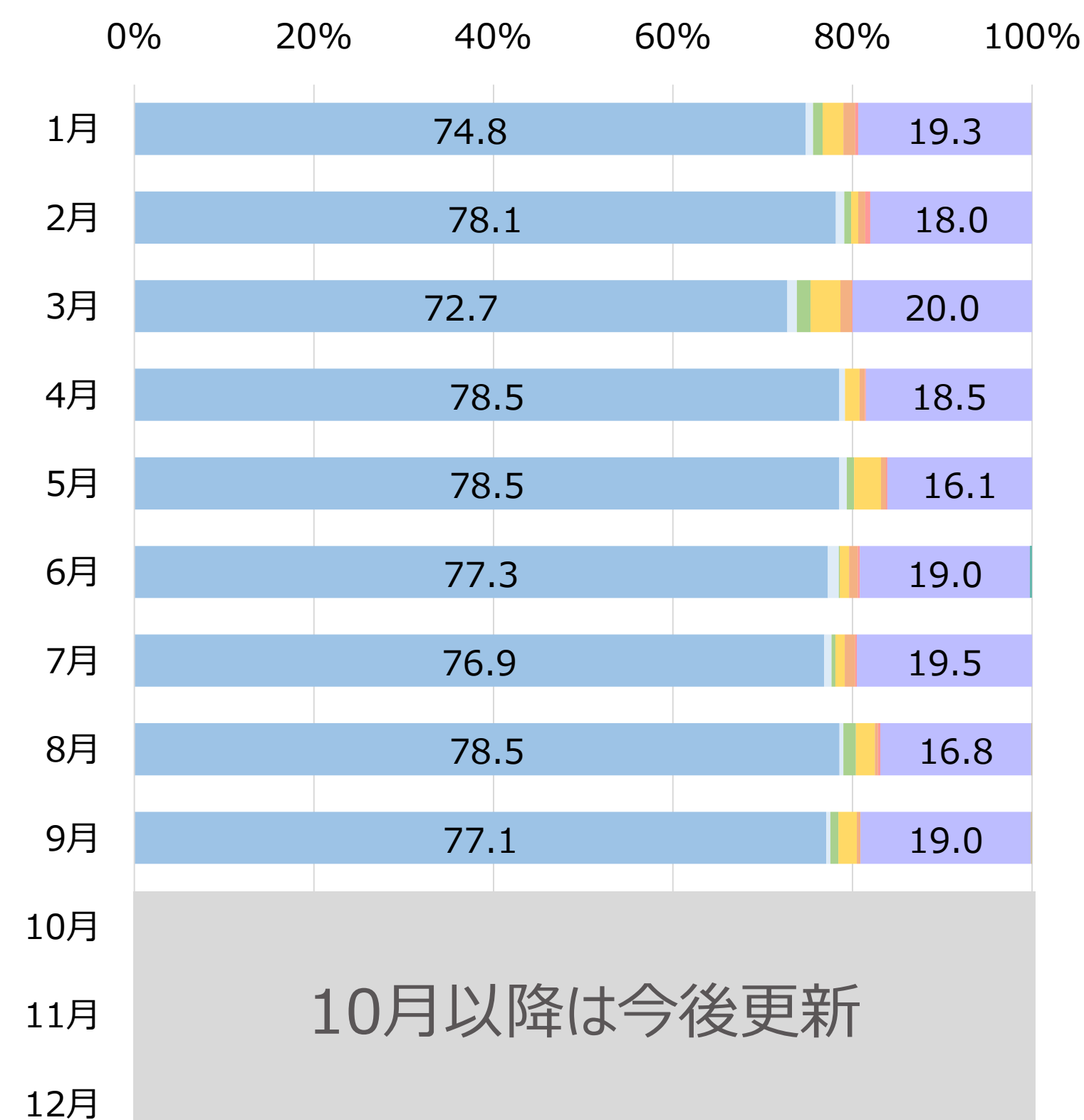
■ 中心部エリア    ■ 祝津・高島・手宮エリア    ■ 天狗山エリア    ■ 築港エリア  
■ 朝里川温泉エリア    ■ 銭函・張碓エリア    ■ 小樽運河エリア    ■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 花園銀座商店街エリア    ■ 堺町通り商店街エリア

# 堺町通り商店街エリア来訪者の周遊先分布

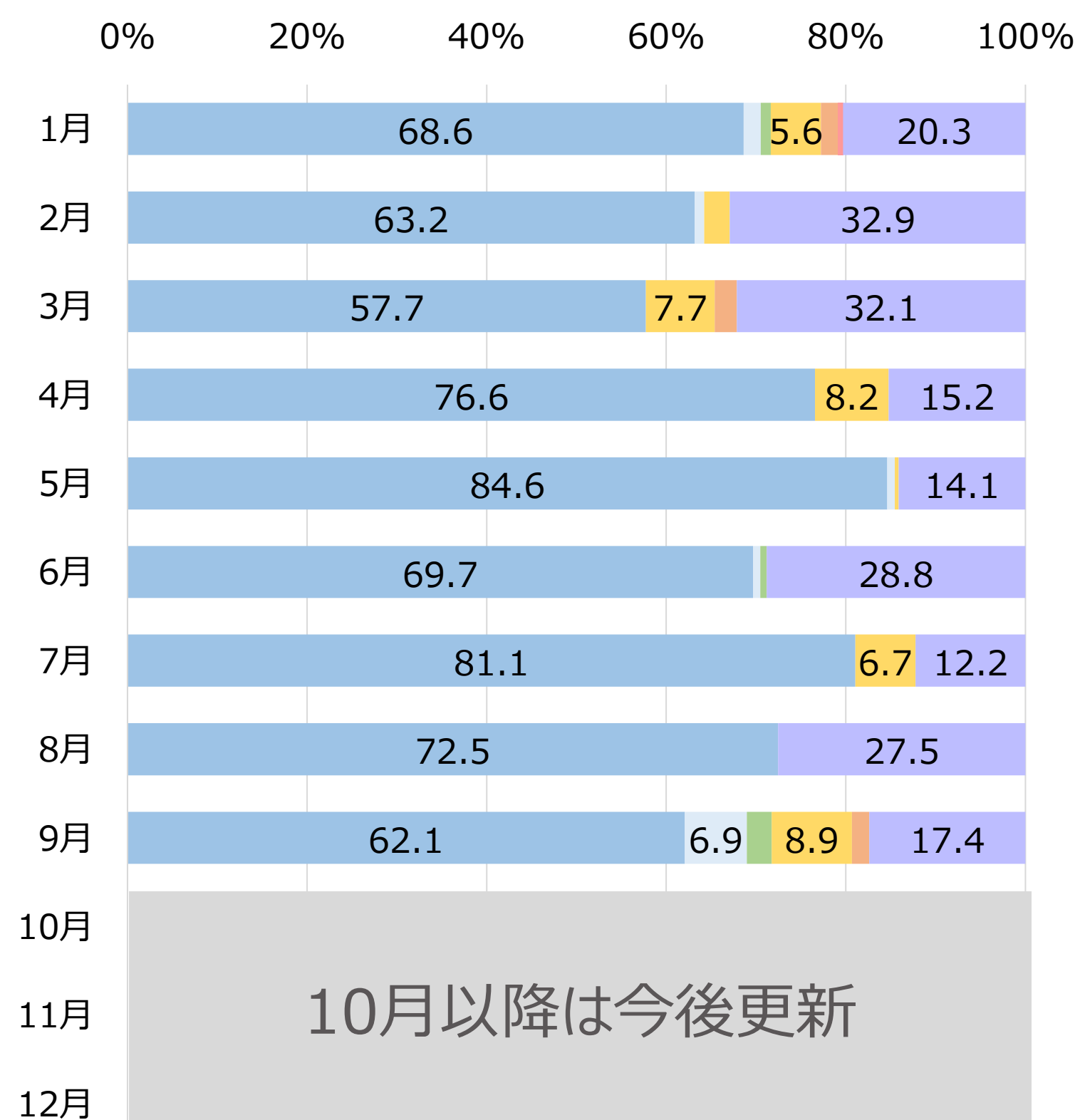
- 東アジア・東南アジア居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・築港エリアの順に多い。
- 欧米豪居住者は、中心部エリアとの周遊が最も多く、次いで小樽運河エリア・天狗山エリアの順に多い。

## ● 周遊先分布 〈小樽市内〉

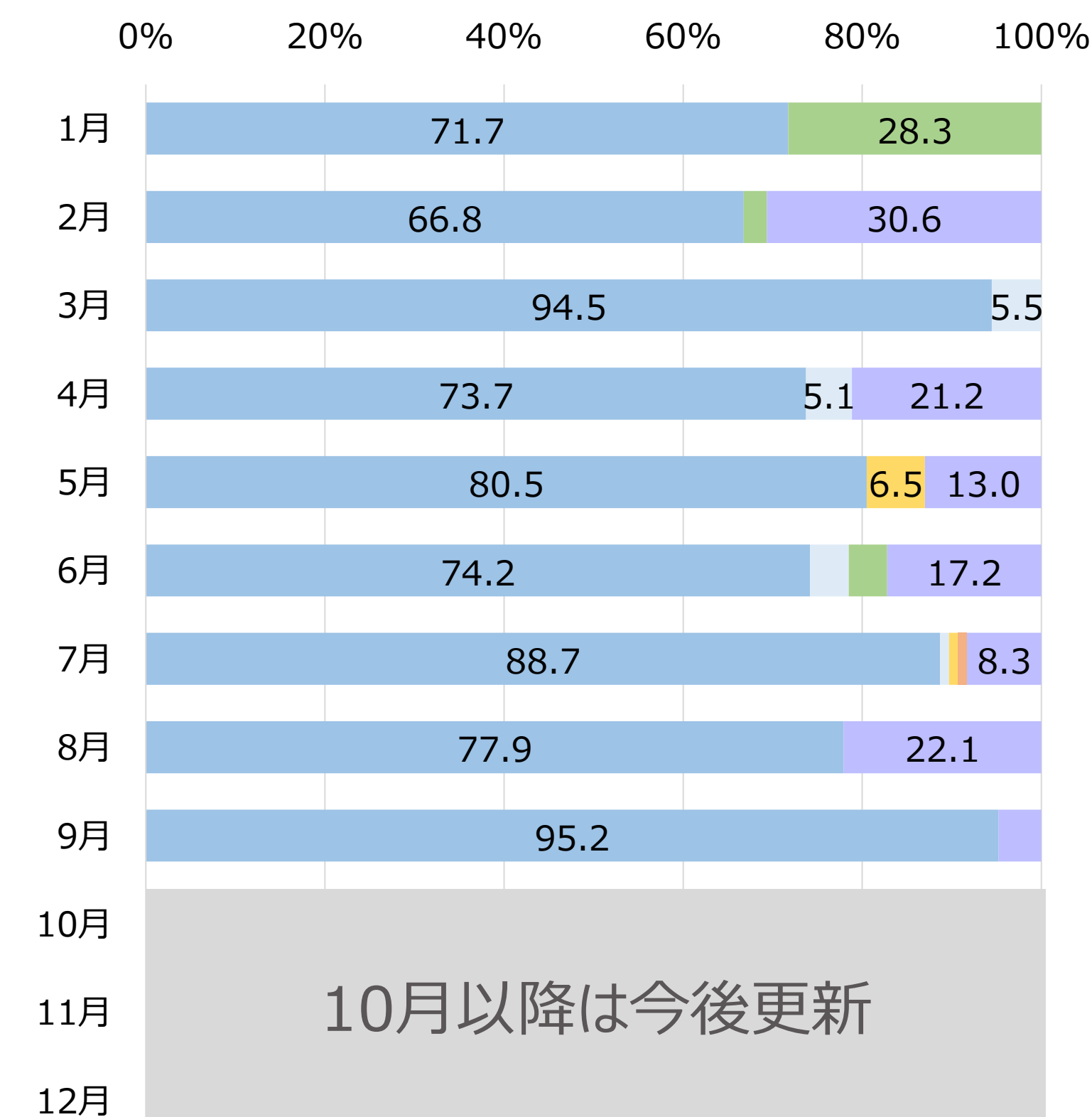
### 【東アジア】



### 【東南アジア】



### 【欧米豪】



■ 中心部エリア  
■ 築港エリア  
■ 小樽運河エリア  
■ 堺町通り商店街エリア  
■ 祝津・高島・手宮エリア  
■ 朝里川温泉エリア  
■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 天狗山エリア  
■ 銭函・張碓エリア  
■ 花園銀座商店街エリア

■ 中心部エリア  
■ 築港エリア  
■ 小樽運河エリア  
■ 堺町通り商店街エリア  
■ 祝津・高島・手宮エリア  
■ 朝里川温泉エリア  
■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 天狗山エリア  
■ 銭函・張碓エリア  
■ 花園銀座商店街エリア

■ 中心部エリア  
■ 築港エリア  
■ 小樽運河エリア  
■ 堺町通り商店街エリア  
■ 祝津・高島・手宮エリア  
■ 朝里川温泉エリア  
■ 塩谷・蘭島エリア  
■ 天狗山エリア  
■ 銭函・張碓エリア  
■ 花園銀座商店街エリア

※データが出現していない項目は、一定の閾値を下回ったため個人情報保護の観点から秘匿されたものである（詳細はp.4を参照）。